

平成25年度 国保京丹波町病院和知歯科診療所・和知保健センター改修工事

工事内容	図面枚数
平成25年度 国保京丹波町病院和知歯科診療所改修工事	建築20枚、電気設備16枚、機械設備14枚、仮設2枚 (計52枚)
平成25年度 和知保健センター改修工事	建築18枚、電気設備5枚、機械設備4枚 (計27枚)



平成25年度 国保京丹波町病院和知歯科診療所改修工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
	意匠図		電気設備図		機械設備図
D-01	表紙・図面目録	E-01	電気設備工事特記仕様書(1)	M-01	機械設備特記仕様書
D-02	改修工事特記仕様書(1)	E-02	電気設備工事特記仕様書(2)	M-02	工事区分表
D-03	改修工事特記仕様書(2)	E-03	平面図 幹線コンセント設備図	M-03	現況配置図
D-04	改修工事特記仕様書(3)	E-04	平面図 電灯コンセント動力設備図	M-04	衛生設備 平面図(改修)
D-05	改修工事特記仕様書(4)	E-05	平面図 電灯コンセント動力設備図	M-05	衛生設備 改修平面詳細図
D-06	改修工事特記仕様書(5)	E-06	平面図 照明設備図	M-06	エア設備 改修平面詳細図
D-07	改修工事特記仕様書(6)	E-07	平面図 照明設備図	M-07	消火設備 平面図(改修)
D-08	付近見取図・配置図	E-08	平面図 非常用照明誘導灯設備図	M-08	空調・換気・衛生設備 機器表・衛生器具表
D-09	仕上表(撤去・改修)	E-09	平面図 電話LANテレビ共視聴設備図	M-09	空調・換気設備 平面図(改修)
D-10	現況・撤去平面図	E-10	平面図 弱電設備図	M-10	空調設備 屋根伏図(改修)
D-11	平面図(改修)	E-11	平面図 自動火災報知設備図	M-11	換気設備 平面図(改修)
D-12	断面図(現況)・(改修)	E-12	電灯動力幹線コンセント設備図(撤去)	M-12	衛生設備 現況・撤去平面図
D-13	1階歯科診療所平面詳細図・床伏図・天井伏図	E-13	照明設備図(撤去)	M-13	空調・換気設備 現況・撤去平面図
D-14	2階平面詳細図	E-14	動力電話設備図(撤去)	M-14	空調設備 現況・撤去屋根伏図
D-15	改修展開図(1)	E-15	拡声テレビ共視聴インターホン設備図(撤去)		
D-16	改修展開図(2)	E-16	自動火災報知設備図(撤去)		
D-17	建具表(撤去・改修)1			K-01	仮設計画図(案)(1)
D-18	建具表(撤去・改修)2			K-02	仮設計画図(案)(2)
D-19	部分詳細図(1)				
D-20	部分詳細図(2)				

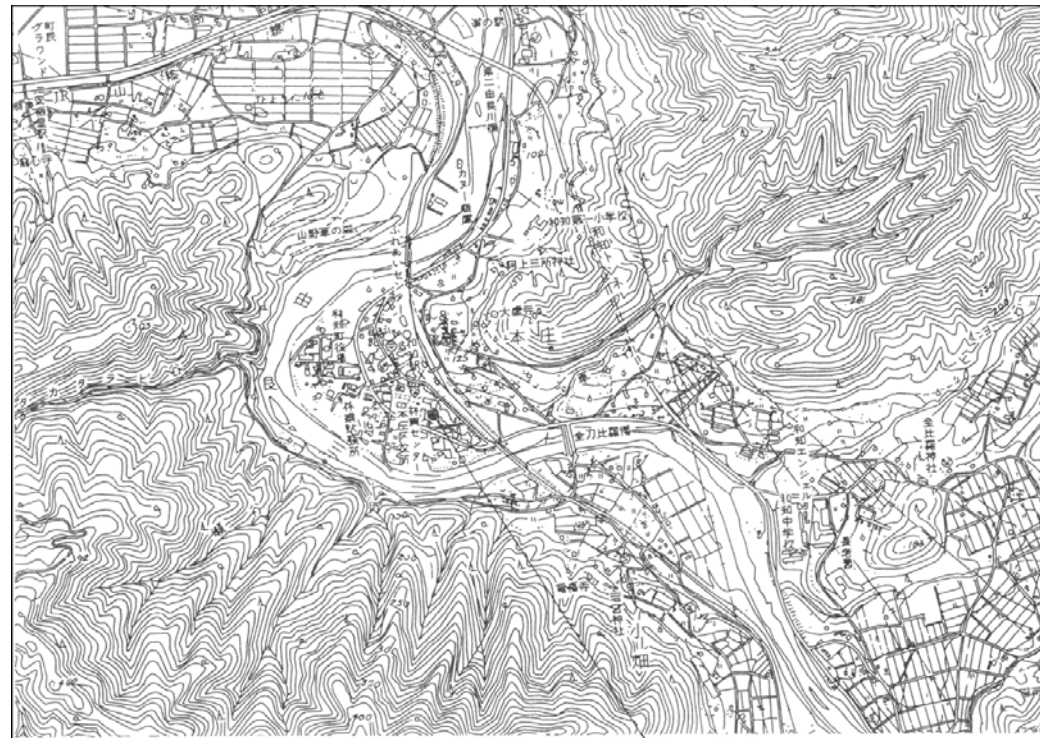
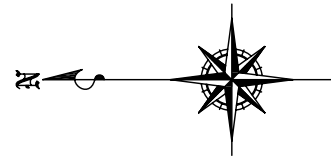
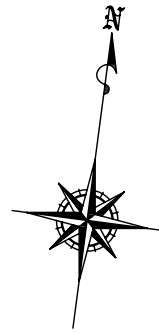


建築改修工事特記仕様書		章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項																																																																																																																																																						
<p>【1】 工 事 概 要</p> <p>1. 工 事 場 所 京都府船井郡京丹波町本庄今福13番地</p> <p>2. 敷 地 面 積 1501.2 m²</p> <p>3. 建築物概要</p> <table border="1"> <tr> <th>棟 名</th> <th>構 造</th> <th>階 数</th> <th>建築面積(m²)</th> <th>延べ面積(m²)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>1 保健センター</td> <td>鉄筋コンクリート</td> <td>2</td> <td>369.8</td> <td>707.60</td> <td>(206.20)</td> </tr> <tr> <td colspan="6">(有利診療所改修部分)</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table> <p>4. そ の 他</p> <p>【2】 適 用 範 囲</p> <p>現場説明書(質疑回答を含む)、本特記仕様書、図面、改修標準仕様書に示す範囲とする。 すべての設計図書は相互に補充するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。 上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成22年版)をいう。(以下、これを「改修標準仕」という。) 本書に特に記載のない事項にあっても、すべて、「改修標準仕」の適用を受けるものとする。</p> <p>【3】 工 事 区 分</p> <p>設計図書による。 別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。</p> <p>【4】 工 事 仕 様</p> <p>1. 設計図書による。設計図面に記載されていない事項は、「改修標準仕」のほか別記の適用基準による。 2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。 4. 項目及び特記事項に記載の()内表示番号は「改修標準仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p>		棟 名	構 造	階 数	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)	備 考	1 保健センター	鉄筋コンクリート	2	369.8	707.60	(206.20)	(有利診療所改修部分)																														<p>1 一般共通事項</p> <p>④ 風圧力及び積雪に対する性能</p> <p>建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分等 風速(V₀) ※ 3 2 ○ (平成12年5月31日建設省告示第1454号) 地表面粗度区分 ○ I ○ II ※ III ○ IV 多量地域の指定 ※ なし ○ あり</p> <p>⑤ 現場代理人</p> <p>※ 本工事の施工にあたっては、請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、請負者と直接的かつ恒久的な雇用関係のある者を選任しなければならない。</p> <p>⑥ 工事工程報告</p> <p>※ 月報は毎月末日に、翌月5日までに提出する。 ○ 日報は監督職員の指示による。 ○ 週報は毎週()曜日に提出する。</p> <p>⑦ 工事実績情報の登録 (1.1.4)</p> <p>※ 適用する(適用事項は、現場説明書による) ○ 適用しない</p> <p>⑧ 施工体制台帳等の作成・提出 (1.1.5)</p> <p>※ 請負者は、請負金額3千万円以上(建築一式工事については4千5百万円以上)の工事について、施工体制台帳(下請契約書等添付)及び施工体系図を作成し、監督職員に提出しなければならない。 ※ 請負者は、工事完成時に、建退共済実績報告書を提出しなければならない。</p> <p>⑨ 設備工事との取合い</p> <p>施工範囲 ※ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 ※ 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※ 駆動装置が電動による建具類の二次配線及び操作スイッチ ※ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強</p> <p>施工図 設備機器の位置、取合等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承認を受ける。</p> <p>⑩ 施工図等の取扱い (1.2.3)</p> <p>※ 施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲される。</p> <p>⑪ 工事写真 (1.2.4)</p> <p>※ 工事写真の撮り方(改訂2版)建築編(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)によるほかは監督職員の指示による。 ※ 下記のことを監督職員に提出する。</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>部数(本図に付き)</th> <th>分 類・規 格</th> <th>原板の大きさ(mm)</th> </tr> <tr> <td>着 工 前</td> <td>※ 1 ○</td> <td>※ カラーサービス版</td> <td>※ 24×36以上</td> </tr> <tr> <td>工 事 中</td> <td>※ 1 ○</td> <td>※ カラーサービス版</td> <td>※ 24×36以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">完 成 時</td> <td rowspan="2">※ 2 ○</td> <td>※ カラーサービス版</td> <td>※ 24×36以上</td> </tr> <tr> <td>※ カラーキャビネ版</td> <td>※ 60×70以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">()箇所</td> <td rowspan="2">※ 2 ○</td> <td>※ カラーキャビネ版</td> <td>※ 24×36以上</td> </tr> <tr> <td>※ カラーパネル半切</td> <td>※ 60×70以上</td> </tr> </table> <p>※ 写真をデジタル写真で撮影する場合には、完成写真については有効画素数300万画素程度、工事写真は有効画素数130万画素程度とし、黒板の文字等の内容が判読できる精度を確保するものとする。 ※ 完成写真撮影場所は、監督職員の指示による。 ○ 完成写真撮影業者は、監督職員の承認する撮影業者(建築写真専門業者)とする。</p> <p>⑫ 電気保安技術者 (1.3.3)</p> <p>※ 適用する ○ 適用しない</p> <p>⑬ 施工条件 (1.3.5)</p> <p>※ 現場説明書(又は募集要項)による。</p> <p>⑭ 発注材の処理等 (1.3.8)</p> <p>○ 引渡しを要するもの () ○ 現場において再利用を図るもの、再生資源化を図るもの () ○ 指定副産物の搬出 (詳細は現場説明書による。) ○ アスファルトコンクリート塊 ○ セメントコンクリート塊 ○ 建設発生木材 ○ 指定副産物の処分地 (詳細は現場説明書による。) ○ 指定処分地 () ※ 自由処分 (最寄りの再生資源化施設へ搬出すること) () ● 指定副産物以外の搬出 ※ 搬出後適切処理 ○ () ○ 特別管理産業廃棄物の処理 ○ 廃石綿等 ○ PCBを含む機器類 ○ PCB含有シーリング ○ 廃油 ○ 廃酸・廃アルカリ (○ 臭化リチウム ○ 蓄電池電解液) ○ SF6ガス使用機器 ※ 廃石綿の処分地 (綱京環境確保安全公理センター) PCB含有シーリング材の分析調査 ○ 行う ()箇所 ○ 行わない PCB含有シーリング材の搬去・処分方法は「建築物の解体等に伴う有害物質等の適切な取扱い」による。 次の建設廃棄物は再生資源化する。 ○ 蛍光灯ランプ ○ HI Dランプ ○ 硬質塩化ビニル管・継手</p> <p>処理計画書の提出 ※ 再生資源利用促進計画書、実施書を「CREDAS入力システム」により作成し、提出用フォルダと共に提出すること。 ※ 建設発生土及び建設副産物処理計画書、報告書を提出すること。 マニフェスト制度 ※ 産業廃棄物管理票(マニフェスト)制度により、適正な処理を行うこと。 ※ 産業廃棄物の処理を委託する場合は、運搬と処分についてそれぞれの許可業者と処理委託料を記載した「処理委託契約書」により委託契約すること。</p>			部数(本図に付き)	分 類・規 格	原板の大きさ(mm)	着 工 前	※ 1 ○	※ カラーサービス版	※ 24×36以上	工 事 中	※ 1 ○	※ カラーサービス版	※ 24×36以上	完 成 時	※ 2 ○	※ カラーサービス版	※ 24×36以上	※ カラーキャビネ版	※ 60×70以上	()箇所	※ 2 ○	※ カラーキャビネ版	※ 24×36以上	※ カラーパネル半切	※ 60×70以上	<p>1 一般共通事項</p> <p>⑮ 調査のための破壊部分の補修 (1.5.3)</p> <p>⑯ 技能士 (1.6.2)</p> <p>既存破壊部分の補修方法 ※ 図示 ○ _____</p> <table border="1"> <tr> <th>工事種別</th> <th>適用する技能士の技能検定における選択作業</th> </tr> <tr> <td>仮設工事</td> <td>○ とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>○ 鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>○ 左官作業 ○ 型枠工事作業 ○ コンクリート送込作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>○ 構造物鉄工作業 ○ とび作業</td> </tr> <tr> <td>アロワ及びALCA工事</td> <td>○ コンクリートロウ工事作業 ○ ALCA工事作業</td> </tr> <tr> <td>カーテンウォール工事</td> <td>○ 金属製カーテンウォール施工作業 ○ ビル用ガラス施工作業 ○ ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>○ 75kg系防水工事作業 ○ 75kg系防水工事作業 ○ 90kg系系塗膜防水工事作業 ○ 90kg系系防水工事作業 ○ 75kg系系塗膜防水工事作業 ○ FRP防水工事作業 ○ 合成ゴム系防水工事作業 ○ 塩化ビニル系防水工事作業 ○ 改質アクリル樹脂系防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>○ 石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>○ タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>○ 大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>○ 内外装板金作業 ○ かわらぶき作業 ○ ルー工作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>● 鋼製下地工事作業 ○ 内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>○ 左官作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>○ 建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>● ビル用ガラス加工作業 ● ガラス工事作業 ○ 自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>● プラスチック系床仕上げ工事作業 ○ 床仕上げ工事作業 ○ カーペット系床仕上げ工事作業 ○ 壁装作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>● 建築配管工事</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>○ 溶融べントナイトマーカ工作業 ○ 加熱べントナイトマーカ工作業</td> </tr> <tr> <td>補装工事</td> <td>○ 造園工事作業</td> </tr> </table> <p>ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承認を得ること。</p> <p>17 施工の検査等 (1.6.5)</p> <p>⑰ 化学物質の濃度測定 (1.6.9)</p> <p>※ 適用する(適用事項は、現場説明書による) ○ 適用しない</p> <p>⑱ 完成図 (1.8.2)</p> <p>※ 作成する(提出部数 ※ 2部 ○ 部) 詳細は監督職員の指示による。 ※ 完成図等の電子データによる提出については、現場説明書による。</p> <p>⑳ 保全に関する資料 (1.8.3)</p> <p>※ 作成する(提出部数 ※ 2部 ○ 部) ○ 作成しない ○ 敷地、建物の構造規模、主要な設備構成等の建物概要 ○ 建物を使用する上での注意事項 ● 建物に設置されている家具、機器等及び部位毎の仕上げの概要説明 ● 建物、工作物、積載等を管理する上での保全業務の要点 ● 主要材料の製造所名、所在地、連絡先、非常時の連絡体制一覧表 建設大臣官房官庁営繕部監修「管理者のための建築物保全の手引き」及び「建築保全業務共通仕様書」を参考として作成すること。</p>		工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業	仮設工事	○ とび作業	鉄筋工事	○ 鉄筋組立作業	コンクリート工事	○ 左官作業 ○ 型枠工事作業 ○ コンクリート送込作業	鉄骨工事	○ 構造物鉄工作業 ○ とび作業	アロワ及びALCA工事	○ コンクリートロウ工事作業 ○ ALCA工事作業	カーテンウォール工事	○ 金属製カーテンウォール施工作業 ○ ビル用ガラス施工作業 ○ ガラス工事作業	防水工事	○ 75kg系防水工事作業 ○ 75kg系防水工事作業 ○ 90kg系系塗膜防水工事作業 ○ 90kg系系防水工事作業 ○ 75kg系系塗膜防水工事作業 ○ FRP防水工事作業 ○ 合成ゴム系防水工事作業 ○ 塩化ビニル系防水工事作業 ○ 改質アクリル樹脂系防水工事作業	石工事	○ 石張り作業	タイル工事	○ タイル張り作業	木工事	○ 大工工事作業	屋根及びとい工事	○ 内外装板金作業 ○ かわらぶき作業 ○ ルー工作業	金属工事	● 鋼製下地工事作業 ○ 内外装板金作業	左官工事	○ 左官作業	塗装工事	○ 建築塗装作業	建具工事	● ビル用ガラス加工作業 ● ガラス工事作業 ○ 自動ドア施工作業	内装工事	● プラスチック系床仕上げ工事作業 ○ 床仕上げ工事作業 ○ カーペット系床仕上げ工事作業 ○ 壁装作業	排水工事	● 建築配管工事	舗装工事	○ 溶融べントナイトマーカ工作業 ○ 加熱べントナイトマーカ工作業	補装工事	○ 造園工事作業	<p>2 仮設工事</p> <p>① 足場その他 (2.2.1)</p> <p>※ 労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。 外部足場 ※ A種 ○ B種 ○ C種 ○ D種 (表2.2.1) 内部足場 ※ 脚立、足増板等 ○ 防護シート等 ○ 防音パネル ○ 防音シート ● 養生シート ○ ネット及び養生シート 材料、撤去材等の運搬方法 ○ A種 ※ B種 ○ C種 ○ D種 ○ E種 (表2.2.2)</p> <p>※ 足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省 基発第0424001号)」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び柵木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式を採用すること。</p> <p>② 既存部分の養生 (2.3.1)</p> <p>既存部分の養生 ※ 行う (※ ビニールシート ○ _____) ○ 行わない 既存家具等の養生 ※ 行う (※ ビニールシート ○ _____) ○ 行わない 既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 ※ 行う ○ 行わない 養生の方法 ※ 取り外しの上で清掃 ○ 保管場所 ※ 室内にてカバー掛の上、適切保管 ○ 家具の移動 ※ 行う(図示) ● 行わない</p>		<p>2 仮設工事</p> <p>③ 仮設間仕切り (2.3.2)</p> <p>4 監督職員事務所 (2.4.1)</p> <p>5 工事用水</p> <p>6 工事用電力</p> <p>7 仮囲い等</p> <p>⑧ 設計GL</p> <p>● 設計GL=現状GL</p> <p>(2) 土・鉄筋・コンクリート工事</p> <p>1 埋め戻し及び盛土 (3.2.3)</p> <p>2 建設発生土の処理 (3.2.5)</p> <p>③ 鉄筋の種類 (5.2.1)</p> <p>4 溶接金網 (5.2.2)</p> <p>⑤ コンクリートの強度 (6.1.4)</p> <p>⑥ レディーミクストコンクリートの類別等 (6.1.5)</p> <p>⑦ セメントの類別 (6.3.2)</p>		<p>● 敷ける(図示) ○ A種 ○ B種 ※ C種 ○ 敷けない</p> <p>規模 ○ 10m程度 ○ 20m程度 ○ 35m程度 ○ 65m程度 ○ 100m程度 仕上 床 ○ 合板張り素地 ○ ビニル床シート敷き ○ ノンベイト敷き 内壁、天井 ○ 合板又は石膏ボード張り、合成樹脂モルタル塗布 屋根 ○ 塗装済重層鉛板張り ○ 鉄板張り合板ベイト塗り 休憩室 ○ 敷けない ○ 敷ける(畳敷き) ○ 備品 ○ 机 ○ いす ○ 書棚 ○ 黒板 ○ 裏図板 ○ 掛時計 ○ 湿度計 ○ 消火器 ○ 掃除機 ○ 加入電話機 ○ 懐中電灯 ○ 湯沸器 ○ 冷暖房機器 ○ ○ 保線帽 ○ ゴム長靴 ○ 雨がっぱ ○ 衣類locker (人分程度) ※ 改修標準仕(平成22年版) ※ 建築工事監理指針(平成22年版) ※ 建築工事施工チェックシート ○ 建築工事標準仕様書(平成22年版) ○ 工事写真の撮り方(改訂2版)建築編</p> <p>構内既存の施設 ※ 利用できない ○ 利用できる (○ 有償 ○ 無償)</p> <p>構内既存の施設 ※ 利用できない ○ 利用できる (○ 有償 ○ 無償)</p> <p>※ 図示 ○</p> <p>● 設計GL=現状GL</p> <p>本章の項目及び特記事項の()内表示番号は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(平成22年版)の該当項目、該当図又は該当表を示す。 なお、耐震改修工事に係る「鉄筋・コンクリート」の取扱いは、後述の章「8 耐震改修工事」によるものとする。</p> <p>○ A種 砂質土(山砂の類)を水締め又は機器による締固め (表3.2.1) ※ B種 根切り土の中の良質土を機器による締固め ○ C種 他現場の建設発生土の中の良質土を機器による締固め ○ D種 再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め ○ 建設発生土(盛土材)の外部からの受入土量() 発生場所 ()</p> <p>※ 下記に定めるほかは、現場説明書による ○ 構外指定の受入場所に処分 受入場所 ※ (財)城島山砂利採取地整備公社 ○ 土壤調査 ※ 行う(受入場所指定の検査) ○ ○ 京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 施行規則第7条第3項1号及び第4項に規定する方法 仮置場所 ○ ● 構内指定の場所に敷き均し ○ 構内指定の場所にたい積 ○ 構外搬出適切処理 ※ 中丹東土木事務所管内及び丹後土木事務所管内で、 搬出土量が少量(50m³以内)かつ緊急の場合等</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="3">異形鉄筋</th> <th colspan="2">種類の記号</th> <th>径(mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※ S D 2 9 5 A</td> <td></td> <td>D 1 6 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ S D 3 4 5</td> <td></td> <td>D 1 9 以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>網目の形状、寸法 150×150 鉄筋の径(mm) 6 mm</p> <p>設計基準強度(F_c)</p> <table border="1"> <tr> <th>打 撃 部 位</th> <th>F_c(N/mm²)</th> <th>スランプ(cm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">構造体</td> <td>基礎</td> <td>※ 1 5 ○ 1 8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上部</td> <td>※ 2 1 ○ ○ 1 5 ※ 1 8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土間コンクリート</td> <td>※ 1 8 ○</td> <td>※ 1 5 ○ 1 8</td> <td>花壇等</td> </tr> <tr> <td>捨コンクリート</td> <td>※ 1 8 ○</td> <td>※ 1 5 ○ 1 8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽量コンクリート</td> <td>※ 2 1 ○</td> <td>※ 1 5 ○ 1 8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無筋コンクリート</td> <td>※ 1 8 ○</td> <td>※ 1 5 ○ 1 8</td> <td>欄仕6.14.11による</td> </tr> </table> <p>※ 構造体コンクリートの実用強度は以下のとおりとする。 [F_c+構造体強度補正值(S)] N/mm² (6.14.11によるもの及び土間コンクリートは構造体強度補正は行わない)</p> <p>レディーミクストコンクリートの類別 ※ I類 ○ II類 (表6.1.1)</p> <p>※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA ○ 高炉セメントのB種</p>		異形鉄筋	種類の記号		径(mm)	備 考	※ S D 2 9 5 A		D 1 6 以下		※ S D 3 4 5		D 1 9 以上		○					打 撃 部 位	F _c (N/mm ²)	スランプ(cm)	備 考	構造体	基礎	※ 1 5 ○ 1 8		上部	※ 2 1 ○ ○ 1 5 ※ 1 8		土間コンクリート	※ 1 8 ○	※ 1 5 ○ 1 8	花壇等	捨コンクリート	※ 1 8 ○	※ 1 5 ○ 1 8		軽量コンクリート	※ 2 1 ○	※ 1 5 ○ 1 8		無筋コンクリート	※ 1 8 ○	※ 1 5 ○ 1 8	欄仕6.14.11による
棟 名	構 造	階 数	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)	備 考																																																																																																																																																													
1 保健センター	鉄筋コンクリート	2	369.8	707.60	(206.20)																																																																																																																																																													
(有利診療所改修部分)																																																																																																																																																																		
	部数(本図に付き)	分 類・規 格	原板の大きさ(mm)																																																																																																																																																															
着 工 前	※ 1 ○	※ カラーサービス版	※ 24×36以上																																																																																																																																																															
工 事 中	※ 1 ○	※ カラーサービス版	※ 24×36以上																																																																																																																																																															
完 成 時	※ 2 ○	※ カラーサービス版	※ 24×36以上																																																																																																																																																															
		※ カラーキャビネ版	※ 60×70以上																																																																																																																																																															
()箇所	※ 2 ○	※ カラーキャビネ版	※ 24×36以上																																																																																																																																																															
		※ カラーパネル半切	※ 60×70以上																																																																																																																																																															
工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業																																																																																																																																																																	
仮設工事	○ とび作業																																																																																																																																																																	
鉄筋工事	○ 鉄筋組立作業																																																																																																																																																																	
コンクリート工事	○ 左官作業 ○ 型枠工事作業 ○ コンクリート送込作業																																																																																																																																																																	
鉄骨工事	○ 構造物鉄工作業 ○ とび作業																																																																																																																																																																	
アロワ及びALCA工事	○ コンクリートロウ工事作業 ○ ALCA工事作業																																																																																																																																																																	
カーテンウォール工事	○ 金属製カーテンウォール施工作業 ○ ビル用ガラス施工作業 ○ ガラス工事作業																																																																																																																																																																	
防水工事	○ 75kg系防水工事作業 ○ 75kg系防水工事作業 ○ 90kg系系塗膜防水工事作業 ○ 90kg系系防水工事作業 ○ 75kg系系塗膜防水工事作業 ○ FRP防水工事作業 ○ 合成ゴム系防水工事作業 ○ 塩化ビニル系防水工事作業 ○ 改質アクリル樹脂系防水工事作業																																																																																																																																																																	
石工事	○ 石張り作業																																																																																																																																																																	
タイル工事	○ タイル張り作業																																																																																																																																																																	
木工事	○ 大工工事作業																																																																																																																																																																	
屋根及びとい工事	○ 内外装板金作業 ○ かわらぶき作業 ○ ルー工作業																																																																																																																																																																	
金属工事	● 鋼製下地工事作業 ○ 内外装板金作業																																																																																																																																																																	
左官工事	○ 左官作業																																																																																																																																																																	
塗装工事	○ 建築塗装作業																																																																																																																																																																	
建具工事	● ビル用ガラス加工作業 ● ガラス工事作業 ○ 自動ドア施工作業																																																																																																																																																																	
内装工事	● プラスチック系床仕上げ工事作業 ○ 床仕上げ工事作業 ○ カーペット系床仕上げ工事作業 ○ 壁装作業																																																																																																																																																																	
排水工事	● 建築配管工事																																																																																																																																																																	
舗装工事	○ 溶融べントナイトマーカ工作業 ○ 加熱べントナイトマーカ工作業																																																																																																																																																																	
補装工事	○ 造園工事作業																																																																																																																																																																	
異形鉄筋	種類の記号		径(mm)	備 考																																																																																																																																																														
	※ S D 2 9 5 A		D 1 6 以下																																																																																																																																																															
	※ S D 3 4 5		D 1 9 以上																																																																																																																																																															
○																																																																																																																																																																		
打 撃 部 位	F _c (N/mm ²)	スランプ(cm)	備 考																																																																																																																																																															
構造体	基礎	※ 1 5 ○ 1 8																																																																																																																																																																
	上部	※ 2 1 ○ ○ 1 5 ※ 1 8																																																																																																																																																																
土間コンクリート	※ 1 8 ○	※ 1 5 ○ 1 8	花壇等																																																																																																																																																															
捨コンクリート	※ 1 8 ○	※ 1 5 ○ 1 8																																																																																																																																																																
軽量コンクリート	※ 2 1 ○	※ 1 5 ○ 1 8																																																																																																																																																																
無筋コンクリート	※ 1 8 ○	※ 1 5 ○ 1 8	欄仕6.14.11による																																																																																																																																																															
<p>1 一般共通事項</p> <p>① 適用基準等</p> <p>※ 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 平成22年版 (監修:国土交通省) ※ 建築工事標準仕様書(建築工事編) 平成22年版 (監修:国土交通省) ○ 敷地調査共通仕様書 平成11年版 (監修:建設大臣) ○ 建築設備設計基準 平成10年版 (監修:建設大臣) ○ 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 平成22年版 (監修:国土交通省) ○ 木造建築改修工事標準仕様書 平成22年版 (監修:国土交通省) ● 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) 平成22年版 (監修:国土交通省) ● 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) 平成22年版 (監修:国土交通省) (注:監修者「国土交通省」は国土交通省大臣官房官庁営繕部を、「建設大臣」は建設大臣官房官庁営繕部を示す)</p> <p>② 建築材料等</p> <p>※ 本工事に使用する建築材料等は、設計図面に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は監督職員の承認を受ける。</p> <p>※ 下記材料品目は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」にある材料とする。 また、同評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとしてすることができる。 (評価名簿によるもの) 床型特用鋼製デッキプレート(7フット)、鉄骨柱下黒吸蔵モルタル、 無取捨グROUT材(プレキャスト型、現場混合型)、押出成形セメント板、 成形伸縮目地材、乾式保種材(防水立上部)、陶磁器質タイル(陶器質が、 せつ磨質が、磁器質が、再生材利用が)、既製型合モルタル(が工用)、 既製型合目地材、ルーフトレイン、吸水性整材(砂利用)、アルミニウム製建具、 鋼製建具、鋼製軽建具、ステンレス製建具、錠鎖類(パッド錠、レバー錠、 パッド錠)、クローザー類(パッド錠、レバー錠)、 自動扉機構(制御装置・駆動装置、検出装置・制御装置・駆動装置・検出装置)、 自閉式上吊り引戸機構(手動開き式)、重量シャッター、軽量シャッター、 オートドール、ガラス(加工板が、型板が、網入板が)及び網入板が、 熱線吸収板が、倍強度が、熱線反射が)、ガラスブロック(中空)、 防水剤、ビニルシート、ビニル床タイル、現場発泡断熱材、 アークカット(300N、5000N)、可動間仕切、移動間仕切(スリットドア)、 トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、 屋上緑化システム(屋上緑化システム、屋上緑化貯留システム)、トップライト、 エポキシ樹脂、タイル部分張替用接着剤、ポリマーセメントモルタル、 鋼鉄製マンホール蓋・井枠ふた</p> <p>③ 特別な材料の工法</p> <p>※ 設計図面に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。</p>		<p>2 仮設工事</p> <p>① 足場その他 (2.2.1)</p> <p>② 既存部分の養生 (2.3.1)</p>		<p>2 仮設工事</p> <p>① 足場その他 (2.2.1)</p> <p>② 既存部分の養生 (2.3.1)</p>		<p>2 仮設工事</p> <p>① 足場その他 (2.2.1)</p> <p>② 既存部分の養生 (2.3.1)</p>																																																																																																																																																												

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																											
(2) 土・鉄筋・コンクリート工事 9 混和材料 (6.3.5) 10 構造体強度補正値 (6.4.5) 11 暑中におけるコンクリートの扱い (6.8.2) 12 寒中コンクリート 13 コンクリートの試験 (6.10.2) ~ (6.10.6) 14 コンクリート特車の過積載防止対策等 15 軽量コンクリート (6.11.1)	⑧ 骨材 (6.3.3) 粗骨材 ※砂利(JIS A5308)、砕石(JIS A5006) ○高炉スラグ ○電気炉酸化スラグ ○再生骨材H 細骨材 ※砂(JIS A5308)、砕石(JIS A5006) ○高炉スラグ ○電気炉酸化スラグ ○鋼スラグ ○F10コンクリートスラグ ○再生骨材H アルカリシリカ反応性による区分 ※A(無害) ○ 混和剤 ※AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤の1種(JIS A6204) 混和材 ※フライアッシュ(JIS A6201) I種又はII種 ※気温による構造体強度補正値(S) (表6.4.1) <table border="1"> <tr> <th>予想平均気温(℃)</th> <th>補正値</th> <th colspan="3">期 間 (打 撃 日)</th> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>早強</td> <td>(I)</td> <td>南部地域</td> <td>中部地域</td> <td>北部地域</td> </tr> <tr> <td>8以上</td> <td>5以上</td> <td>3</td> <td>3/6 ~ 6/30</td> <td>3/11 ~ 7/20</td> <td>3/11 ~ 7/10</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>N/mm2</td> <td>9/11 ~ 11/15</td> <td>9/1 ~ 11/5</td> <td>9/1 ~ 10/31</td> </tr> <tr> <td>0以上</td> <td>0以上</td> <td>6</td> <td>11/16 ~ 3/5</td> <td>11/6 ~ 3/10</td> <td>11/1 ~ 3/10</td> </tr> <tr> <td>8未満</td> <td>5未満</td> <td>N/mm2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 南部地域(京都市(一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域(京都市、旧加悦町以北の市町村) 中部地域(上記以外の市町村、旧美山町及び旧京北町を含む) ※暑中における構造体強度補正値(S) <table border="1"> <tr> <th>地 域</th> <th>日平均気温が25度を超える期間(打撃日)</th> <th>補 正 値</th> </tr> <tr> <td>北 部 地 域</td> <td>7月11日~8月31日</td> <td>※6N/mm2</td> </tr> <tr> <td>中 部 地 域</td> <td>7月21日~8月31日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>南 部 地 域</td> <td>7月1日~9月10日</td> <td>○3N/mm2</td> </tr> </table> ※予想平均気温が表6.4.1に示す予想平均気温未満の場合には補正第6章第12節(寒中コンクリート)による。 ※フレッシュコンクリートの試験 ※コンクリートの強度試験 ○材料試験 レディーミクストコンクリート施工の品質管理 ※スランプ試験、圧縮強度試験、空気量測定については、少なくとも一回以上、監督職員立会の上、実施しなければならない。ただし、やむを得ない場合は監督職員の承認を受けた上で、精負者のみで実施してもよい。 精負者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車1台毎の積載量が把握できる集計表を検査時に提出しなければならない。 種別 ○1種 ○2種 施工箇所 _____	予想平均気温(℃)	補正値	期 間 (打 撃 日)			普通	早強	(I)	南部地域	中部地域	北部地域	8以上	5以上	3	3/6 ~ 6/30	3/11 ~ 7/20	3/11 ~ 7/10			N/mm2	9/11 ~ 11/15	9/1 ~ 11/5	9/1 ~ 10/31	0以上	0以上	6	11/16 ~ 3/5	11/6 ~ 3/10	11/1 ~ 3/10	8未満	5未満	N/mm2				地 域	日平均気温が25度を超える期間(打撃日)	補 正 値	北 部 地 域	7月11日~8月31日	※6N/mm2	中 部 地 域	7月21日~8月31日		南 部 地 域	7月1日~9月10日	○3N/mm2	3 防水改修工事 2 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4) 3 合成高分子系膜材シート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)	アスファルトの種類 ※3種 アスファルトルーフィング ※1500 ○ ○粘着層付アスファルトルーフィング 厚さ(mm) _____ mm 種類 _____ ※非露出複層防水用R種 ○改質アスファルトルーフィングシート 厚さ(mm) _____ mm 種類 _____ ※露出単層防水用R種 ○ 断熱材(保熱防水断熱工法) 厚さ(mm) _____ mm 材質 _____ ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bのスキン層付(ただし、特定フロンを含まないものとする。) ○ 断熱材(露出防水断熱工法) 厚さ(mm) _____ mm 材質 _____ ※ルーフィング類製造所の仕様による ○ 絶縁用シート ※ポリエチレンフィルム厚0.15(保熱防水工法) ※フラットヤークロス(70g/m程度)(保熱防水断熱工法) ○ 押え金物 ※アルミニウム製 L=30×15×2.0 ○ 立上がり部 保熱コンクリート ○適用する() ○適用しない ※レンガ押え(JIS) ○コンクリート押え ○モルタル押え ○乾式保熱材() 保熱層 平場のコンクリート厚さ _____ mm ○こて仕上げ _____ mm ○床タイル張り等仕上げ _____ mm 脱気装置 ○敷ける 材 種 () 設置数量(1箇所/ m ²) 伸縮調整目地 ※成形伸縮目地材 ○ 成形緩衝材 ※ルーフィング類製造所の指定品 ○ ○アスファルトシングル葺きかぶせ工法 詳細については別図による(内種共) ○露出防水密着工法 <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○M4AS工法</td> <td>○AS-1 ○AS-2 ○AS-3</td> <td>表3.4.1</td> </tr> </table> ○露出防水絶縁工法 <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○M3AS工法</td> <td>○AS-4 ○AS-5</td> <td>表3.4.2</td> </tr> <tr> <td>○POAS工法</td> <td>○AS-6</td> <td></td> </tr> </table> ○露出防水絶縁断熱工法 <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○M3AS工法</td> <td>○ASI-1</td> <td rowspan="3">表3.4.3</td> </tr> <tr> <td>○M4AS工法</td> <td>○ASI-2</td> </tr> <tr> <td>○POAS工法</td> <td></td> </tr> </table> 断熱材(露出防水絶縁断熱工法) 厚さ(mm) _____ mm 材質 _____ ※改質アスファルトシート製造所の仕様による ○ 仕上げ塗料 ○お- () ○シMA'- 脱気装置 ※敷ける 材種 () 設置数量(1箇所/ m ²) 防湿層 ○敷ける ○敷けない 改質アスファルトシート下地に部分的に溶着又は接着させる場合 ○施工法 () <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○POS工法</td> <td>○S(1)-F1(t- ※1.2 ○)</td> <td rowspan="5">表3.6.1</td> </tr> <tr> <td>○S4S工法</td> <td>PO部材入隅増強(※有り ○無し)</td> </tr> <tr> <td>○POS工法</td> <td>○S(1)-F2(t- ※2.0 ○)</td> </tr> <tr> <td>○S4S工法</td> <td>○S(1)-M1(t- ※1.5 ○)</td> </tr> <tr> <td>○S(1)-M2(t- ※1.5 ○)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○S(1)-M3(t- ※1.2 ○)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○S3S工法</td> <td>○S(1)-F1(t- ※1.2 ○)</td> <td rowspan="2">表3.6.1</td> </tr> <tr> <td>○S3S工法</td> <td>PO部材入隅増強(※有り ○無し)</td> </tr> <tr> <td>○S(1)-F2(t- ※2.0 ○)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○M4S工法</td> <td>○S(1)-M1(t- ※1.5 ○)</td> <td rowspan="3">表3.6.1</td> </tr> <tr> <td>○M4S工法</td> <td>○S(1)-M2(t- ※1.5 ○)</td> </tr> <tr> <td>○S(1)-M3(t- ※1.2 ○)</td> <td></td> </tr> </table> 断熱材 ○用いる(厚さ(mm) _____ 種類 _____) PCコンクリート部材下地の場合の目地処理 ○ 絶縁用シート ※発泡ポリエチレンシート ○ 仕上げ塗料 ○お- () ○シMA'- 脱気装置 ○敷ける 材種 () 設置数量(1箇所/ m ²) ※建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。	種 別	防水層	施 工 箇 所	○M4AS工法	○AS-1 ○AS-2 ○AS-3	表3.4.1	種 別	防水層	施 工 箇 所	○M3AS工法	○AS-4 ○AS-5	表3.4.2	○POAS工法	○AS-6		種 別	防水層	施 工 箇 所	○M3AS工法	○ASI-1	表3.4.3	○M4AS工法	○ASI-2	○POAS工法		種 別	防水層	施 工 箇 所	○POS工法	○S(1)-F1(t- ※1.2 ○)	表3.6.1	○S4S工法	PO部材入隅増強(※有り ○無し)	○POS工法	○S(1)-F2(t- ※2.0 ○)	○S4S工法	○S(1)-M1(t- ※1.5 ○)	○S(1)-M2(t- ※1.5 ○)		○S(1)-M3(t- ※1.2 ○)			○S3S工法	○S(1)-F1(t- ※1.2 ○)	表3.6.1	○S3S工法	PO部材入隅増強(※有り ○無し)	○S(1)-F2(t- ※2.0 ○)			○M4S工法	○S(1)-M1(t- ※1.5 ○)	表3.6.1	○M4S工法	○S(1)-M2(t- ※1.5 ○)	○S(1)-M3(t- ※1.2 ○)		4 塗膜防水 (3.6.2) ~ (3.6.3) 5 漏水試験 6 保証書 7 施工機械 8 シーリング (3.7.2) ~ (3.7.8) 9 とい(雨水) (3.8.2) ~ (3.8.3) 10 アルミニウム製笠木 (3.9.2) ~ (3.9.3)	種 別 防水層 施 工 箇 所 ○POX工法 ※X-1 表3.6.1 ○L4X工法 ※X-2 脱気装置 ○敷ける 材種 () 設置数量(1箇所/ m ²) <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○P1Y工法</td> <td>※Y-2</td> <td rowspan="2">表3.6.2</td> </tr> <tr> <td>○P2Y工法</td> <td>○</td> </tr> </table> 保熱層 ○敷ける ○敷けない ※水張り試験を行う (○屋内 ○屋外) ※精負業者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。(保証年限は工事目的物引渡しより10年間以上とする。) 工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。 材質 ※真鍮鍍エッチング仕上150×100 ○ 設置数量 () 箇所 シーリング材の種類 ※改修仕様表3.7.1による シーリング改修工法及び施工箇所 <table border="1"> <tr> <th>改 修 工 法 の 種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○シーリング充填工法</td> <td>防水押さえ金物</td> </tr> <tr> <td>○シーリング再充填工法</td> <td>外壁打ち継ぎ目地、既存サッシ廻り 既存手溝足元等</td> </tr> <tr> <td>○拡張シーリング再充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ブリッジ工法</td> <td></td> </tr> </table> 目地寸法 コンクリートの打ち継ぎ目地及びびびり割れ懸垂目地 ※幅20mm以上、深さ10mm以上 ○ ガラス回りの目地 ※幅5mm以上、深さ5mm以上 ○ その他の目地 ※幅10mm以上、深さ10mm以上 ○ シーリングの試験 ※簡易接着性試験 (部位 _____) ○引張接着性試験 (部位 _____) ※外とい(外気に接するとい) <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>そ の 他</th> </tr> <tr> <td>ルーフトレイン等 ※鉛鍍</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軒どい ※硬質塩化ビニル製(角形) (高さ) 巾120mm (カラー) 巾150mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>たてとい ※硬質塩化ビニル管(VP) (カラー) 径75mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>谷どい ※</td> <td></td> </tr> <tr> <td>とい受け金物 ※亜鉛メッキ鋼板</td> <td></td> </tr> </table> ○内とい(VP管は使用しない) <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>そ の 他</th> </tr> <tr> <td>たてとい及び横走り管 ※SGP</td> <td>径75mm</td> </tr> <tr> <td>とい受け金物 ※亜鉛メッキ鋼板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防露巻き ※改修仕様表3.8.3による</td> <td>※F☆☆☆☆</td> </tr> </table> ※掃除口を敷ける(開放性のある自転車置き場のといを除く) ○養生鉄管を敷ける (径 _____ 長さ _____) ○既存といの撤去及び養生 () ○鋼管製といの防露巻 (※表3.8.4 ○ _____) ○たてとい受け金物 () (表3.9.1) <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>板厚(mm)</th> <th>表面処理</th> <th>固定間隔</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○250形</td> <td>1.6</td> <td>○A-1種(無着色)</td> <td>※1.3m程度</td> <td>隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造の仕様による。</td> </tr> <tr> <td>○300形</td> <td>1.8</td> <td>○A-2種(着色)</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○350形</td> <td>2.0</td> <td>○B-1種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td>○B-2種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○曲付材</td> <td>※2.0</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※建築基準法に基づき定まる風圧力・積雪荷重に対応した工法を品質計画により定める。	種 別	防水層	施 工 箇 所	○P1Y工法	※Y-2	表3.6.2	○P2Y工法	○	改 修 工 法 の 種 別	施 工 箇 所	○シーリング充填工法	防水押さえ金物	○シーリング再充填工法	外壁打ち継ぎ目地、既存サッシ廻り 既存手溝足元等	○拡張シーリング再充填工法		○ブリッジ工法		材 質	そ の 他	ルーフトレイン等 ※鉛鍍		軒どい ※硬質塩化ビニル製(角形) (高さ) 巾120mm (カラー) 巾150mm		たてとい ※硬質塩化ビニル管(VP) (カラー) 径75mm		谷どい ※		とい受け金物 ※亜鉛メッキ鋼板		材 質	そ の 他	たてとい及び横走り管 ※SGP	径75mm	とい受け金物 ※亜鉛メッキ鋼板		防露巻き ※改修仕様表3.8.3による	※F☆☆☆☆	種 類	板厚(mm)	表面処理	固定間隔	備 考	○250形	1.6	○A-1種(無着色)	※1.3m程度	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造の仕様による。	○300形	1.8	○A-2種(着色)	○		○350形	2.0	○B-1種			○		○B-2種			○曲付材	※2.0	○			4 外壁改修工事 1 施工数量調査 (1.5.2) 2 ひび割れ部改修 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.4) ~ (4.3.6) (4.4.5) ~ (4.4.7) (4.5.5) ~ (4.5.8) 3 欠損部改修 (4.3.7) (4.4.8) ~ (4.4.9) (4.5.7) ~ (4.5.8)	※行う (○ひび割れ ○欠損 ○浮き ○ _____) ※施工に先立ち、建築士と診断技術者(BELCA)による外壁劣化状況調査報告書を監督職員に提出し承認を得ること。 ○行わない ○コンクリート打ち直し仕上げ <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>※ 樹脂注入工法</td> <td>※ 硬質形エポキシ樹脂</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 軟質形エポキシ樹脂</td> </tr> <tr> <td>○ 1カットシール材充填工法</td> <td>※ 可とう性エポキシ樹脂</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ シーリング材(PU-2)</td> </tr> <tr> <td>○ シール工法</td> <td>※ ポリマーセメントモルタル</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ パテ状エポキシ樹脂</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 可とう性エポキシ樹脂</td> <td></td> </tr> </table> ○モルタル塗り仕上げ <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>※ 樹脂注入工法</td> <td>※ 硬質形エポキシ樹脂</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 軟質形エポキシ樹脂</td> </tr> <tr> <td>○ 1カットシール材充填工法</td> <td>※ 可とう性エポキシ樹脂</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ シーリング材(PU-2)</td> </tr> <tr> <td>○ シール工法</td> <td>※ パテ状エポキシ樹脂</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 可とう性エポキシ樹脂</td> </tr> </table> ○モルタル張り仕上げ <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>※ 樹脂注入工法</td> <td>※ 硬質形エポキシ樹脂</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 軟質形エポキシ樹脂</td> </tr> <tr> <td>○ 1カットシール材充填工法</td> <td>※ 可とう性エポキシ樹脂</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ シーリング材(PU-2)</td> </tr> <tr> <td>○ シール工法</td> <td>※ パテ状エポキシ樹脂</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 可とう性エポキシ樹脂</td> </tr> </table> タイル撤去後の補修 <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○ タイル部分張替え工法</td> <td>○ ポリマーセメントモルタル</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 変成シリコン樹脂</td> </tr> <tr> <td>○ タイル張替え工法</td> <td>○ ウレタン樹脂</td> <td></td> </tr> </table> ○コンクリート打ち直し仕上げ <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○ 充填工法</td> <td>※ エポキシ樹脂モルタル</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ポリマーセメントモルタル</td> </tr> </table> ○モルタル塗り仕上げ <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○ 充填工法</td> <td>※ エポキシ樹脂モルタル</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ポリマーセメントモルタル</td> </tr> </table> ○モルタル塗替え工法 ※改修仕様4.4.1による ○モルタル張り仕上げ <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○ タイル部分張替え工法</td> <td>○ ポリマーセメントモルタル</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 変成シリコン樹脂</td> </tr> <tr> <td>○ タイル張替え工法</td> <td>○ ウレタン樹脂</td> <td></td> </tr> </table>	工 法	材 料	施 工 箇 所	※ 樹脂注入工法	※ 硬質形エポキシ樹脂			○ 軟質形エポキシ樹脂	○ 1カットシール材充填工法	※ 可とう性エポキシ樹脂			○ シーリング材(PU-2)	○ シール工法	※ ポリマーセメントモルタル			○ パテ状エポキシ樹脂		○ 可とう性エポキシ樹脂		工 法	材 料	施 工 箇 所	※ 樹脂注入工法	※ 硬質形エポキシ樹脂			○ 軟質形エポキシ樹脂	○ 1カットシール材充填工法	※ 可とう性エポキシ樹脂			○ シーリング材(PU-2)	○ シール工法	※ パテ状エポキシ樹脂			○ 可とう性エポキシ樹脂	工 法	材 料	施 工 箇 所	※ 樹脂注入工法	※ 硬質形エポキシ樹脂			○ 軟質形エポキシ樹脂	○ 1カットシール材充填工法	※ 可とう性エポキシ樹脂			○ シーリング材(PU-2)	○ シール工法	※ パテ状エポキシ樹脂			○ 可とう性エポキシ樹脂	工 法	材 料	施 工 箇 所	○ タイル部分張替え工法	○ ポリマーセメントモルタル			○ 変成シリコン樹脂	○ タイル張替え工法	○ ウレタン樹脂		工 法	材 料	施 工 箇 所	○ 充填工法	※ エポキシ樹脂モルタル			○ ポリマーセメントモルタル	工 法	材 料	施 工 箇 所	○ 充填工法	※ エポキシ樹脂モルタル			○ ポリマーセメントモルタル	工 法	材 料	施 工 箇 所	○ タイル部分張替え工法	○ ポリマーセメントモルタル			○ 変成シリコン樹脂	○ タイル張替え工法	○ ウレタン樹脂	
	予想平均気温(℃)	補正値	期 間 (打 撃 日)																																																																																																																																																																																																																																																																															
	普通	早強	(I)	南部地域	中部地域	北部地域																																																																																																																																																																																																																																																																												
	8以上	5以上	3	3/6 ~ 6/30	3/11 ~ 7/20	3/11 ~ 7/10																																																																																																																																																																																																																																																																												
			N/mm2	9/11 ~ 11/15	9/1 ~ 11/5	9/1 ~ 10/31																																																																																																																																																																																																																																																																												
	0以上	0以上	6	11/16 ~ 3/5	11/6 ~ 3/10	11/1 ~ 3/10																																																																																																																																																																																																																																																																												
	8未満	5未満	N/mm2																																																																																																																																																																																																																																																																															
	地 域	日平均気温が25度を超える期間(打撃日)	補 正 値																																																																																																																																																																																																																																																																															
	北 部 地 域	7月11日~8月31日	※6N/mm2																																																																																																																																																																																																																																																																															
	中 部 地 域	7月21日~8月31日																																																																																																																																																																																																																																																																																
	南 部 地 域	7月1日~9月10日	○3N/mm2																																																																																																																																																																																																																																																																															
	種 別	防水層	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																															
	○M4AS工法	○AS-1 ○AS-2 ○AS-3	表3.4.1																																																																																																																																																																																																																																																																															
	種 別	防水層	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																															
	○M3AS工法	○AS-4 ○AS-5	表3.4.2																																																																																																																																																																																																																																																																															
○POAS工法	○AS-6																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種 別	防水層	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																
○M3AS工法	○ASI-1	表3.4.3																																																																																																																																																																																																																																																																																
○M4AS工法	○ASI-2																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○POAS工法																																																																																																																																																																																																																																																																																		
種 別	防水層	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																
○POS工法	○S(1)-F1(t- ※1.2 ○)	表3.6.1																																																																																																																																																																																																																																																																																
○S4S工法	PO部材入隅増強(※有り ○無し)																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○POS工法	○S(1)-F2(t- ※2.0 ○)																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○S4S工法	○S(1)-M1(t- ※1.5 ○)																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○S(1)-M2(t- ※1.5 ○)																																																																																																																																																																																																																																																																																		
○S(1)-M3(t- ※1.2 ○)																																																																																																																																																																																																																																																																																		
○S3S工法	○S(1)-F1(t- ※1.2 ○)	表3.6.1																																																																																																																																																																																																																																																																																
○S3S工法	PO部材入隅増強(※有り ○無し)																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○S(1)-F2(t- ※2.0 ○)																																																																																																																																																																																																																																																																																		
○M4S工法	○S(1)-M1(t- ※1.5 ○)	表3.6.1																																																																																																																																																																																																																																																																																
○M4S工法	○S(1)-M2(t- ※1.5 ○)																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○S(1)-M3(t- ※1.2 ○)																																																																																																																																																																																																																																																																																		
種 別	防水層	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																
○P1Y工法	※Y-2	表3.6.2																																																																																																																																																																																																																																																																																
○P2Y工法	○																																																																																																																																																																																																																																																																																	
改 修 工 法 の 種 別	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○シーリング充填工法	防水押さえ金物																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○シーリング再充填工法	外壁打ち継ぎ目地、既存サッシ廻り 既存手溝足元等																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○拡張シーリング再充填工法																																																																																																																																																																																																																																																																																		
○ブリッジ工法																																																																																																																																																																																																																																																																																		
材 質	そ の 他																																																																																																																																																																																																																																																																																	
ルーフトレイン等 ※鉛鍍																																																																																																																																																																																																																																																																																		
軒どい ※硬質塩化ビニル製(角形) (高さ) 巾120mm (カラー) 巾150mm																																																																																																																																																																																																																																																																																		
たてとい ※硬質塩化ビニル管(VP) (カラー) 径75mm																																																																																																																																																																																																																																																																																		
谷どい ※																																																																																																																																																																																																																																																																																		
とい受け金物 ※亜鉛メッキ鋼板																																																																																																																																																																																																																																																																																		
材 質	そ の 他																																																																																																																																																																																																																																																																																	
たてとい及び横走り管 ※SGP	径75mm																																																																																																																																																																																																																																																																																	
とい受け金物 ※亜鉛メッキ鋼板																																																																																																																																																																																																																																																																																		
防露巻き ※改修仕様表3.8.3による	※F☆☆☆☆																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種 類	板厚(mm)	表面処理	固定間隔	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																														
○250形	1.6	○A-1種(無着色)	※1.3m程度	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造の仕様による。																																																																																																																																																																																																																																																																														
○300形	1.8	○A-2種(着色)	○																																																																																																																																																																																																																																																																															
○350形	2.0	○B-1種																																																																																																																																																																																																																																																																																
○		○B-2種																																																																																																																																																																																																																																																																																
○曲付材	※2.0	○																																																																																																																																																																																																																																																																																
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																
※ 樹脂注入工法	※ 硬質形エポキシ樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	○ 軟質形エポキシ樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ 1カットシール材充填工法	※ 可とう性エポキシ樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	○ シーリング材(PU-2)																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ シール工法	※ ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	○ パテ状エポキシ樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	○ 可とう性エポキシ樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																	
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																
※ 樹脂注入工法	※ 硬質形エポキシ樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	○ 軟質形エポキシ樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ 1カットシール材充填工法	※ 可とう性エポキシ樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	○ シーリング材(PU-2)																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ シール工法	※ パテ状エポキシ樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	○ 可とう性エポキシ樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																	
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																
※ 樹脂注入工法	※ 硬質形エポキシ樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	○ 軟質形エポキシ樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ 1カットシール材充填工法	※ 可とう性エポキシ樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	○ シーリング材(PU-2)																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ シール工法	※ パテ状エポキシ樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	○ 可とう性エポキシ樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																	
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ タイル部分張替え工法	○ ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	○ 変成シリコン樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ タイル張替え工法	○ ウレタン樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																	
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ 充填工法	※ エポキシ樹脂モルタル																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	○ ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																																																																																																																	
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ 充填工法	※ エポキシ樹脂モルタル																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	○ ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																																																																																																																	
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ タイル部分張替え工法	○ ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	○ 変成シリコン樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ タイル張替え工法	○ ウレタン樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																	
3 防水改修工事	1 アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5) <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○P1B工法</td> <td>○B-1 ※B-2</td> <td>表3.3.3</td> </tr> <tr> <td>○P1B1工法</td> <td>○B1-1 ※B1-2</td> <td>表3.3.4</td> </tr> <tr> <td>○P2A1工法</td> <td>○A1-1 ※A1-2</td> <td>表3.3.5</td> </tr> <tr> <td>○P2A工法</td> <td>○A-1 ※A-2</td> <td>表3.3.6</td> </tr> </table> ○露出防水工法 <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○M4C工法</td> <td>○C-1 ※C-2</td> <td>表3.3.7</td> </tr> <tr> <td>○M3D工法</td> <td>○D-1 ※D-2</td> <td>表3.3.8</td> </tr> <tr> <td>○POD工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ○露出防水絶縁断熱工法 <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○POD1工法</td> <td>○DI-1 ※DI-2</td> <td>表3.3.9</td> </tr> <tr> <td>○M3D1工法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○M4D1工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ○屋内防水工法 <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○P1E工法</td> <td>○E-1 ※E-2</td> <td rowspan="2">表3.3.10</td> </tr> <tr> <td>○P2E工法</td> <td></td> </tr> </table>	種 別	防水層	施 工 箇 所	○P1B工法	○B-1 ※B-2	表3.3.3	○P1B1工法	○B1-1 ※B1-2	表3.3.4	○P2A1工法	○A1-1 ※A1-2	表3.3.5	○P2A工法	○A-1 ※A-2	表3.3.6	種 別	防水層	施 工 箇 所	○M4C工法	○C-1 ※C-2	表3.3.7	○M3D工法	○D-1 ※D-2	表3.3.8	○POD工法			種 別	防水層	施 工 箇 所	○POD1工法	○DI-1 ※DI-2	表3.3.9	○M3D1工法			○M4D1工法			種 別	防水層	施 工 箇 所	○P1E工法	○E-1 ※E-2	表3.3.10	○P2E工法		4 外壁改修工事																																																																																																																																																																																																																																	
種 別	防水層	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																
○P1B工法	○B-1 ※B-2	表3.3.3																																																																																																																																																																																																																																																																																
○P1B1工法	○B1-1 ※B1-2	表3.3.4																																																																																																																																																																																																																																																																																
○P2A1工法	○A1-1 ※A1-2	表3.3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																
○P2A工法	○A-1 ※A-2	表3.3.6																																																																																																																																																																																																																																																																																
種 別	防水層	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																
○M4C工法	○C-1 ※C-2	表3.3.7																																																																																																																																																																																																																																																																																
○M3D工法	○D-1 ※D-2	表3.3.8																																																																																																																																																																																																																																																																																
○POD工法																																																																																																																																																																																																																																																																																		
種 別	防水層	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																
○POD1工法	○DI-1 ※DI-2	表3.3.9																																																																																																																																																																																																																																																																																
○M3D1工法																																																																																																																																																																																																																																																																																		
○M4D1工法																																																																																																																																																																																																																																																																																		
種 別	防水層	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																
○P1E工法	○E-1 ※E-2	表3.3.10																																																																																																																																																																																																																																																																																
○P2E工法																																																																																																																																																																																																																																																																																		

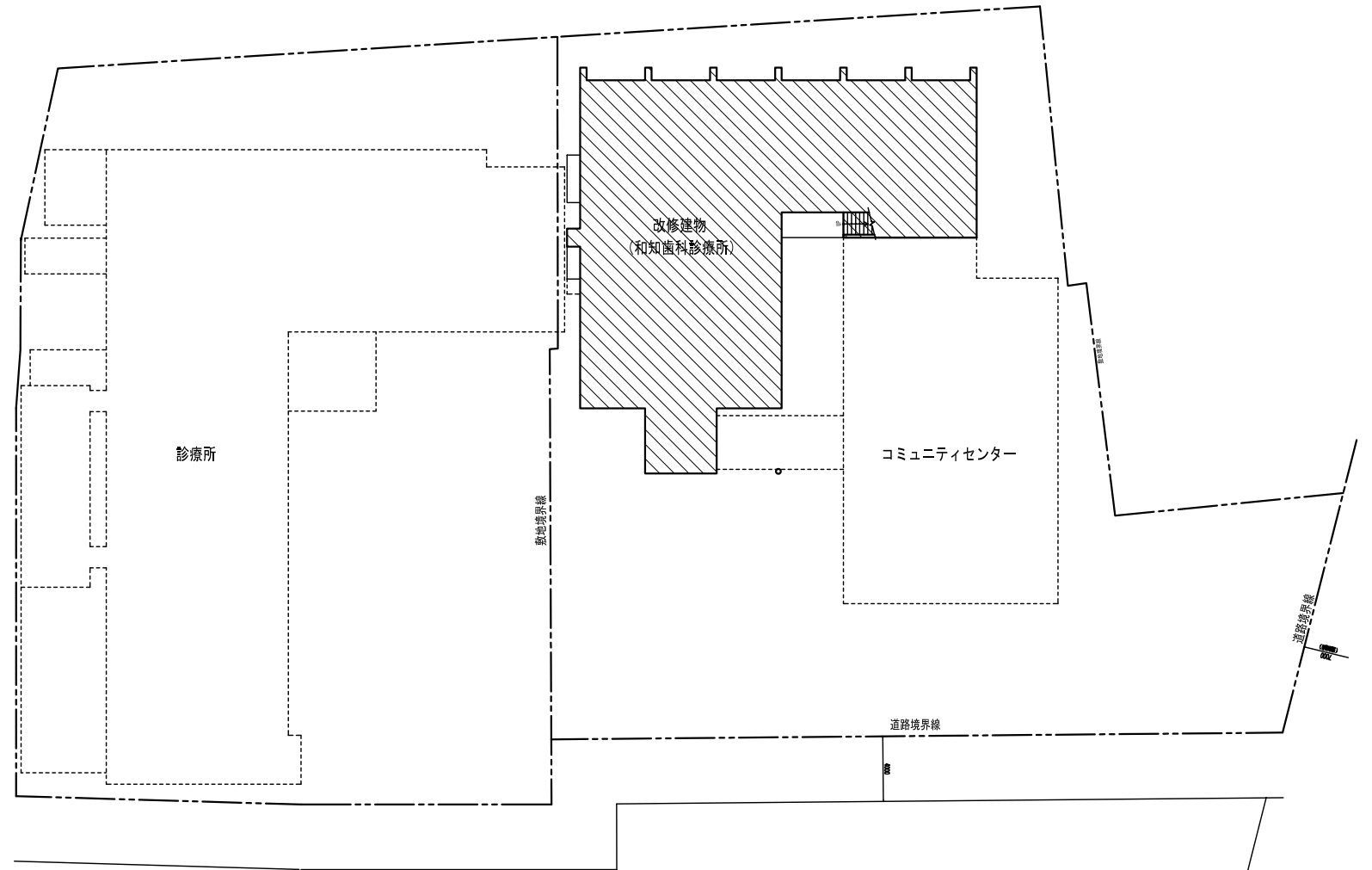
章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
4 外壁改修工事	4 浮き部改修工法 (4.4.10) ~ (4.4.15)	モルタル塗り仕上げ 工法 1箇所 1箇所の重積 (m) 浮き代 (mm) アカベツ (本/m) 注入口 (箇所/m) 充填量 (箇所) 注水量 (箇所) 施工箇所	8 アカベツ工法 (4.2.2)	アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒	4 外壁改修工事	5 建具改修工事	9 鋼製建具 (5.3.2) ~ (5.3.4)
	9 注入口付アカベツ工法 (4.2.2)	注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm	14 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.6.3) (4.6.4)	防火材料の指定 ※なし ○ 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 ※行う ○行わない (参考工法: 製造所:)			
	10 モルタル塗替え工法 (4.2.2) (4.4.9)	既設目地材 ○使用する(形状) 仕上げ厚又は全塗膜厚が25mmを超える場合の処置 ※図示 ○	15 部分改修工法 (4.6.6)	既存塗膜の除去方法 ※試験施工実施 ○サンダー工法 ○高圧水洗工法(試験施工実施) (加圧力 ○50~100mpa ○30~50mpa) ○塗膜はく離剤工法(製造所:) ○水洗い工法 (○デッキブラシ ○高圧ホース10~15pa)			
	11 全体部分張替え工法及び全体張替え工法 (4.2.2) (4.5.8)	施工箇所及びタイルの種類 形状寸法(mm) 生地 釉薬 役物 色 耐摩耗性 工法 その他	施工箇所 ○別図に示す範囲 ○	下地処理 下地調整剤 ※セメント系下地調整剤 (JIS A6916) ○ポリマーセメントモルタル ○防水形主材 (JIS A6910(複層仕上塗材))			
	12 窓下人切面台の補修 (4.1.4)	タイルの試験張り ※行わない ○行う タイルの見本焼き ※行わない ○行う 窓回りの固定 ※する ○しない 施工後の確認及び試験 厚きの確認 ※全面打診による確認を行う 接着力の試験 ※接着力試験機による接着力試験を行う ○行わない 剥離剤用材料 剥離剤のホルムアルデヒド放散量 ※☆☆☆☆ ○	仕上り塗材の種類 仕上り 工法 備考 ○外装薄塗材SI ○砂壁状 ○ゆず肌状 吹付け ○可とう型外装薄塗材SI ○砂壁状 ○ゆず肌状 吹付け ○外装薄塗材E ○砂壁状 ○ゆず肌状 吹付け ○可とう型外装薄塗材E ○平たん状 ○凹凸状 こて塗 ○防水型外装薄塗材E (○増塗材) ○ゆず肌状 ○さざ波状 ローラー ○外装薄塗材S 砂壁状 吹付け	既存塗膜の除去範囲 ※既存仕上面全体 ○既存壁面の(%) ○別図に示す範囲			
	13 仕上り塗材 (4.1.4) (4.2.2) (4.6.5)	タイル張替え工法の伸縮調整目地及び、ひび割れ懸垂目地位置 ※改修仕様表4.5.1による ○図示	5 ①性能 ※「第1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。 ②施工数量調査 (1.5.2) ※行う(○建具金物 ○ガラス ○ガラス止め材 ○) ※施工に先立ち、施工数量調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。 ○行わない ③改修工法 (5.1.3) ※かぶせ工法(カバー工法) ○撤去工法(○はつり工法 ○引き抜き工法) 新規金属製建具を設ける壁の開口方法 () 新規金属製建具周囲の補修工法及び範囲 ()	⑩ 鋼製軽量建具 (5.4.2) ~ (5.4.4)			
	5 目地改修工法 (4.1.4) (4.5.16)	目地張り仕上げ 目地ひび割れ改修工法 伸縮目地改修工法 位置 ※改修仕様表4.5.1による ○図示 寸法(幅×深さ) コンクリート打継ぎ目地、ひび割れ懸垂目地 ※20mm以上×10mm以上 ○ その他 ※10mm以上×10mm以上 ○	○シール工法(※仕上り塗材は外壁仕上塗材の上塗り材とする。) ※塗膜防水(※弾性ウレタン系 ○エポキシ系)	11 ステンレス製建具 (5.5.2) ~ (5.5.4)			
	6 樹脂注入工法 (4.2.2) (4.3.4)	建築補修用注入エポキシ樹脂 ※低粘度形 ○高粘度形 ひび割れの幅 (mm) 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0以下 注入孔の間隔 (mm) 200程度 300程度 300程度 注入量 (CC/mm) ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ○手動式エポキシ樹脂注入工法 ○機械式エポキシ樹脂注入工法	○薄付け仕上塗材 (JIS A6909) ○外装厚塗材C ○吹放し ○凸部処理 吹付け ○平たん状 ○凹凸状 こて塗 ○ひき起し ○かき落とし ○外装厚塗材SI ○吹放し ○凸部処理 吹付け ○外装厚塗材E ○平たん状 ○凹凸状 こて塗 (○上塗材) ○ひき起し ○ローラー ○外装厚塗材SI ○吹放し ○凸部処理 吹付け ○外装厚塗材E ○平たん状 ○凹凸状 こて塗 (○上塗材) ○ひき起し ○ローラー	⑪ 鋼製軽量建具 (5.4.2) ~ (5.4.4)			
	7 Uカットシール材充填工法 (4.3.5)	コータ取りによるひび割れ部の注入状況の検査 ※行わない ○行う(抜取り箇所 ※改修仕様4.3.4(f)(i)による ○) (抜取り部分の補修方法)	○厚付け仕上塗材 (JIS A6909) ○外装厚塗材C ○吹放し ○凸部処理 吹付け ○平たん状 ○凹凸状 こて塗 ○ひき起し ○かき落とし ○外装厚塗材SI ○吹放し ○凸部処理 吹付け ○外装厚塗材E ○平たん状 ○凹凸状 こて塗 (○上塗材) ○ひき起し ○ローラー	⑫ 鋼製軽量建具 (5.4.2) ~ (5.4.4)			
		シリング材の上にポリマーセメントモルタル充填工法 (4.3.5) ○行う	○可とう形改修用仕上塗材 (JIS A6909) 種類(呼び名) 仕上り 工法 備考 ○可とう形改修塗材E ○平たん状 ローラー ○可とう形改修塗材R ○さざ波状 ローラー ○可とう形改修塗材E ○ゆず肌状 吹付け	⑬ ステンレス製建具 (5.5.2) ~ (5.5.4)			

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
9 ユニットのその他の工事	<p>① 家具、ユニット等の揮発性有機化合物対策</p> <p>② フリーアクセスフロア (20.2.2)</p> <p>③ 可動間仕切 (20.2.3)</p> <p>④ 移動間仕切 (20.2.4)</p> <p>⑤ トイレブース (20.2.5)</p> <p>⑥ 階段滑り止め (20.2.6)</p> <p>⑦ 階段手すり</p> <p>⑧ 黒板及びホワイトボード (20.2.8)</p> <p>⑨ 鏡 (20.2.9)</p> <p>⑩ 表示・標識 (20.2.10) (20.2.11)</p>	<p>⑪ ブラインド (20.2.12)</p> <p>⑫ ロールスクリーン (20.2.13)</p> <p>⑬ カーテン (20.2.14)</p> <p>⑭ カーテンレール (20.2.14)</p> <p>⑮ ブラインドボックスカーテンボックス</p> <p>⑯ くつふきマット</p> <p>⑰ 鏡装書架及び棚</p> <p>⑱ 収納家具 (木製)</p> <p>⑳ 掲示板</p> <p>㉑ 洗面カウンター</p> <p>㉒ 流し台ユニット</p> <p>㉓ 非常用救助袋等</p> <p>㉔ 錠箱</p> <p>㉕ 車止め</p> <p>㉖ フェンス</p>	<p>10 排水工事</p> <p>1 排水管 (21.2.1) (21.2.3)</p> <p>2 側塊、排水側及びふた (21.2.2)</p> <p>3 コンクリート側溝 (22.9.2)</p> <p>11 舗装工事</p> <p>1 路床 (22.2.3) (22.2.5)</p> <p>2 路盤 (22.3.3) (22.3.5)</p> <p>3 アスファルト舗装 (22.4.2) ~ (22.4.6)</p> <p>4 コンクリート舗装 (22.5.2) ~ (22.5.6)</p> <p>5 カラー塗装 (22.6.3) ~ (22.6.6)</p>	<p>11 舗装工事</p> <p>6 透水性舗装 (22.7.3) ~ (22.7.6)</p> <p>7 排水性舗装 (22.8.3) ~ (22.8.6)</p> <p>8 ブロック系舗装 (22.9.3)</p> <p>9 緑石 (22.10.2)</p> <p>10 砂利敷き (22.11.1) (22.11.2)</p> <p>11 白線引き</p>			



工事場所:京都市船井郡京丹波町本庄今福13番地

付近見取図 1/2500



配置図 1/200

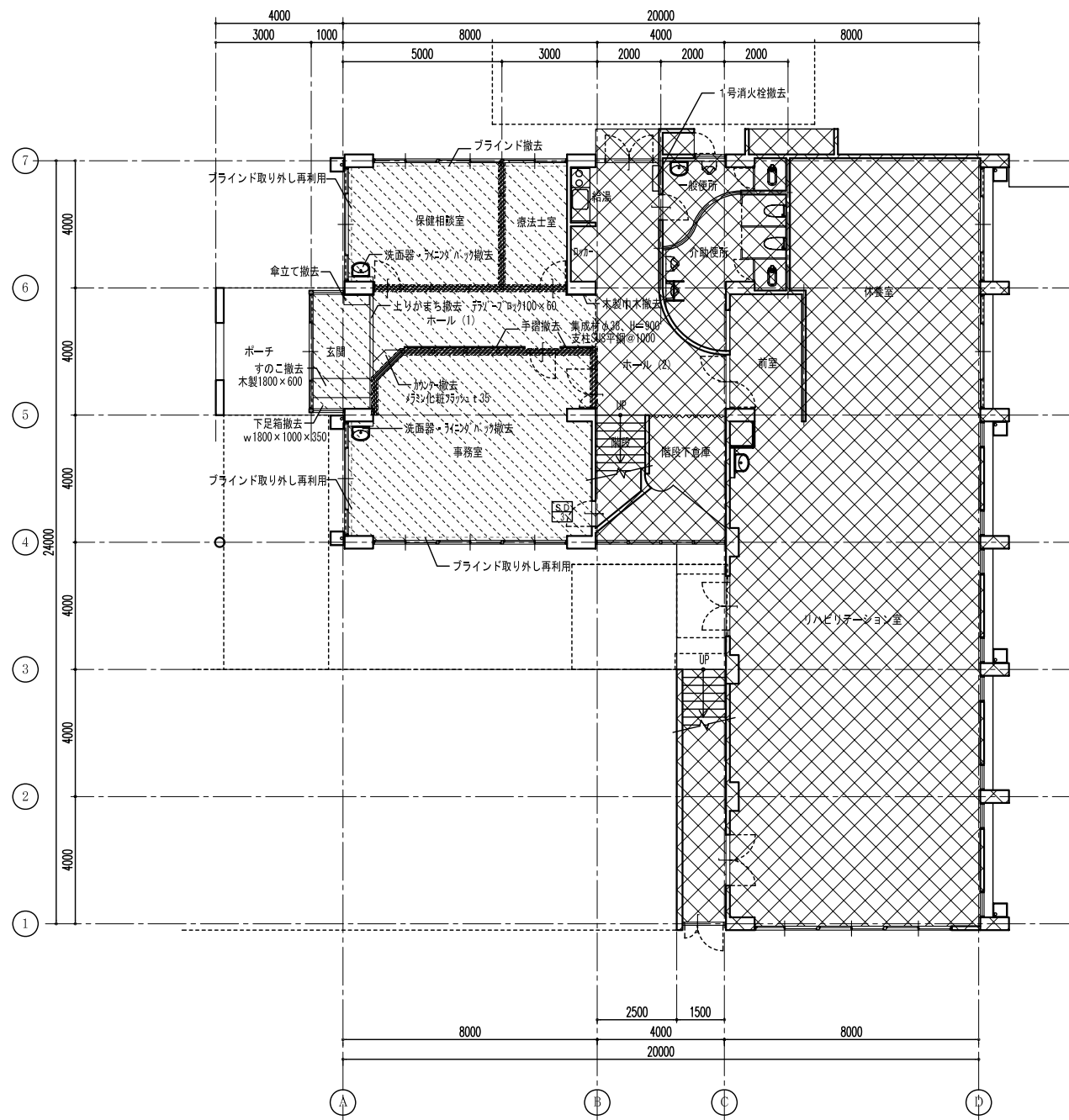
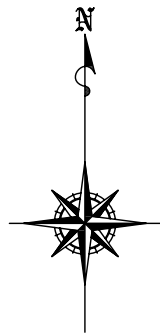
■ 内部仕上表 (現況・撤去)

階	室名	内装制限		床		巾木 (特記外 H60)		壁		柱型	梁型	天井		天井高さ (FL+)	廻り縁	カーテンボックス	ブラインドボックス	摘要
		内装	排煙	下地 (特記外 コリット)	床高	下地	高さ	下地 (特記無き限り 既存躯体)	下地			下地 (特記外 LGS下地)						
1 (元保健センター管理部門)	ホール (1)	準		磁気カーペットt=8の上ノドパンタネット (撤去)	±0	木製 (撤去)	75	モルタル VP (存置)	同左			GB-D t9.0 (撤去) (軽鉄下地撤去)	2965	塩ビ (撤去)				補助手摺 (撤去)
	(玄関)	準		100角磁器質タイル (撤去)	±0~50	珪藻土t=25 (撤去)	75	同上 (存置)	同左			大平板t=5 外装吹付材 (撤去) (軽鉄下地撤去)	2965~3015	アルミ (撤去)				傘立て、下足箱 (撤去)
	事務室	規		ビニル床タイル (撤去)	±0	木製 (存置)	75	同上 (存置)	同左			GB-D t9.0 (撤去) (軽鉄下地撤去)	2965	塩ビ (撤去)				アルミパーテーション、手洗い (撤去) ブラインド (A通り~取外し再利用、7通り~撤去)
	保険相談室	規		同上 (撤去)	±0	同上 (存置)	75	同上 (存置)	同左			同上 (撤去) (軽鉄下地撤去)	2965	塩ビ (撤去)				アルミパーテーション、手洗い (撤去) ブラインド (取外し再利用)
	療法士室	規		同上 (撤去)	±0	同上 (存置)	75	同上 (存置)	同左			同上 (撤去) (軽鉄下地撤去)	2965	塩ビ (撤去)				アルミパーテーション (撤去) ブラインド (取外し再利用)
2 (歯科診療所)	待合	規		合板t=15の上ビニル床シート t2.0 (存置) 乾ばし床組	±0	ビニル巾木 (撤去)	—	モルタル VP (存置)	同左			GB-D t9.0 (存置)	2965	塩ビ (存置)				アルミパーテーション (撤去)
	受付	規		同上 (存置)	±0	同上 (撤去)	—	同上 (存置)	同左			同上 (存置)	2965	同上				アルミパーテーション (撤去)
	歯科診療室	規		同上 (存置)	±0	同上 (撤去)	—	同上 (存置)	同左			同上 (存置)	2965	同上				アルミパーテーション、診療台1台、対応ボード4本、診療・消毒・作業キャビネット、加配入台 (撤去) 加配入台、洗面化粧台、引込ダクト、吊戸棚 (撤去) 診療台4台、対応ボード1本 (移設)
	医局	規		同上 (存置)	±0	同上 (撤去)	—	同上 (存置)	同左			同上 (存置)	2965	同上				
	スタッフルーム	規		同上 (存置)	±0	同上 (撤去)	75	同上 (存置)	同左			同上 (存置)	2965	同上				アルミパーテーション (移設)
	技工室	規		同上 (存置)	±0	同上 (撤去)	75	同上 (存置)	同左			同上 (存置)	2965	同上				技工用バキューム(テラス設置) (移設)
	ポーセレン室	規		同上 (存置)	±0	同上 (撤去)	75	同上 (存置)	同左			同上 (存置)	2965	同上				作業台、流し、吊戸棚 (撤去)
	パノラマX線室	規		合板t=15の上ビニル床シート t2.8 (存置) 同上	±0	同上 (存置)	75	同上 (存置)	同左			同上 (存置)	2965	同上				パノラマX線装置、デジタルX線装置 (移設)
	機械室			モルタル (存置)	±0	モルタル (存置)	75	トップボード打込み (存置) コンクリート	同左			トップボード打込み (存置) コンクリート	3565	—				コンプレッサー、診療用バキューム (移設)
	集団指導室	規		畳 t55 (撤去)	+170	畳寄せ (撤去)	—	ジュラクサテン (存置)	同左			GB-R t12.0の上ウォールコート吹付け (撤去) (軽鉄下地存置)	2825	木製 (存置)				障子、硝子 (撤去)

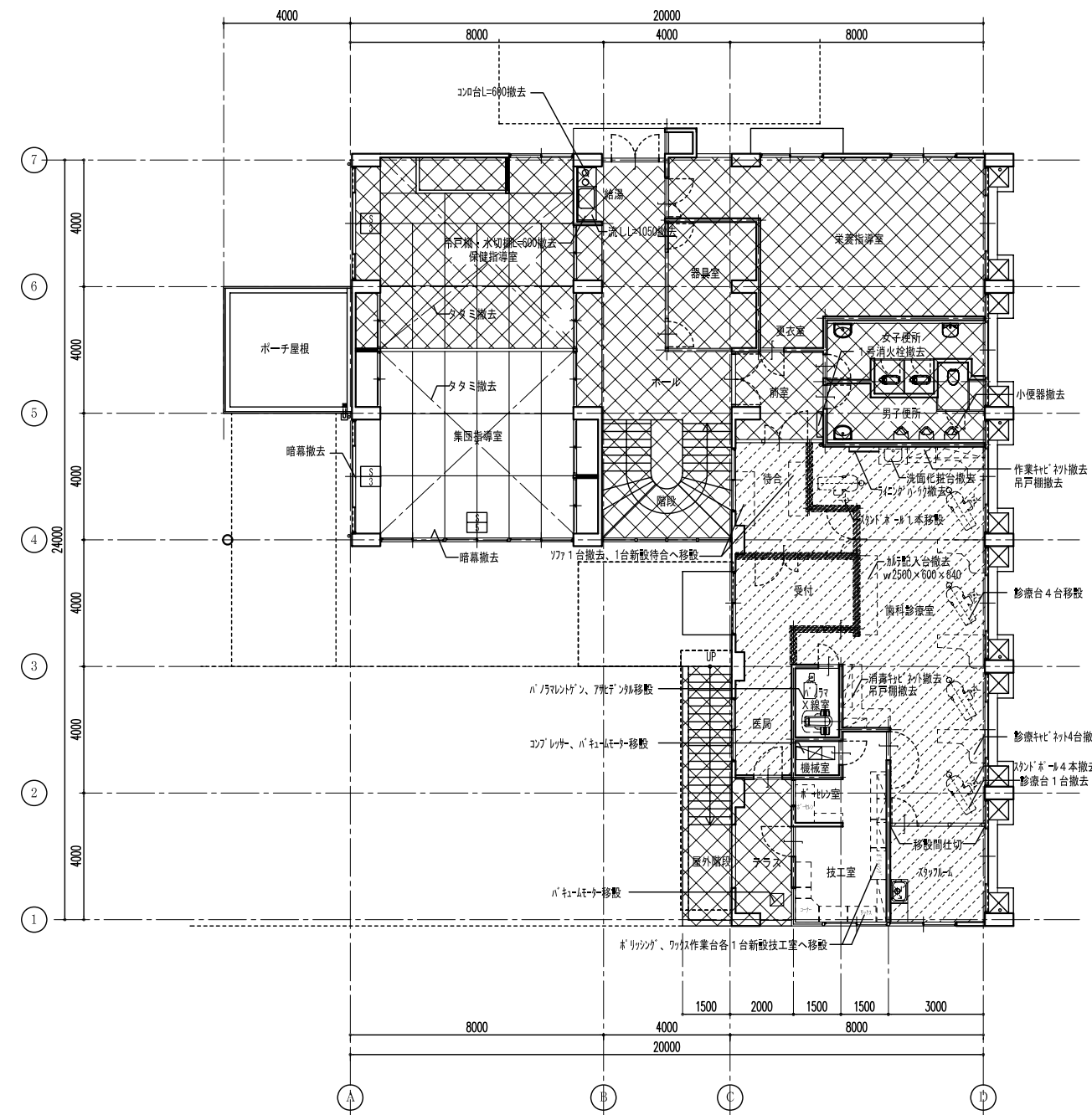
■ 内部仕上表 (改修)

階	室名	内装制限		床		巾木 (特記外 H60)		壁		柱型	梁型	天井		天井高さ (FL+)	廻り縁	カーテンボックス	ブラインドボックス	摘要	
		内装	排煙	下地 (特記外 既存コリット)	床高	下地	高さ	下地 (特記無き限り 既存躯体及びGB-R t12.5+t9.5)	下地			下地 (特記外 LGS下地)							
1 (歯科診療所)	玄関 (踏込)	準		100角磁器質タイル t13	-20~-50	—	75	ビニルクロス	同左			GB-D t9.5	2900	塩ビ				傘立て	
	玄関 (ホール)	規		ビニル床シート t2.0	±0	ビニル巾木	75	同上	同左			同上	2850	塩ビ				下足箱	
	待合	規		同上	±0	同上	75	同上	同左			同上	2850	塩ビ			○	ロールスクリーン、既存ソファ移設	
	便所 (身障者対応)			同上	±0	同上	75	化粧げい酸カルシウム板 t6.0	同左			同上	2500	塩ビ					ビクトサイン、可動補助手摺、L型手摺
	受付	規		ビニル床シート t2.0 乾式置き床H=150の上パネルt20+普通合板t9	+150	同上	75	ビニルクロス	同左			同上	2700	塩ビ					
	スタッフコーナー	規		同上	+150	同上	75	同上	同左			同上	2700	塩ビ			○	ロールスクリーン	
	技工室	規		同上	+150	同上	75	同上	同左			同上	2700	塩ビ			○	ロールスクリーン、流し(L=900)、既存作業台移設	
	診療室	規		同上	+150	同上	75	同上 7通り腰~合板t5.5の上羽目板 t=9 塗装品	同左			同上	2700	塩ビ			○	ロールスクリーン、診療キャビネット	
	滅菌・準備コーナー	規		同上	+150	同上	75	同上	同左			同上	2700	塩ビ				作業台 診療キャビネット	
	器材置場	規		同上	±0	同上	75	同上	同左			同上	2700	塩ビ					
	物入			同上	±0	同上	75	同上	同左			GB-R t9.5 素地のまま	2700	塩ビ				中棚	
	機械室			モルタルこて押え (薄塗り)	±0	—	—	グラスウールt25の上、ガラスクロス貼り、化粧ボタ押え	同左			同上	2850	塩ビ					中棚
	2 (歯科診療所)	医局	規		合板t=15の上ビニル床シート t2.0 乾ばし床組	±0	ビニル巾木	75	EP-II	同左			既存のまま(部分改修)	2965	既存のまま				室名札
会議室		規		同上	±0	同上	75	同上	同左			同上	2965	同上				室名札	
スタッフルーム		規		同上	±0	同上	75	同上	同左			同上	2965	同上				室名札、アルミパーテーション (既存移設)	
更衣室 (W)				同上	±0	同上	75	同上	同左			同上	2965	同上				室名札	
更衣室 (M)				同上	±0	同上	75	同上	同左			同上	2965	同上				室名札	
技工室		規		同上	±0	同上	75	同上	同左			同上	2965	同上					
廊下		準		同上	±0	同上	75	同上	同左			同上	2965	同上					
物入				同上	±0	同上	75	同上	同左			同上	2965	同上				室名札	
2		規		こがし根太の上フローリング張り	+170	ビニル巾木	—	既存のまま	同左			GB-R t12.5の上ビニルクロス	2825	同上				ブラインド (1階より移設)	

- 凡例 □ 内装制限 □ 防火認定番号 □ 材料 □ 塗装
- Ⓐ 吹付タイル...NM-8573
 - Ⓑ 不燃材
 - Ⓒ 下地共準不燃材以上
 - Ⓓ 準不燃材以上
 - Ⓔ 難燃材以上
 - Ⓕ 吹付タイル...NM-8573
 - Ⓖ アクリル樹脂...NM-8571
 - Ⓗ ダイノックシート...NM-9943
 - Ⓙ 石膏ボード t9.5...NM-9828
 - Ⓚ 石膏ボード t12.5...NM-9819
 - Ⓛ 耐水石膏ボード t9.5...NM-9826
 - Ⓜ 化粧石膏ボード t9.5...NM-9824
 - Ⓨ 不燃化粧石膏ボード t9.5...NM-9613
 - Ⓩ 耐水石膏ボード t12.5...NM-9639
 - ⓐ 化粧石膏ボード t9.5 (杉板)...NM-9824
 - ⓑ ケイカル板...NM-8578
 - ⓓ 耐水石膏ボード t9.5...NM-9826
 - ⓔ 岩綿吸音板...NM-8599
 - ⓕ 岩綿化粧吸音板 t25...NM-8610
 - ⓖ 化粧ケイカル板 t6...NM-9342
 - ⓗ ガラスクロス t12...NM-8606
 - Ⓢ パナソニック (両面タイプ)...NM-0289
 - Ⓣ パナソニック (片面タイプ)...NM-9485
 - Ⓤ 塗料
 - Ⓥ AEP...NM-8585 塗装塗料/不燃材料
 - Ⓦ SS ステンレス
 - Ⓧ AL アルミ
 - Ⓨ LGS 軽鋼鉄鋼
 - Ⓩ 鋼
 - ⓐ フラットバー
 - ⓑ ALC 軽量気泡コンクリート
 - ⓓ モルタル
 - ⓔ コンクリートブロック
 - ⓕ テラゾブロック
 - ⓖ GB-R 石膏ボード
 - ⓗ GB-D 化粧石膏ボード
 - Ⓢ GB-S 防水石膏ボード
 - Ⓣ SOP 合成樹脂調合ペイント塗
 - Ⓤ CL クリアアッカー塗
 - Ⓧ FE フタル酸樹脂エナメル塗
 - Ⓨ VE 塩化樹脂エナメル塗
 - Ⓩ AE アクリル樹脂エナメル塗
 - ⓐ 2-UE 2液形ポリウレタンエナメル塗
 - ⓑ 2-A SE アクリルシリコン樹脂エナメル塗
 - ⓓ 2-F US 常温乾燥形フッ素樹脂エナメル塗
 - ⓔ EP-G つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗
 - ⓕ EP 合成樹脂エマルジョンペイント塗
 - ⓖ EP-M 多彩模様塗料塗
 - ⓗ EP-T 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗
 - ⓘ UC ウレタン樹脂ワニス塗
 - ⓙ OS オイルステイン塗
 - ⓚ MC 木部保護着色塗料塗

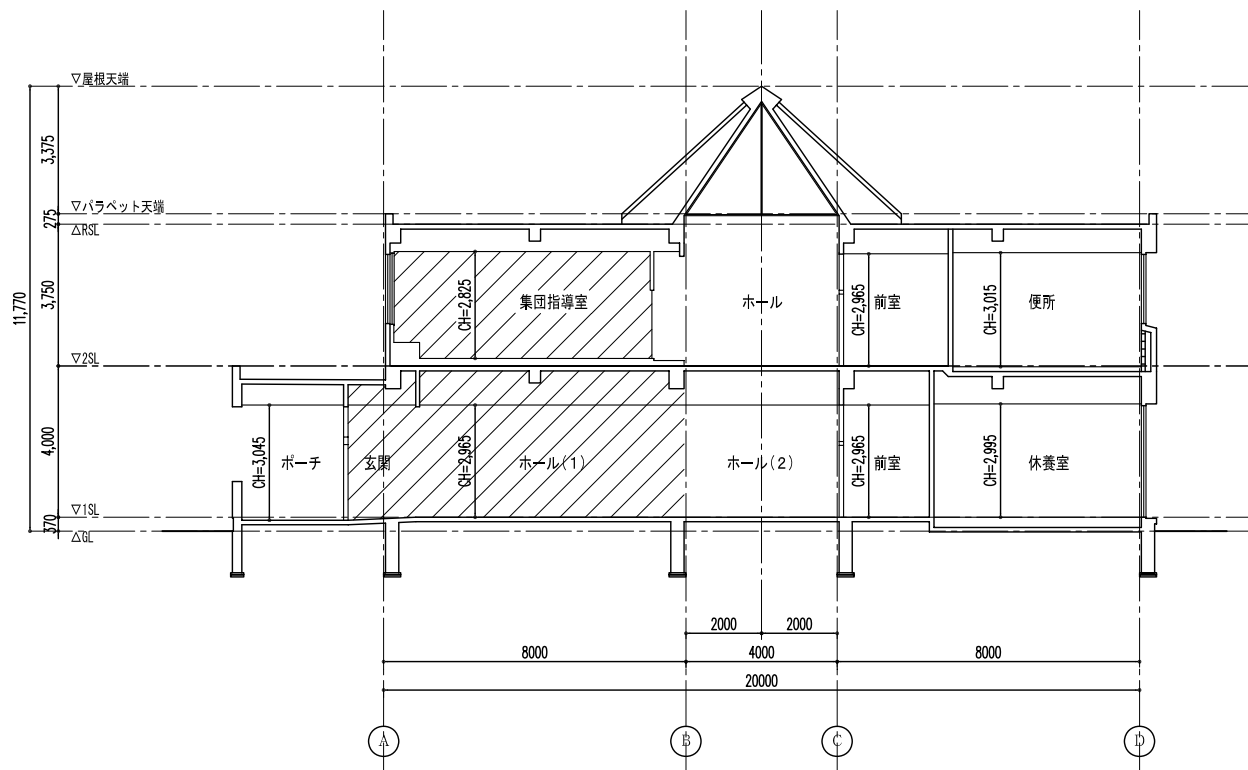


1階平面図(撤去) S=1/100



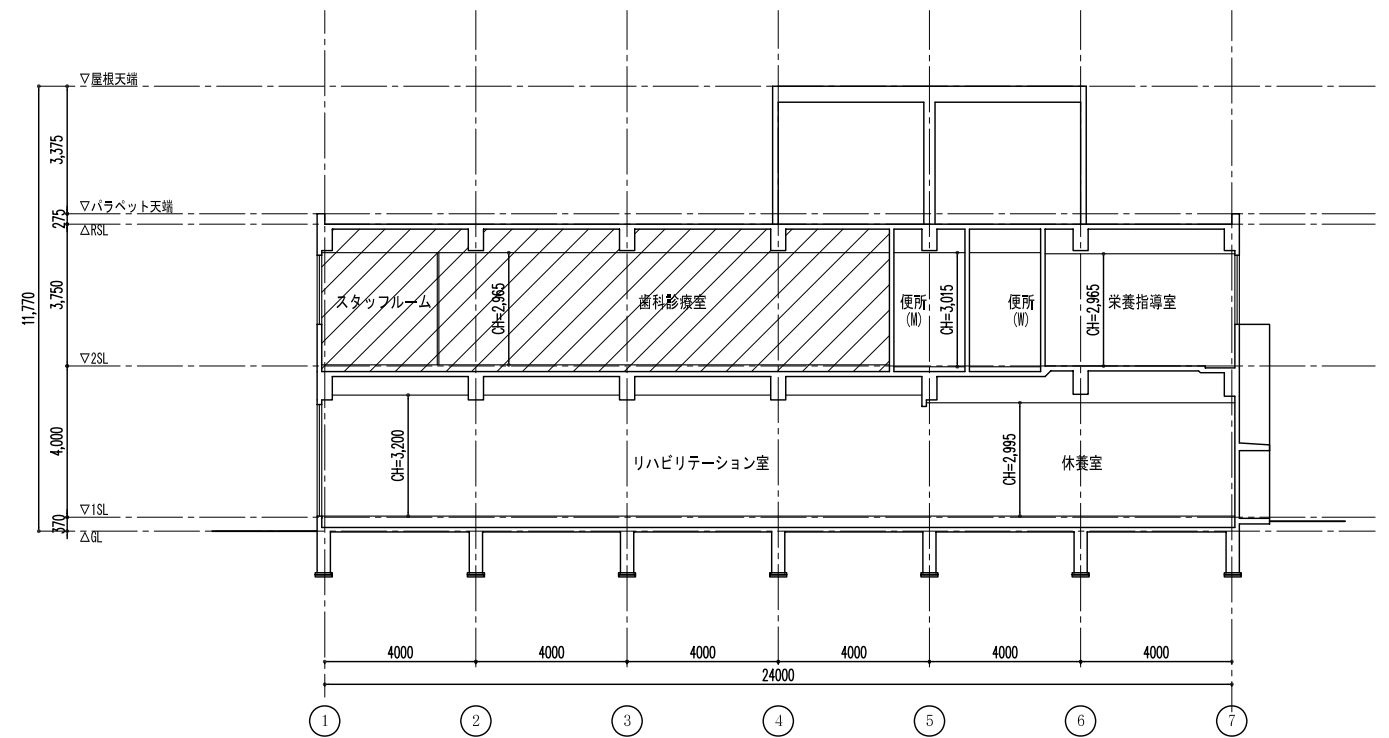
2階平面図(撤去) S=1/100

- 工事対象外の部分を示す
- 間仕切り撤去範囲を示す
- 床・天井・巾木撤去範囲を示す
- 撤去建具を示す
- 床(ビニル床シート)・ビニル巾木撤去範囲を示す
天井材撤去範囲は間仕切り改修関連部分及び設備機器改修部分とする

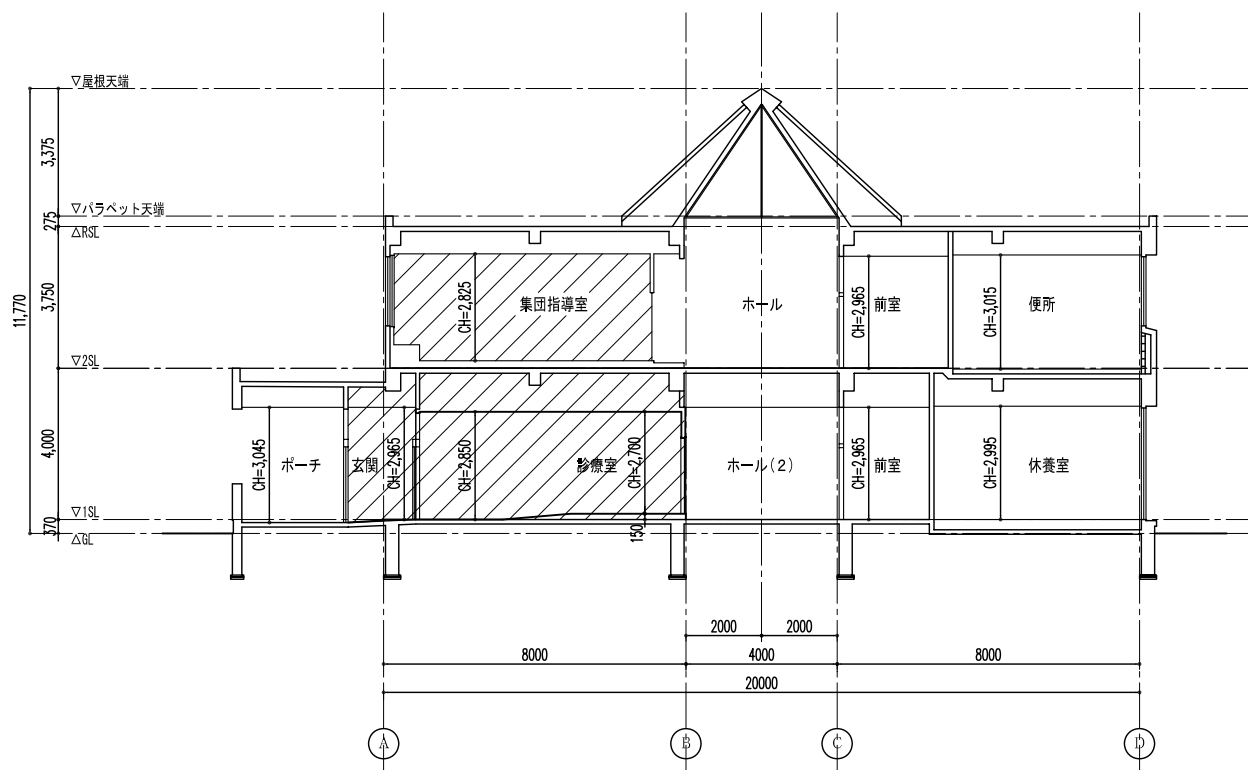


A-A 断面図(現況) S=1/100

— 工事対象部分を示す

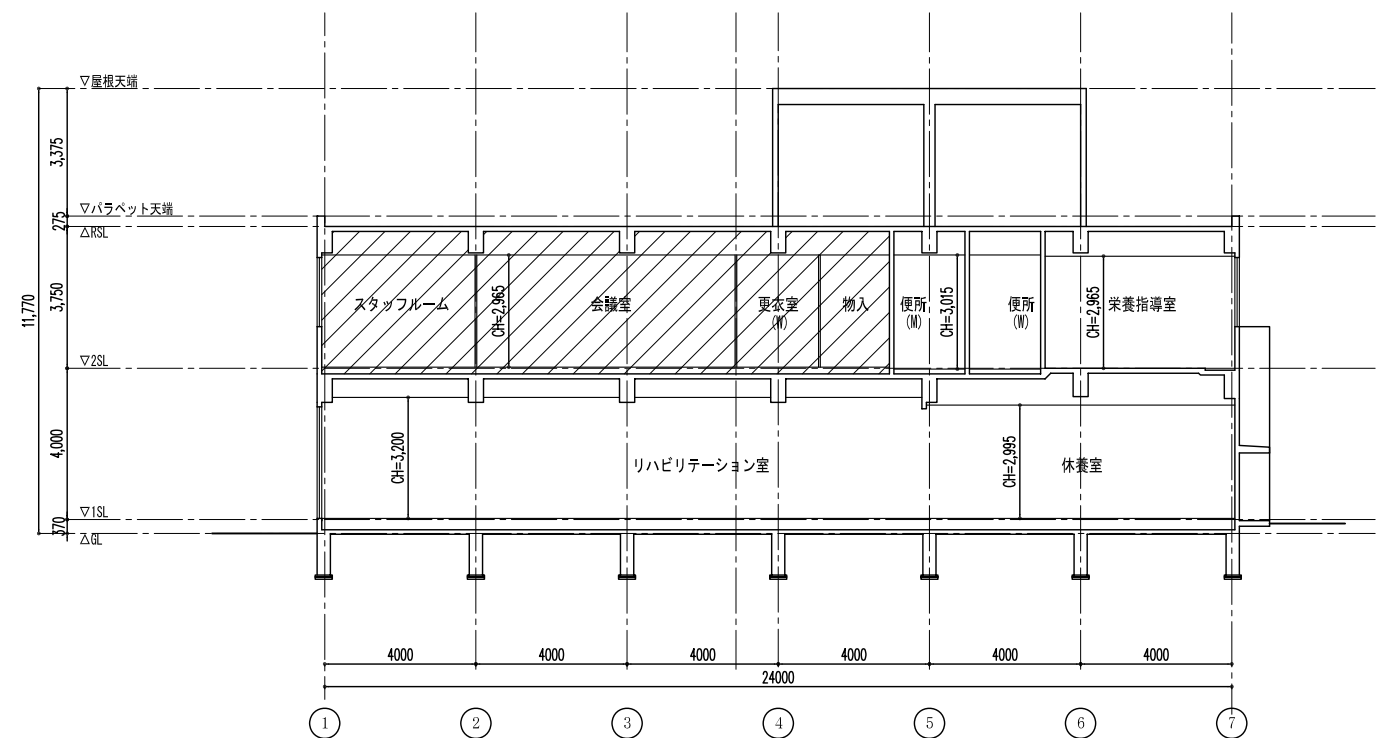


B-B 断面図(現況) S=1/100

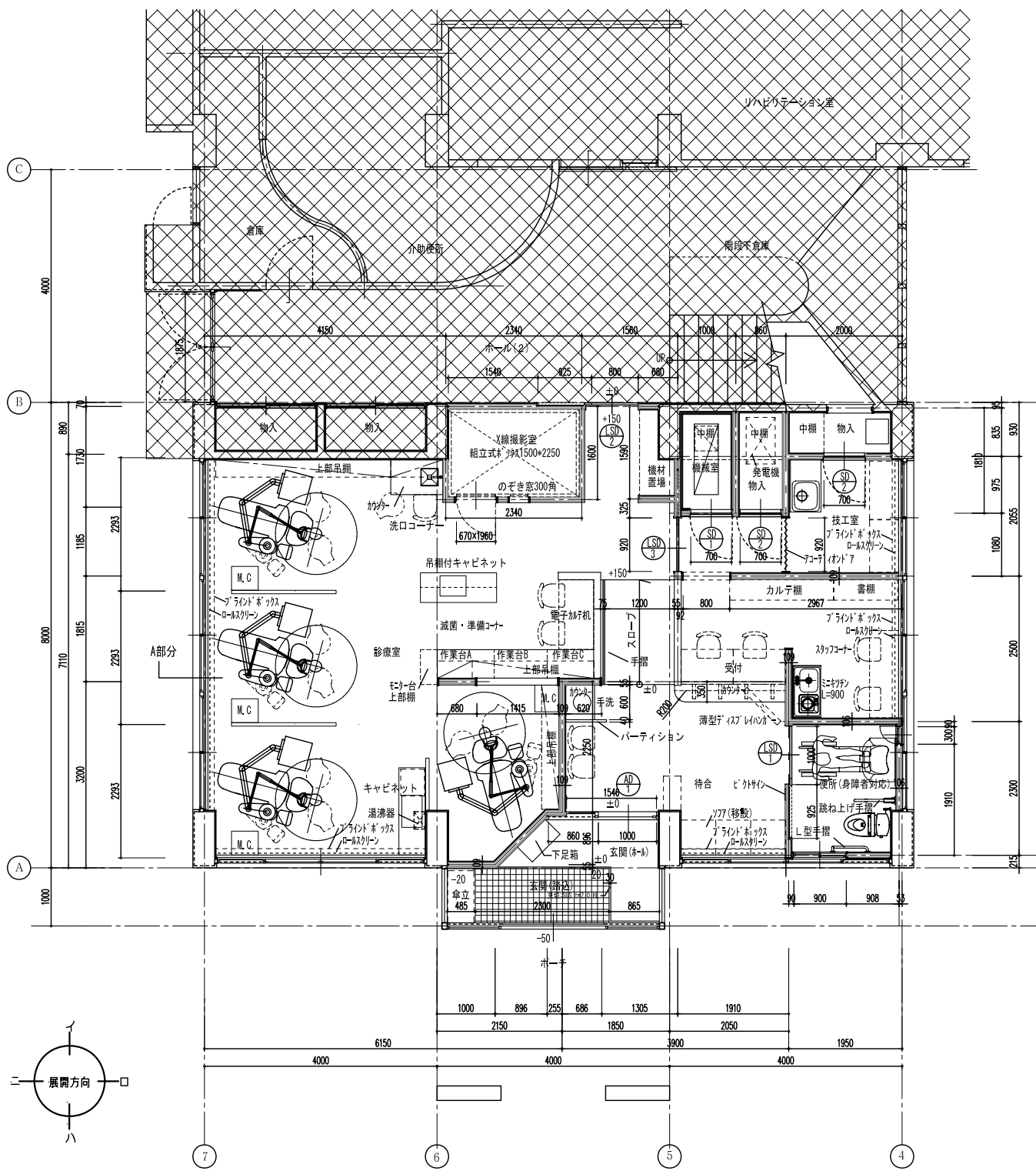
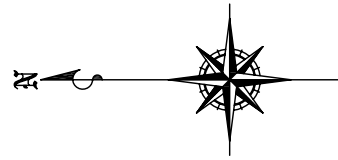


A-A 断面図(改修) S=1/100

— 工事対象部分を示す

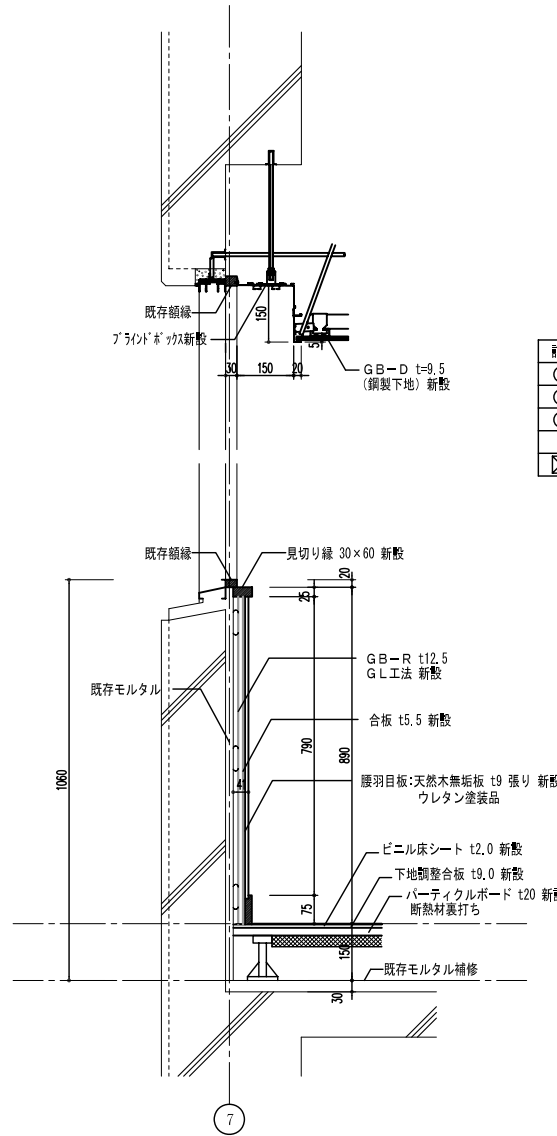


B-B 断面図(改修) S=1/100



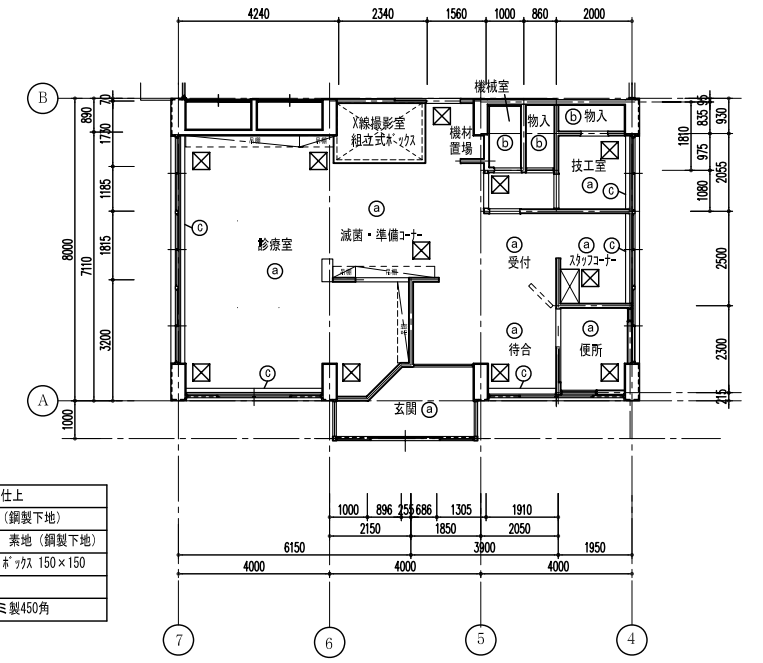
1階歯科診療所平面詳細図 S=1/50

⊗ 工事対象外の部分を示す

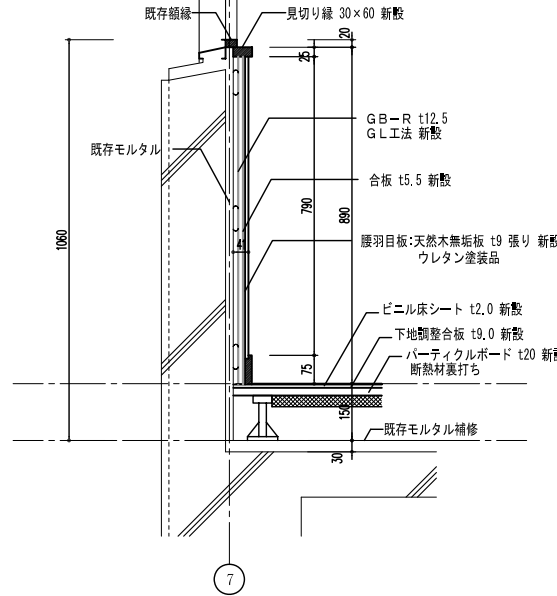


A部分断面詳細図 S=1/10

記号	天井仕上
Ⓐ	GB-D t=9.5 (鋼製下地)
Ⓑ	GB-R t=9.5 素地 (鋼製下地)
Ⓒ	アルミ製アラッドギッタ 150x150
⊗	天井点検口アルミ製450角

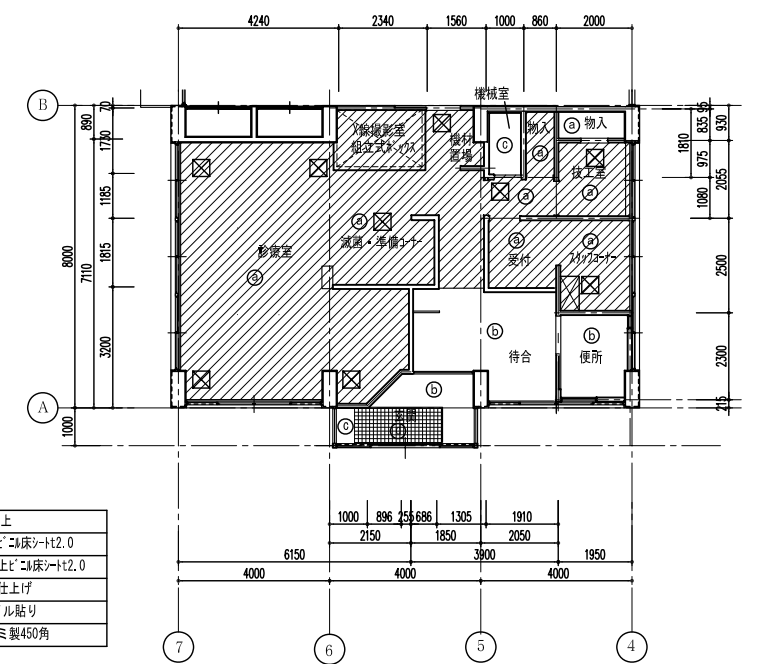


1階歯科診療所天井伏図 S=1/100

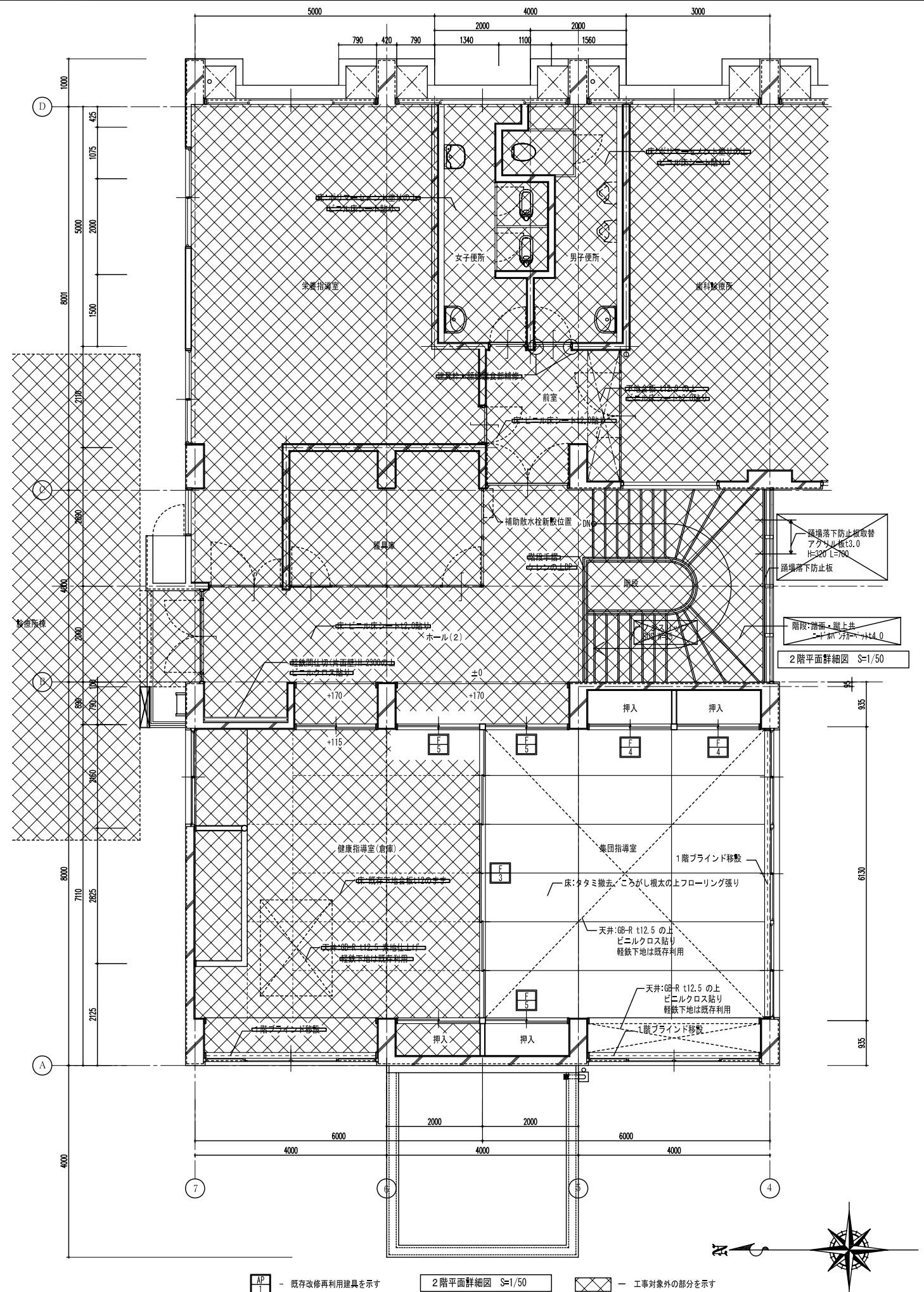
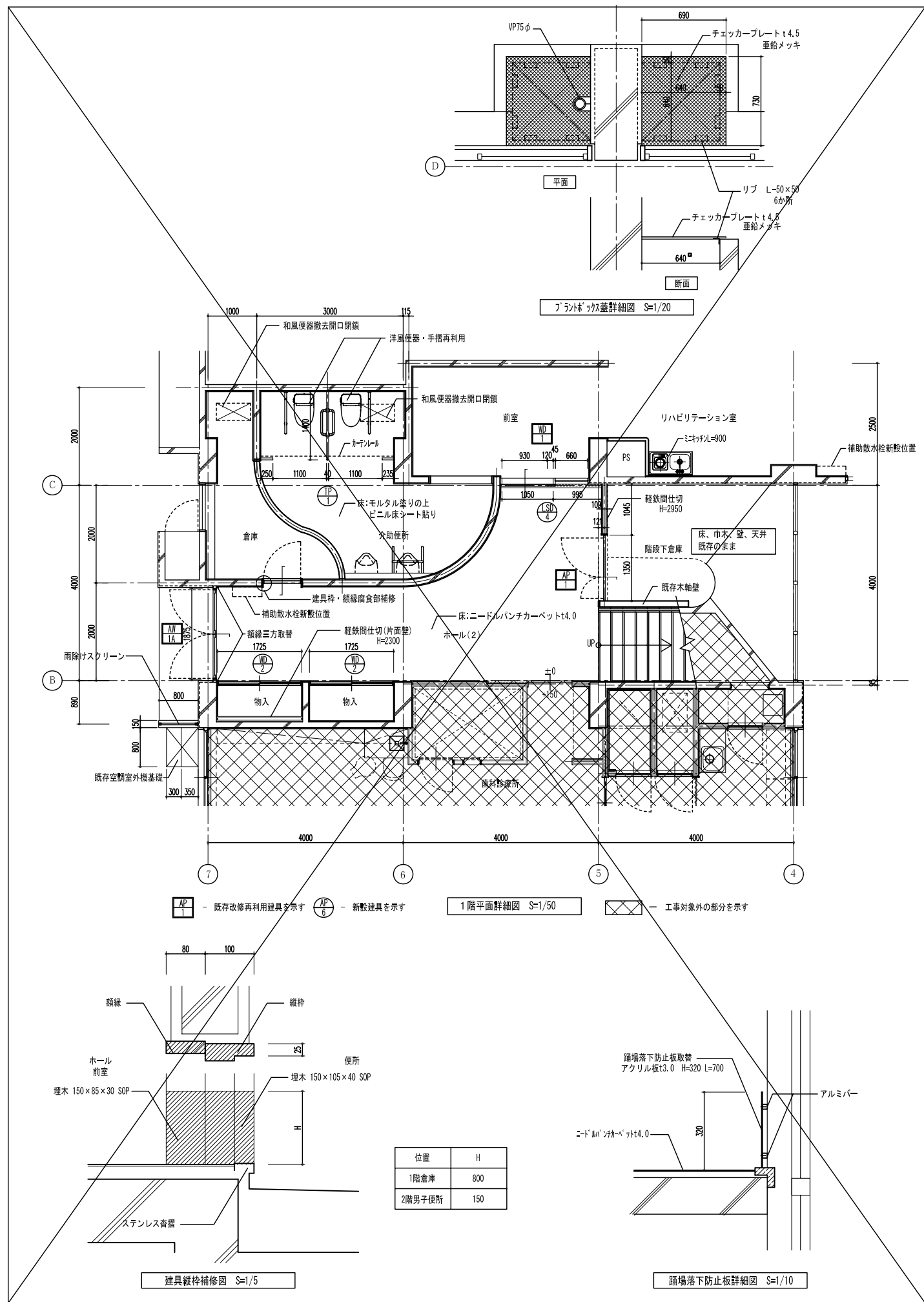


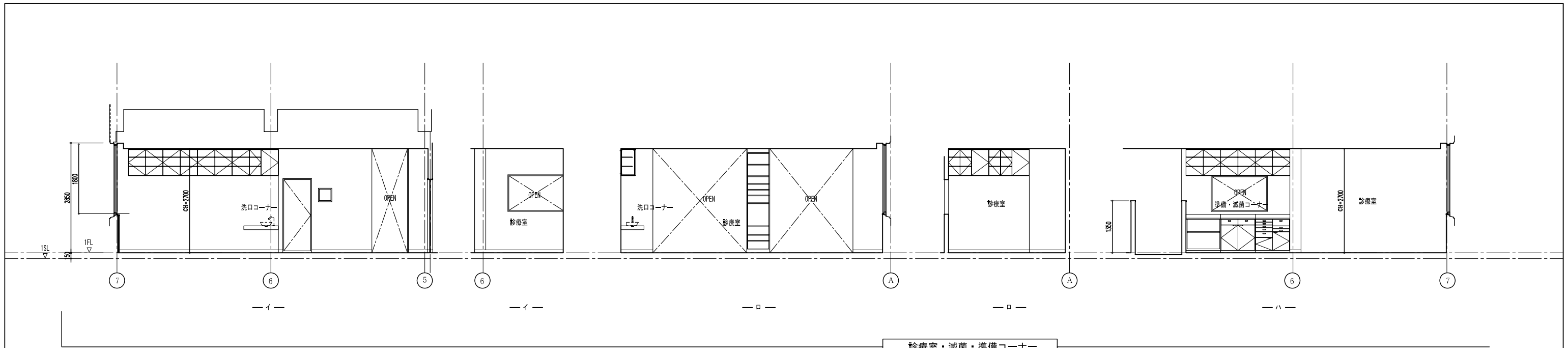
記号	床仕上
Ⓐ	乾式置き床の上ビニル床シートt2.0
Ⓑ	既存モルタル補修の上ビニル床シートt2.0
Ⓒ	モルタル薄塗り仕上げ
Ⓓ	磁器質100角タイル貼り
⊗	床下点検口アルミ製450角

/// 乾式置き床範囲を示す

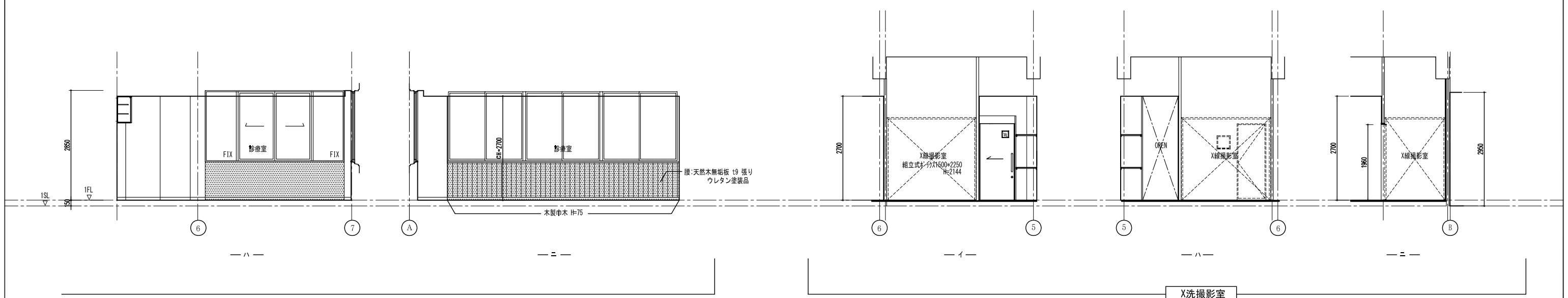


1階歯科診療所床伏図 S=1/100

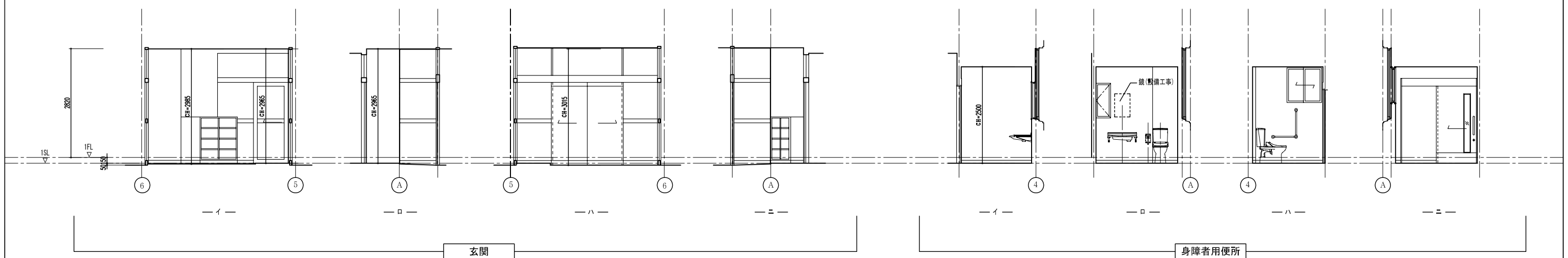




診察室・滅菌・準備コーナー



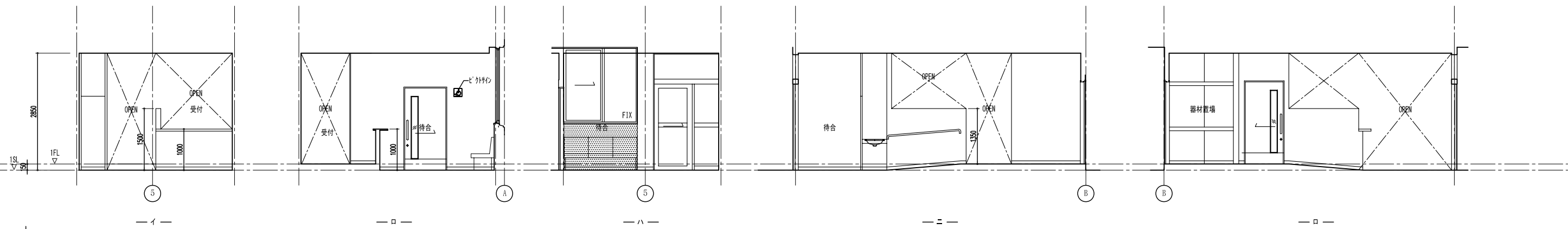
X洗撮影室



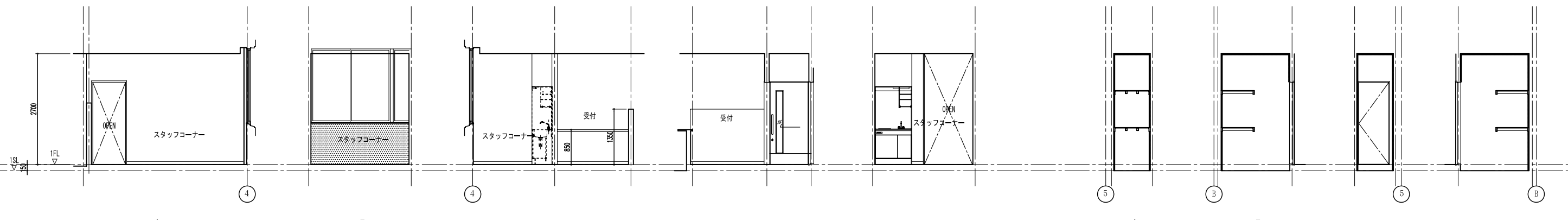
玄関

身障者用便所

GLボード(GB-R t12.5)の範囲を示す

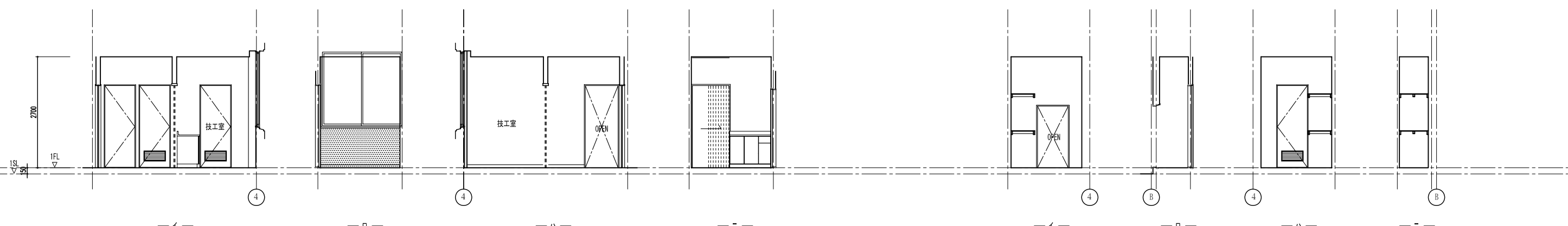


待合・スロープ・器材置場



受付・スタッフコーナー

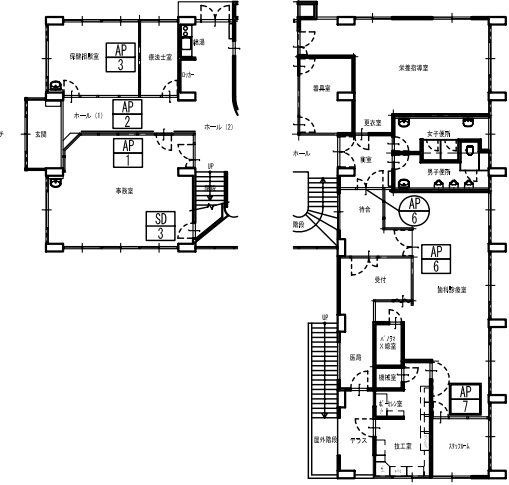
機械室



技工室

物入

GLボード(GB-R t12.5)の範囲を示す



1階建具伏図(撤去) 1/200

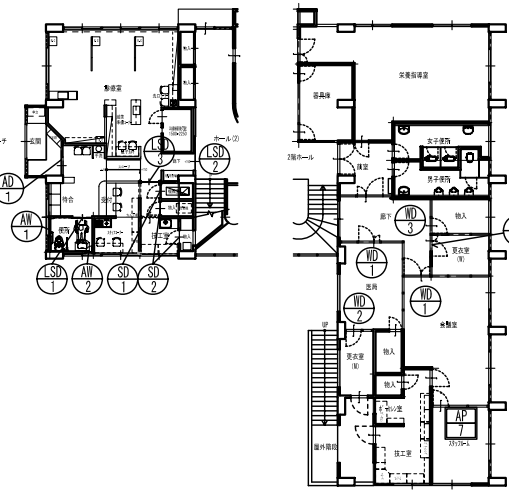
2階建具伏図(撤去) 1/200

符号	形式	数量	アルミパーティション	1	アルミパーティション	1
姿図	寸法					

取付場所	1階 事務室		1階 保険相談室・療法士室		
材料	仕上	アルミ	アルミ		
見込	ガラス	45	トーメイガラス t=3	フロートガラス (FL) t=5	トーメイガラス t=3
付属金物	付属金物一式		付属金物一式		
備考					

符号	形式	数量	アルミパーティション	1	鋼製ガラリ付両面フラッシュ開き戸	1	アルミパーティション	1
姿図	寸法							

取付場所	1階 保険相談室・療法士室		1階 階段下物入		2階 待合・診察室・受付		
材料	仕上	アルミ	鋼製	鋼板 t=L.6	OP	アルミ	
見込	ガラス	45	トーメイガラス t=3	100 (建具40)		45	
付属金物	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		
備考	撤去		扉撤去・枠存置		移設		



1階建具伏図(改修) 1/200

2階建具伏図(改修) 1/200

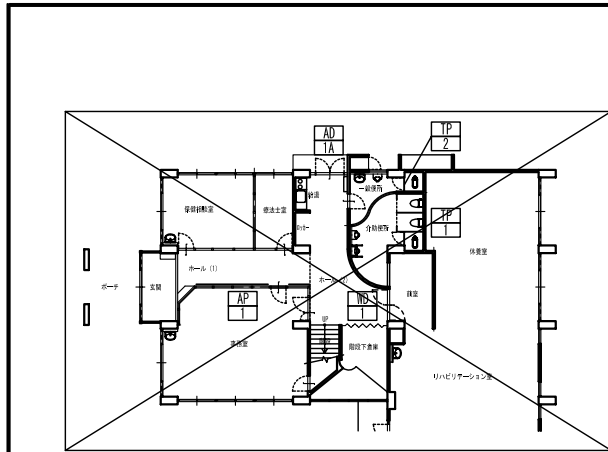
符号	形式	数量	ハンガー片引き戸(セミオート)	1	引き違い窓	1	内開き窓	1	片開きフラッシュ戸	1	片開きフラッシュ戸	2	片引き戸	1
姿図	寸法													

取付場所	1階 歯科 玄関		1階 歯科 身障者便所		1階 歯科 身障者便所		1階 歯科 機械室		1階 歯科 物入		1階 歯科 身障者便所			
材料	仕上	アルミ	電解着色	アルミ	電解着色	アルミ	電解着色	スチール	焼付塗装	スチール	焼付塗装	スチール	焼付塗装	
見込	ガラス	70+80(扉40)	フロートガラス (FL) t=5	70	型板ガラス t=4	70	型板ガラス t=4	130(扉見込み40)	—	130(扉見込み40)	—	150(扉見込み40)	—	
付属金物	標準付属金物一式、取手		標準付属金物一式		標準付属金物一式		標準付属金物一式		グレンジャー本締め錠、SUST番		標準付属金物一式、SUST番		多機能型指輪錠、押棒、指輪の防止ゴム、自閉装置 標準付属金物一式、SUST番	
備考	新設		新設		新設		新設 エアタイト		新設		新設		新設	

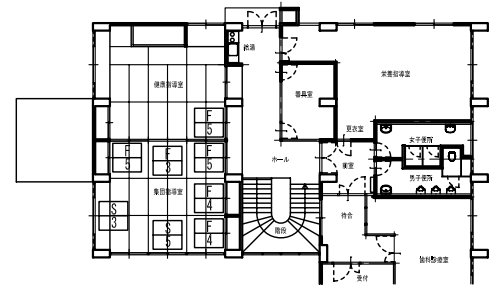
符号	形式	数量	片引き戸	1	片引き込み戸	1	親子開きフラッシュ戸	2	片開きフラッシュ戸	1	片開きフラッシュ戸	1	親子開きフラッシュ戸	1
姿図	寸法													

取付場所	1階 歯科 診察室		1階 歯科 診察室		2階 医局、会議室		2階 更衣室(Ⅱ)		2階 物入		2階 更衣室(Ⅱ)		
材料	仕上	スチール	焼付塗装	スチール	焼付塗装	木製フラッシュ	化粧合板	木製フラッシュ	化粧合板	木製フラッシュ	化粧合板	木製フラッシュ	化粧合板
見込	ガラス	150(扉見込み40)	アクリル型板 t=3.0	150(扉見込み40)	アクリル型板 t=3.0	戸33	型板ガラス t=4	戸33	型板ガラス t=4	戸33	—	戸33	型板ガラス t=4
付属金物	シリンドー本締め錠(標準型)標準付属金物一式、SUST番、押棒、指輪の防止ゴム		標準付属金物一式、押棒、指輪の防止ゴム		付属金物一式 (SUS製)、サムターン付きシリンドー錠		付属金物一式 (SUS製)、サムターン付きシリンドー錠		付属金物一式 (SUS製)、シリンドー錠		付属金物一式 (SUS製)、サムターン付きシリンドー錠		
備考	新設		新設		新設		新設		新設		新設		

- 新設建具を示す
 - 改修建具を示す
 - 撤去建具を示す
 - 既存移設建具を示す



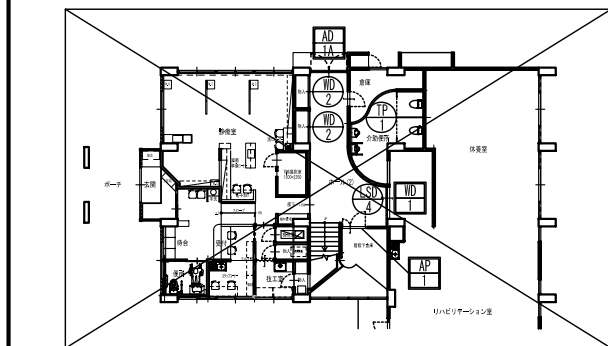
1階建具伏図(撤去) 1/200



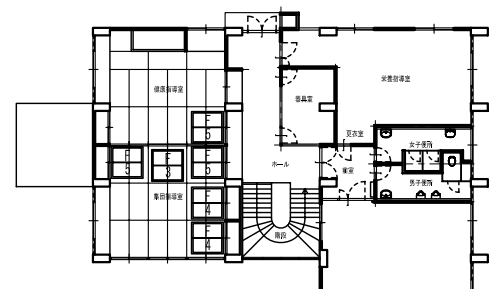
2階建具伏図(撤去) 1/200

符号	形式	数量	AP T	アルミパーテーション	1	AD TA	ランマ両袖ハメ殺し窓付両開きドア	1	AD TA	ランマ両袖ハメ殺し窓付両開きドア	1	
姿	図											
寸	法											
取付場所	1階 事務室					1階 ホール(2)					1階 リハビリテーション室前室	
材料	仕上	アルミ					アルミ					スプル
見込	ガラス	45 トーメイガラス t=3 フロートガラス (FL) t=5					70 網入り透明ガラス t=6.8					40 (枠100) 網入り透明ガラス t=6.8
付属金物	付属金物一式					標準付属金物一式 番錠~スルス					標準付属金物一式、シリリダー本締め錠、取手	
備考	撤去(歯科診療所移設改修工事)・一部再利用(保健センター改修工事)											

符号	形式	数量	S 3	4枚引き違い障子	1	S 5	4枚引き違い障子	1	TP 2	トイレブース	1	
姿	図											
寸	法											
取付場所	2階 集団指導室					1階 介助便所					1階 一般便所	
材料	仕上	杉 美濃紙					ポリ合板フラッシュ 枠:アルミ					ポリ合板フラッシュ 枠:アルミ
見込	ガラス	30					40					40
付属金物	引手					アルミエッジ アルミ笠木					アルミエッジ アルミ笠木	
備考	撤去											



1階建具伏図(改修) 1/200

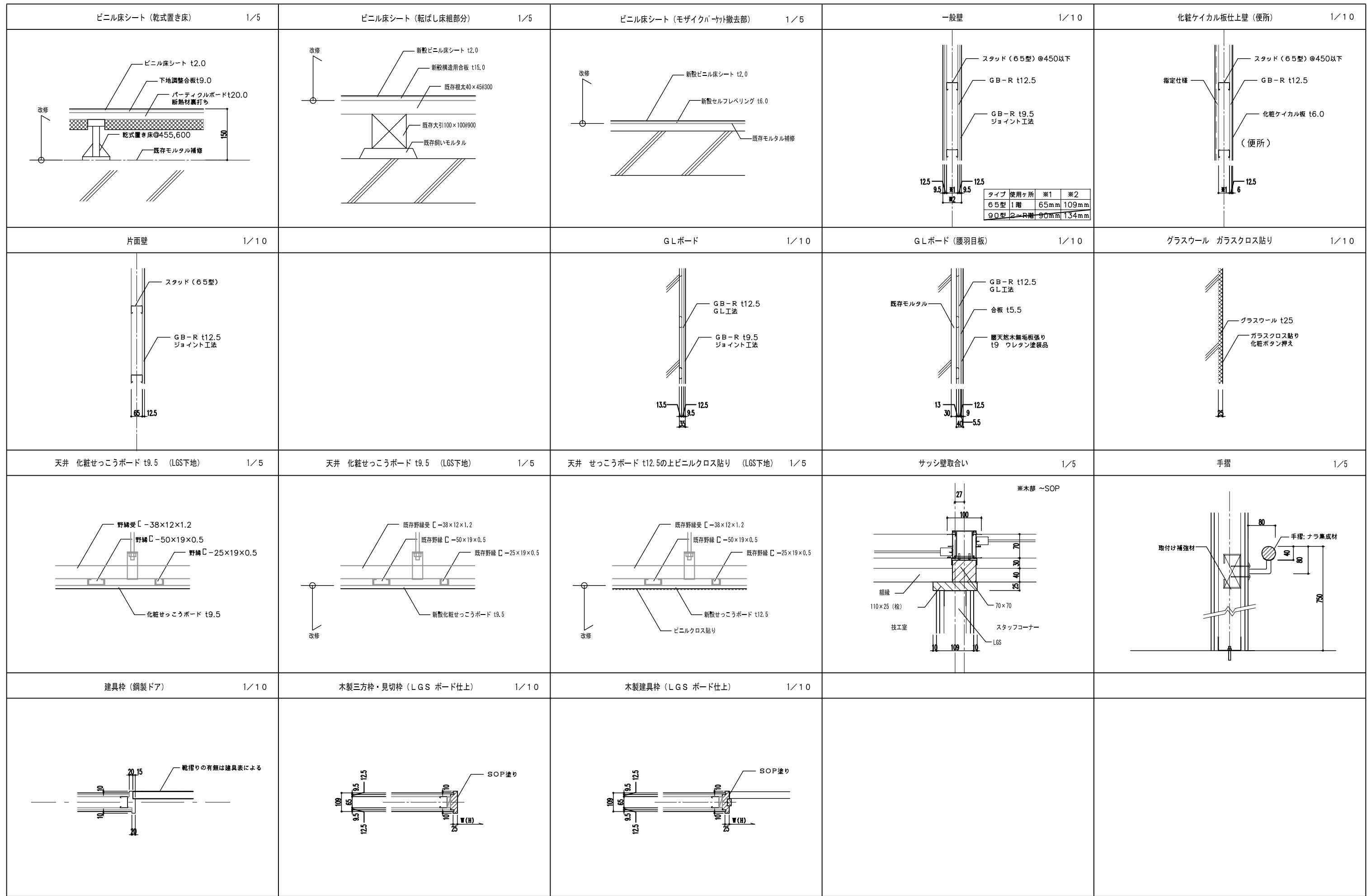


2階建具伏図(改修) 1/200

符号	形式	数量	F 4	天袋付き引き違いふすま	2	F 5	引き違いふすま	3	F 6	6枚引き違いふすま	1	AP T	アルミパーテーション	1	AD TA	両開き戸	1	
姿	図																	
寸	法																	
取付場所	2階 押入					2階 押入、式台					2階 健康指導室 集団指導室					1階 階段下倉庫	1階 ホール(2)	
材料	仕上	桑まがい 枠~ｽﾀｲｸｺｽ 本島の子紙(押入内曇花紙)					桑まがい 枠~ｽﾀｲｸｺｽ 本島の子紙(押入内曇花紙)					桑まがい 枠~ｽﾀｲｸｺｽ 本島の子紙					アルミ	アルミ
見込	ガラス	20					20					20					45 トーメイガラス t=3	70 網入り透明ガラス t=6.8
付属金物	堅木引手					堅木引手					堅木引手					付属金物一式	標準付属金物一式	
備考	襖紙(本島の子紙)張り替え(押入内曇花紙)																	

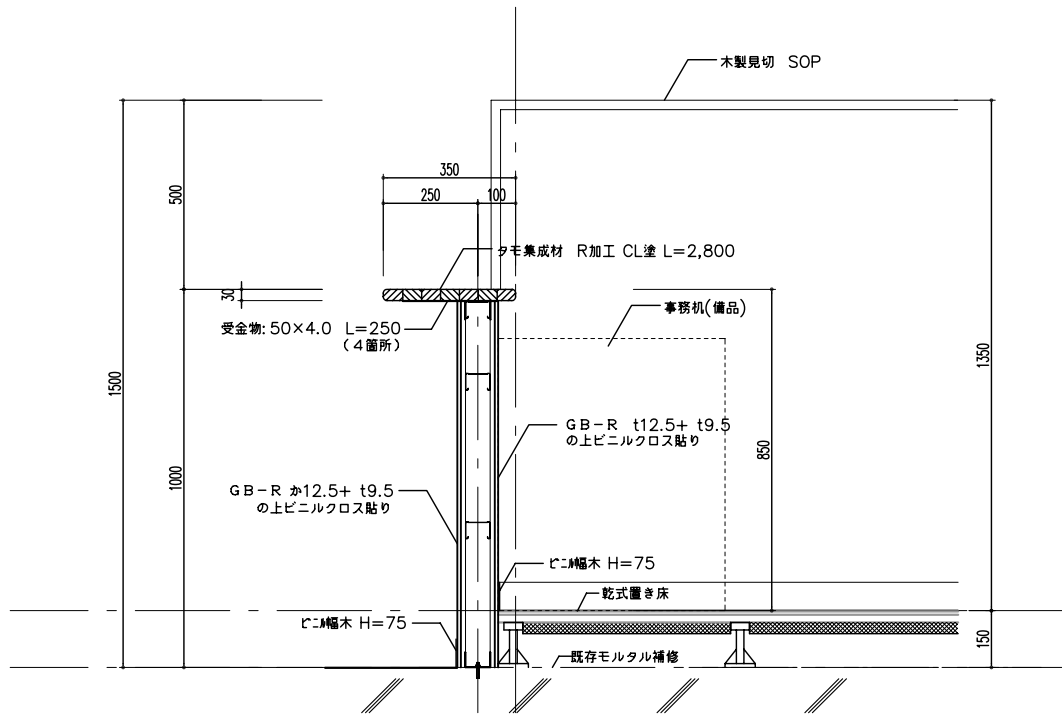
符号	形式	数量	LD 4	ランマ片袖ハメ殺し窓付開口枠	1	LD 7	片引き戸(後付タイプ)	1	LD 7	引き違いフラッシュ戸	2	TP 1	トイレブース	1			
姿	図																
寸	法																
取付場所	1階 リハビリテーション室前室					1階 ホール(2)					1階 物入					1階 介助便所	
材料	仕上	スプル					スチール					メラミン化粧合板フラッシュ					メラミン化粧合板フラッシュ 枠:ステンレス
見込	ガラス	枠100					150(厚見込み40)					30 (枠90)					40
付属金物	-					シリリダー本締め錠(浴室用サムターン) 標準付属金物一式、SIS番錠、押錠、無難め防止ゴム					底車、フラッターレール、影り込み引きて					SUSエッジ SUS巾木 SUS笠木	
備考	換気め殺し窓に改修					新設					新設					新設	

AD TA - 撤去建具を示す AP T - 既存改修再利用建具を示す LD 6 - 新設建具を示す



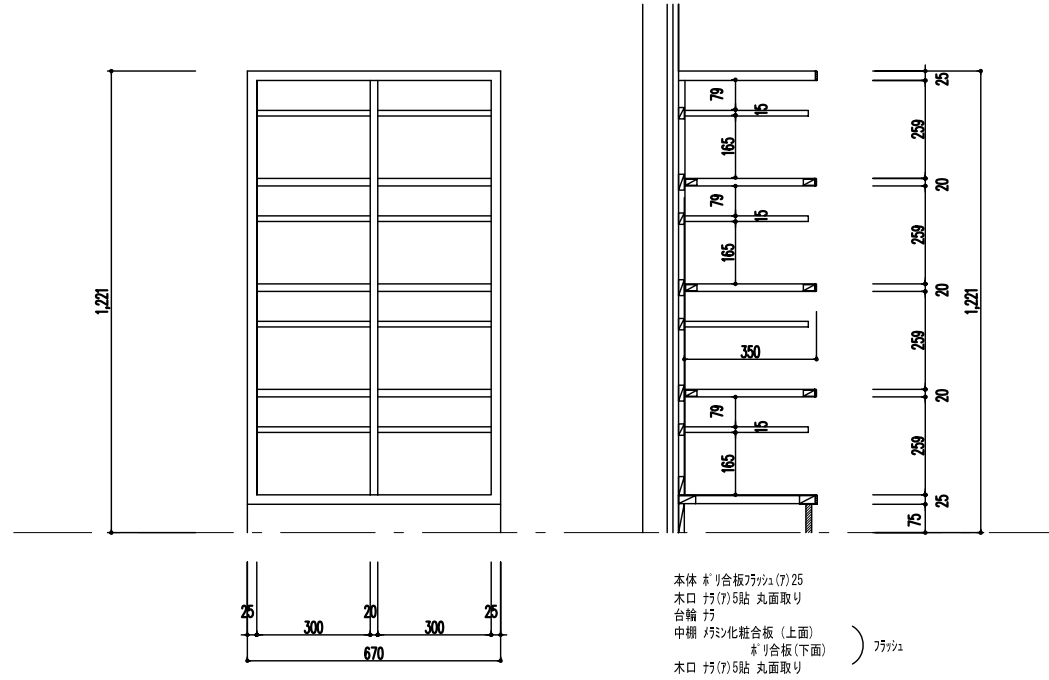
受付カウンター

1/10



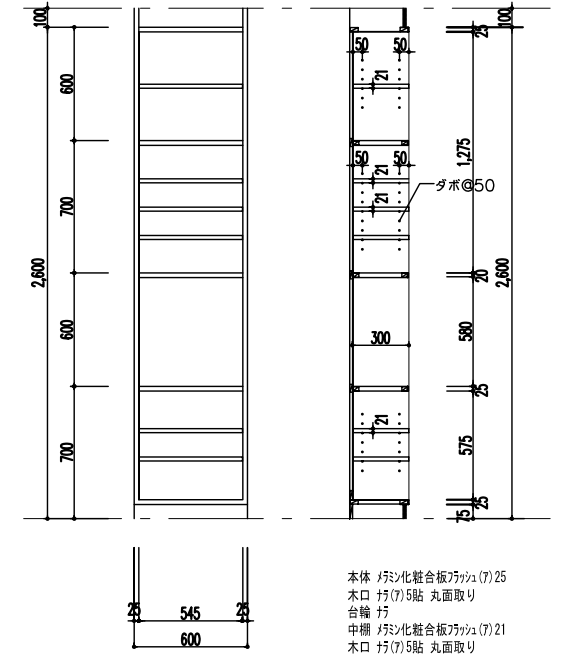
玄関下足箱詳細

1/10



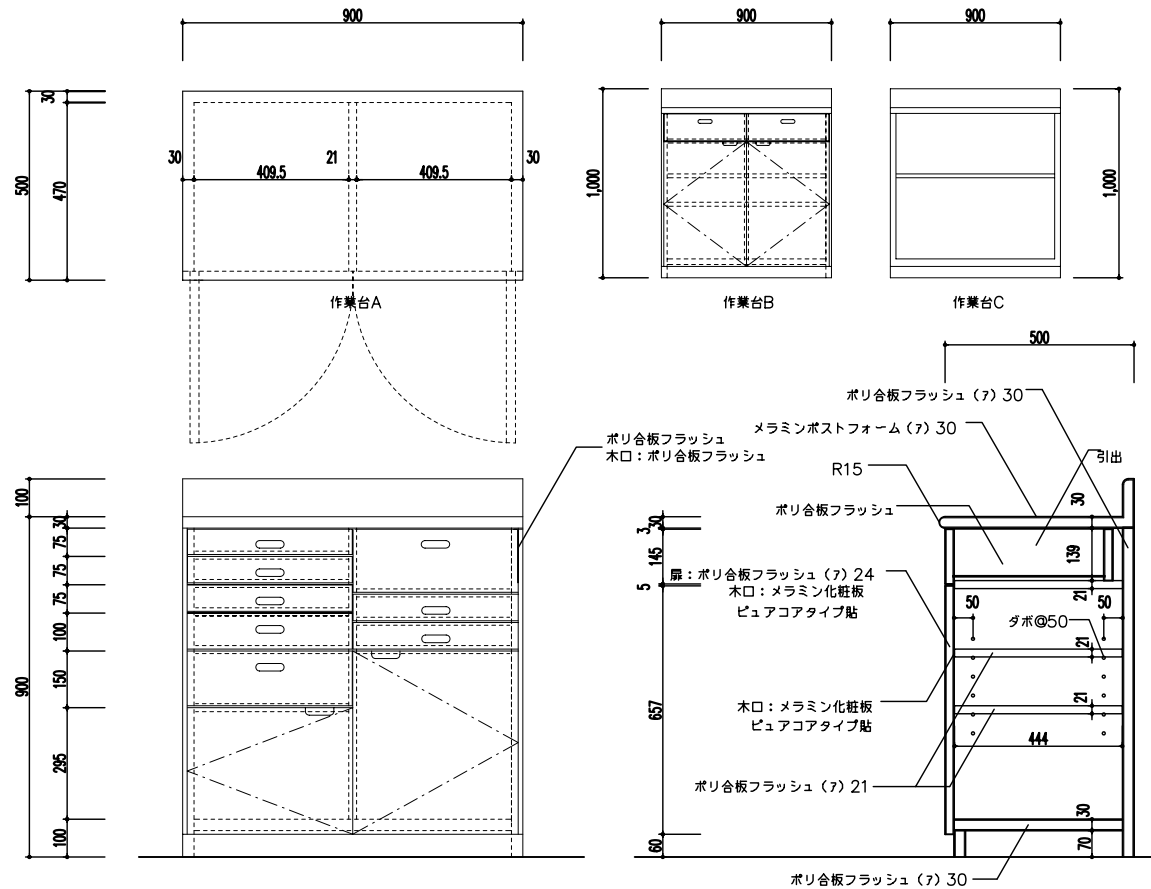
モニター・小物棚

1/20



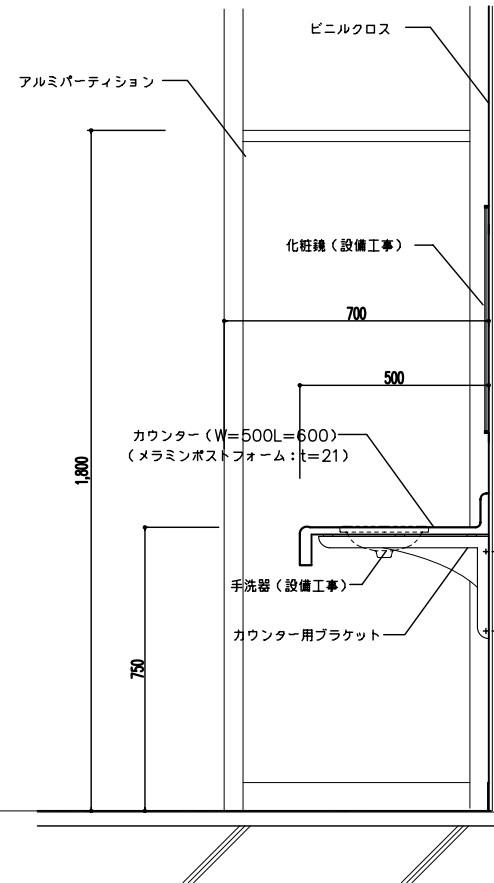
作業台A,B,C

1/10 1/20



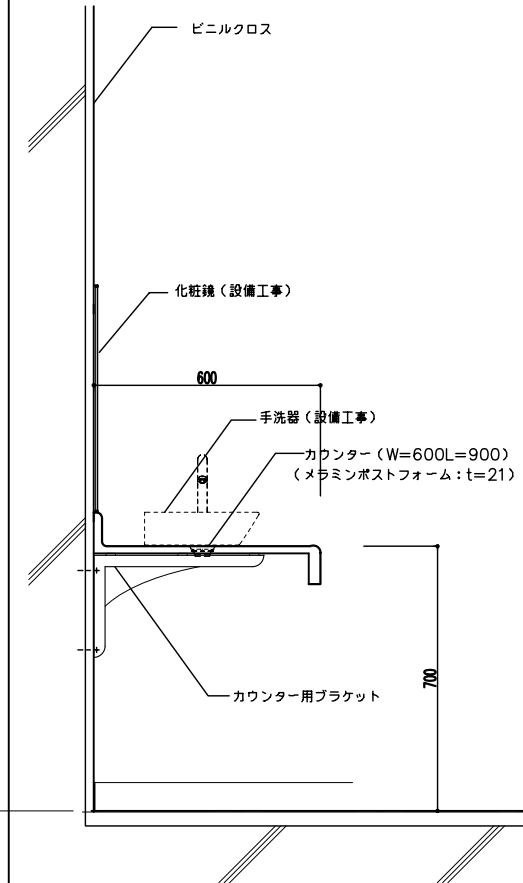
手洗いカウンター

1/10



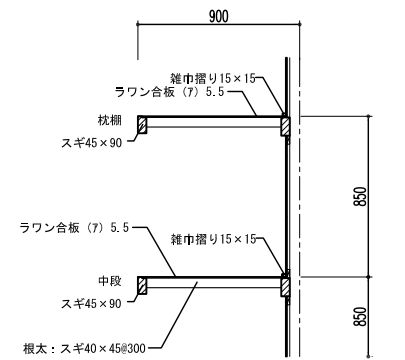
洗コナーカウンター

1/10



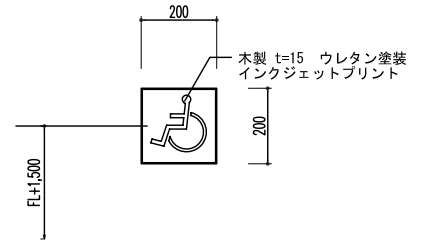
物入・機械室・器材置場 中棚・枕棚

1/20



ピクトサイン

1/10



電気設備工事特記仕様書 No.1

【工事概要】
1 工事場所 京都府船井郡京丹波町本庄今福13番地
2 建物概要

Table with 6 columns: 建物名, 構造, 階数, 延床面積(m2), 消防法令別表第一, 備考. Row 1: 歯科診療所, 鉄筋コンクリート造, 2階, 707.64, 6項(イ), (歯科診療所改修部分).

3 工事科目 ●印をついたものを適用し、各一式とする。

Table with 2 columns: 工事科目, 建物名称. Lists various equipment items like 電灯設備, 動力設備, 電気配線設備, etc., with corresponding checkboxes.

【特記事項】

- 1 一般事項
1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官務課の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）平成二十二年版」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）平成二十二年版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）平成二十二年版」による。
2) 工事種目に機械設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。
- 2 特記事項
項目及び特記事項は、●印をついたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は、●印を適用する。

Main specification table for general items. Columns include 項目, 特記事項, 仕様. Rows include 設備機材等, 機材の品質・性能証明, グリーン調達適合品の確認, etc.

Main specification table for special items. Columns include 項目, 特記事項, 仕様. Rows include 一般事項 (施工関係書類, 履行報告, etc.), 共 (耐震施工, 風圧力に対する性能), 通 (電線類), 事 (電線管), 項 (電線本数, 管路等), 備 (ボックス, フラッシュプレート, etc.), 項 (フロアプレート, 機器), 備 (機器内配線等).

Main specification table for special items. Columns include 項目, 特記事項, 仕様. Rows include 共通事項 (はつり, 再使用機器), 電 (電気方式), 灯 (照明制御装置), 備 (照明制御装置), 動力 (電動機等), 変 (変圧器), 電 (電圧調整), 設 (監視方式), 備 (インバータ装置), 雷 (雷保護システム), 変 (変圧器), 電 (電圧調整), 設 (監視方式), 備 (インバータ装置).

電気設備工事特記仕様書 No.2

章	項目	特記事項
電力貯蔵設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○直流電源装置	用途 ○建築基準法用 ○消防法用 ○受変電設備専用 その他 ○過放電防止保護装置(直流不足電圧継電器)の設定電圧は、90Vとする。
発電設備	○交流無停電電源装置(UPS)	用途 () 方式 ○一般形 ○簡易形
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
電機設備	○形式	○オープン形 ○簡易形 ○キュービクル
	○連続運転可能時間	○10時間(乙) ○72時間(甲) ○
設置	○発電機	電気方式 三相3線式 電圧 ○210V ○6.6kV ○415V 定格出力 kVA以上 力率 0.8
	○原動機	種別 ○ガスタービン ○ディーゼル機関 ○ガスエンジン ○マイクロガスタービン ○燃料電池 ○コージェネレーション 定格出力 kW (PS) 以上 始動方式 ○電気式 ○空気式 冷却方式 ○ラジエーター式 ○水循環式
備	○燃料	種類 ○重油 ○軽油 ○灯油 ○ガス () ○燃料小出槽 〃 ○主燃料槽 〃
	○監視方式	*警報盤による代表監視 ○中央監視盤による監視
通信設備	○太陽光発電装置(グ)	太陽電池 アレイ 設置可能建築面積 公称最大出力 kW以上 m2以下(長辺 m x 短辺 m) 系統連系 ○受動 ○能動 パワーコンディショナ出力 相 線式 V kW以上 逆潮流 ○有 *無
	○風力発電装置(定格出力20kW未満に適用)	系統連系 ○有 ○無 運転音 *80dB(A)以下 ○ 移動用の遠方監視用接点 ○要 ○不要
構内情報設備	○外部移報	*有 ○無
	●工事範囲	●配管 ●配線 ○機器取付
構内交換設備	●施工方法	○金属管配線 ○ケーブル配線 ●合成樹脂管配線
	●工事範囲	●配管 ○配線 ○機器取付
情報表示設備	○保安器用接地	*本工事 ○別途工事
	○形式	○電子交換機 ○ボタン電話装置
映像設備	○電話機への配線	電話機1台につき以下を見込む。 OEM-TIEF 0.65 - 20 20m (片側6種4心φ'17-0.6'外付) OEM-UTP 0.5 - 4P 20m (片側8種8心φ'17-0.6'外付) OEM-BTIEE 0.4 - 2P 20m (片側6種4心φ'17-0.6'外付) O2号ワイヤプロテクタ 1.5m
	○工事種類	○マルチサイン装置 ○退避表示設備 ○時刻表示設備
拡張設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○施工方法	○金属管配線 ○ケーブル配線 ○合成樹脂管配線
誘導支援設備	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付
	○増幅器	用途 ●全館放送用(*一般放送 ○非常放送) ○ローカル放送用 形式 ○卓上形 ○ラック組込形 ○ラック組込形 H1形 W以上 ○ラック組込形 H1形 W以上 出力制御盤 *有 回線 ○無 *有 回線 ○無 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニター機能 ○モニター機能 ○自動放送はアッテネーターを経由した回路とする。
テレビ共同受信設備	○マイクロホン	○卓上形 台 ○ハンド形 台 ○
	●スピーカ	特記なきものは *SC6H1-1V3-M ○
誘導支援設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○工事内容	○音声誘導装置 検出方式 (○磁気式 ○無線式 ○画像認識) ○インターホン ○電話式 ○相互式 ○テレビインターホン ○カラー ○白黒 ○外部受付用インターホン ○カラー ○白黒 ○トイレ等呼出し装置 窓 呼出しボタン ○壁付ボタン (プルスイッチの長さは、0.2m以上とする) ○壁付押しボタン (押しボタンの長さは、1.2m以上とする) ○受付呼出し装置 ○誘導音
構内通信線路	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付
	○アンテナ	○VHF用 ○UHF用 ○BS用 ○CS用 ○AM用 ○FM用 ○CATV
誘導支援設備	○アンテナマスト	○壁面取付形 ○自立形 鋼管のアンテナマスト及びその支持材等は、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
	○電界強度測定	電界強度及び電圧は、最上階が打上がったときに、アンテナ取付予定位置、またその周辺で測定し、その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。 測定チャンネルは、監督職員と協議する。

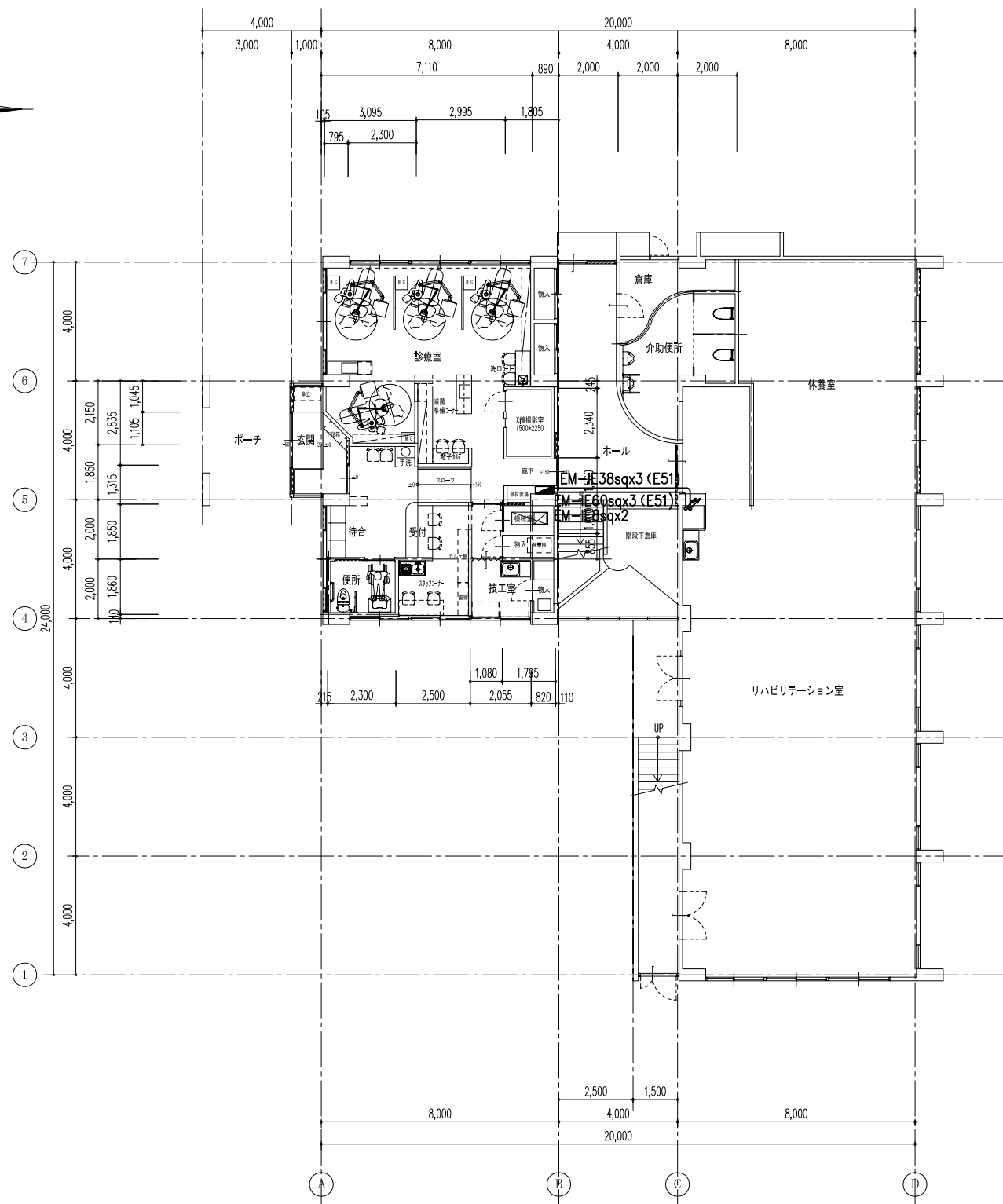
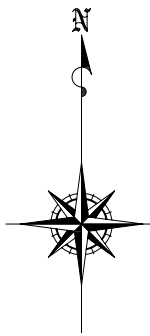
章	項目	特記事項
監視カメラ	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○画像	○カラー ○白黒
監視設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○車両検出方式	○ループコイル方式 ○光線方式
防犯・入室監視設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○工事種類	○機械警備用配管 ○防犯装置 ○入室管理制御装置
自動火災報知設備	●自動火災報知装置	●工事範囲 ●配管 ●配線 ●機器取付 ●電気方式 DC24V ただし、位置表示灯及び消火ポンプ運転表示は AC24V
	○受信機	○形 級 回線 ○壁掛形 ○自立形 ○単独形 ○複合形 ○副受信機 窓 ○盤面に消火ポンプ運転表示灯を設ける。
報知設備	○消火ポンプ始動	*消火栓箱内押ボタン ○発信機と連動(総合盤に始動表示灯を設ける。)
	○機器取付	○消火栓一体形 ○単独形
防火設備	○自動閉鎖装置	○工事範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付 ○連動制御器 回線 【予備電源(蓄電池)内蔵】 ○単独 ○自火報受信機と一体 ○ダンパ等(全数)復旧用の予備電源容量を持つこと。
	○自動閉鎖装置	○防火戸用【DC24V 0.6A以下電磁式またはラッチ式】 ○防煙ダンパ用 【別途工事 瞬時通電式又は電動式 DC24V 0.6A以下 遠方復帰機構(電動式) DC24V 0.7A以下】 ○防火シャッター用 【別途工事 DC24V 0.6A以下】
非常警報装置	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○電気方式	DC24V
ガス漏れ火災警報装置	○電源装置	*非常電源(蓄電池) ○自動火災報知設備と兼用
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
警報表示	○受信機	○形 級 回線 (○壁掛形 ○自立形) (○単独形 ○自火報受信機と一体) (ガスの種類 *都市ガス(13A) ○液化石油ガス)
	○警報表示	受信機に諸警報表示窓(窓)を設ける。
中央監視設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○監視方式	○警報盤 ○監視制御装置
医療関係設備	○警報装置	*標準仕様書による ○30分間以上
	○警報装置容量	*標準仕様書による ○30分間以上
構内配線	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○非接地電源用分電盤	キャビネット *鋼製 ○ステンレス製
構内配線	○ナースコール装置	トイレ及び浴室等の呼出押ボタン ○防滴 ○防湿
	○その他	○オプション等の試験は、監督職員の指示による。
構内配線	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○電気方式	高圧 三相3線式 6kV 低圧 三相3線式 200V ○ 単相3線式 100/200V 単2線式 (○100V ○200V)
構内配線	○ふ設方式	○管中線 ○管路式 *波付硬質合成樹脂管(FEP) ○ポリエチレン被覆管(PLP) ○埋設深さ 特記なきものはGL(舗装がある場合は、舗装下面) -300mm以下とする。 ○架空線 電柱 *遠心力プレストレストコンクリートポール
	○区分開閉器	○高圧負荷開閉器 7.2kV 300A 用途 ○架空引込用 ○管中引込用 構造 ○耐中盤じん用 ○耐重盤じん用 形式 ○引外し装置付き(SOG形) ○引外し装置なし ○避雷器内蔵 ○制御電源用変圧器内蔵
構内配線	○マンホール及びハンドホール	構造・寸法 *標準図による ○図示による。 蓋の文字 *蓋の用途表示は電力とする。 ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合は、接地を省略してもよい。
	○余長	高圧ケーブルは、マンホール、ハンドホール、又はキュービクル内等の1ヶ所で3m余長をとる。
構内配線	○端子、高圧ケーブル端処理	○一般用 ○耐塩用 ○重耐塩用
	○避雷器	○屋外形 ○耐塩形 ○被柱材 ○一般用 ○耐塩形
構内配線	○外灯	基礎 *本工事 ○別途工事 ○外灯ホルの材質が鋼製(SPO)の場合は溶融亜鉛メッキとし、指定塗装とする。 外灯回路以外に設ける。また、2倍長とする。
	○標識シート	○標識シート
構内通信線路	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○ふ設方式	○管中線 ○管路式 *波付硬質合成樹脂管(FEP) ○ポリエチレン被覆管(PLP) ○埋設深さ 特記なきものはGL(舗装がある場合は、舗装(表層)下面) -300mm以下とする。 ○架空線 電柱 *遠心力プレストレストコンクリートポール
構内通信線路	○マンホール及びハンドホール	構造、寸法は (*標準図 ○図示)による。 蓋の用途表示は (*通信 ○)とする。
	○標識シート	○標識シート 引込み管路に設ける。

章	項目	特記事項
調査	○調査範囲	*測定のみ ○対策工事実施設計書作成まで
	○測定時期	工事前・工事中・完成後
	○測定箇所	箇所
	○測定内容	受信可能な全チャンネルとし、結果報告書を提出する。

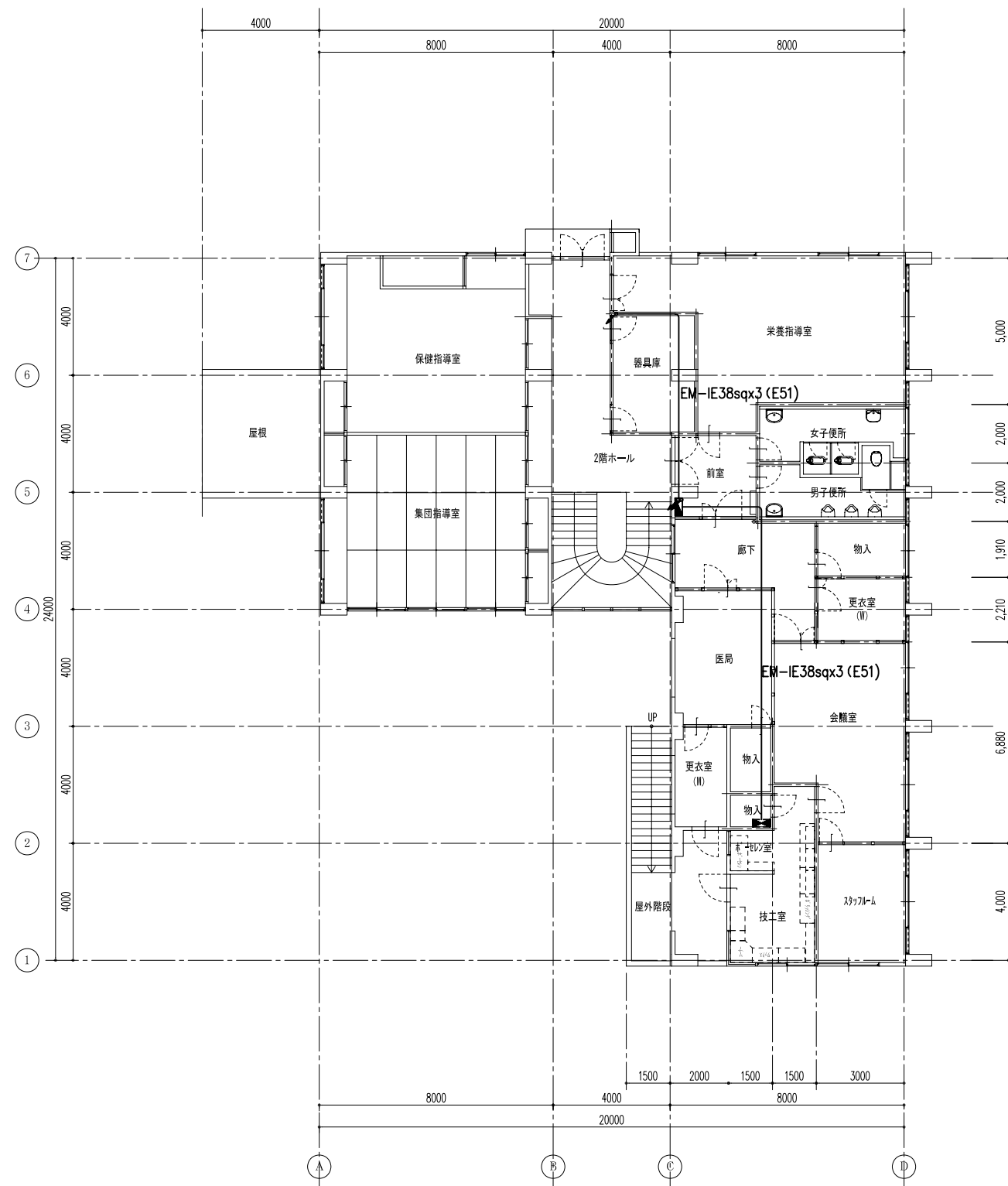
別表 1 付属品・予備品

○ウォールキャビネット (W= D= H=) x 個	
○イーゼルキャビネット 箱 ○キーボックス ○テスター ○マンホールフック	
○工具箱 (ドライバー、モンキーレンチ、組スバナー、ハンマー)	
照明器具	ランプ及びグロー球の予備品は、種別毎に1%とする。 ただし、個数は切り上げることをし、最少個数を1個とする。
受変電設備・盤	ランプ及びヒューズの予備品は、20%とする。



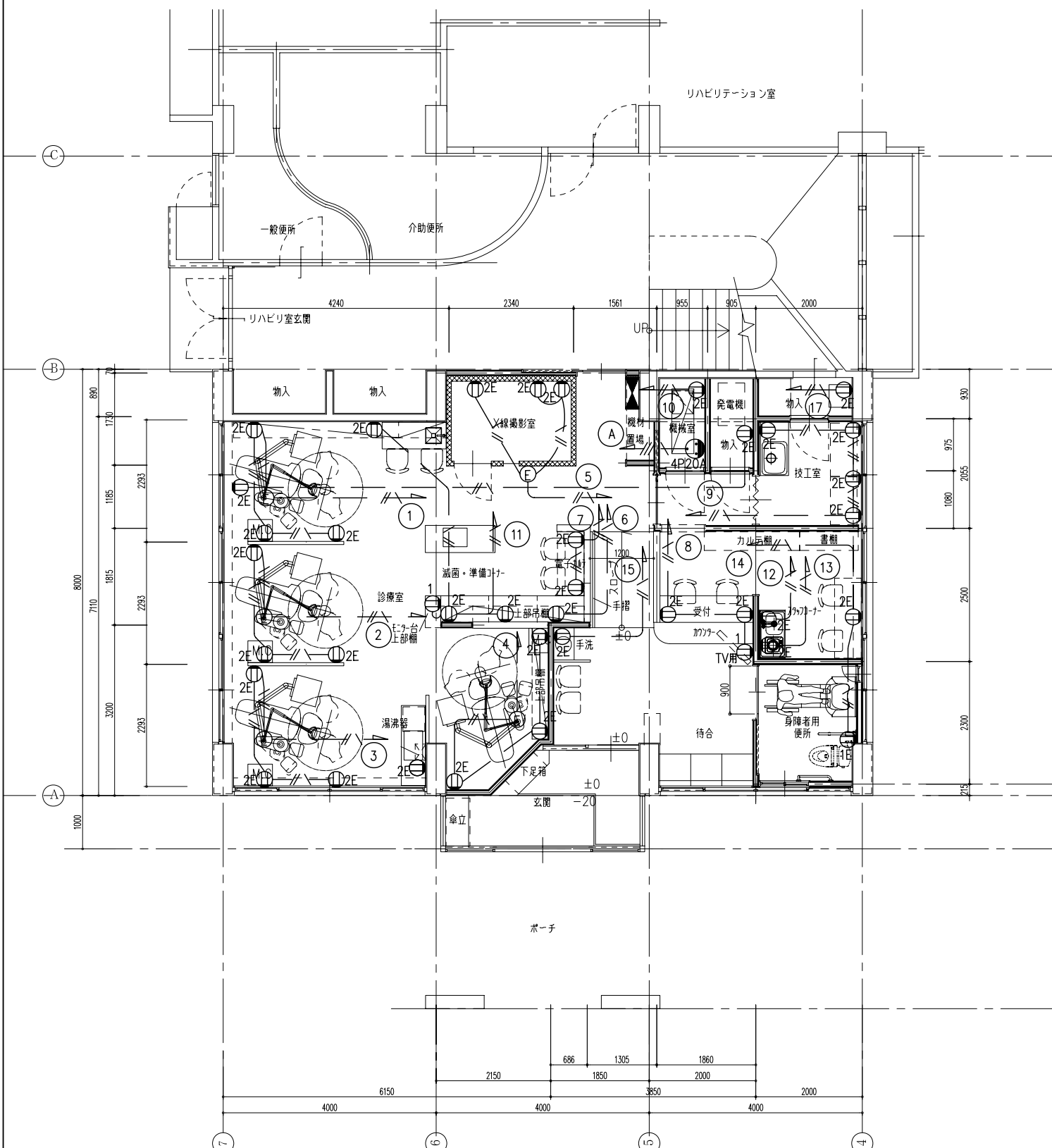
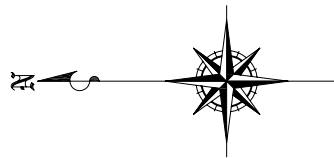


1階平面図 S=1/100



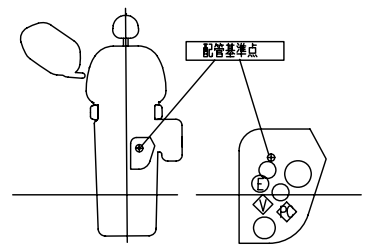
2階平面図(改修) S=1/100

— 工事対象外の部分を示す



歯科機器電気設備

①	診療ユニット用	AC100V 1.5KVA
②	診療ユニット用	AC100V 1.5KVA
③	診療ユニット用	AC100V 1.5KVA
④	診療ユニット用	AC100V 1.5KVA
⑤	X線装置用	AC100V 2.0KVA
⑥	オートクレープ用	AC100V 1.3KVA
⑦	X線画像PCサーバー	AC100V 1.5KVA
⑧	受付PC、プリンター	AC100V 1.5KVA
⑨	技工室小器機用	AC100V 1.2KVA
⑩	パキュームモーター	AC100V 0.75KW
⑪	コンプレッサー用	三相200V 1.5KW

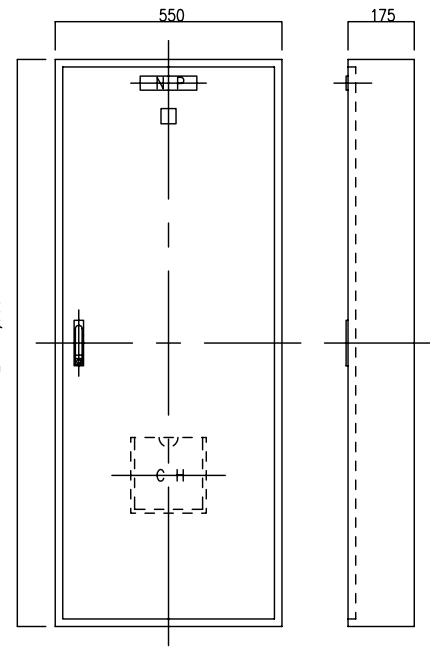
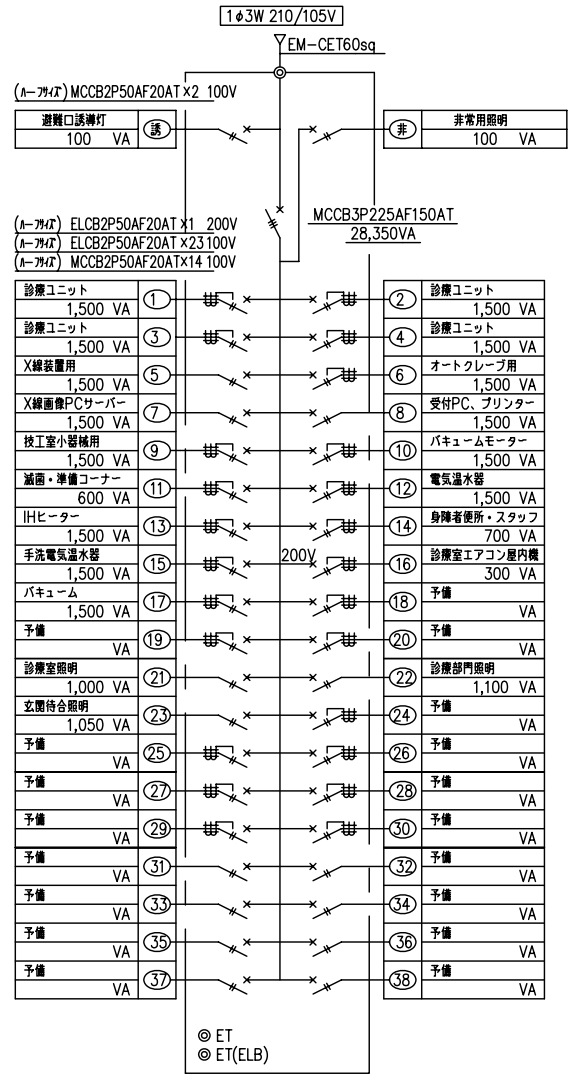


電源 100V1.5KW単独回路 (D種接地工事)
コンセント不要 L=500以降接続は医療機器工事

予備コンセントの位置と数は御施主に確認の事
コンセントは全て3P用を設置願います
参考 ②E パナソニック WN-1512K
③E パナソニック WF-2320WK
④E パナソニック WF-1420WK

* 機械室内コンプレッサー等の電源は遠隔操作により診療室からON、OFF出来る仕様に
* X線室ドア上部に「使用中」表示灯設置のこと (電気工事)

* 工事範囲は左記設備図及び上記処理を建築側工事とし以降接続は医療機器側工事とする。



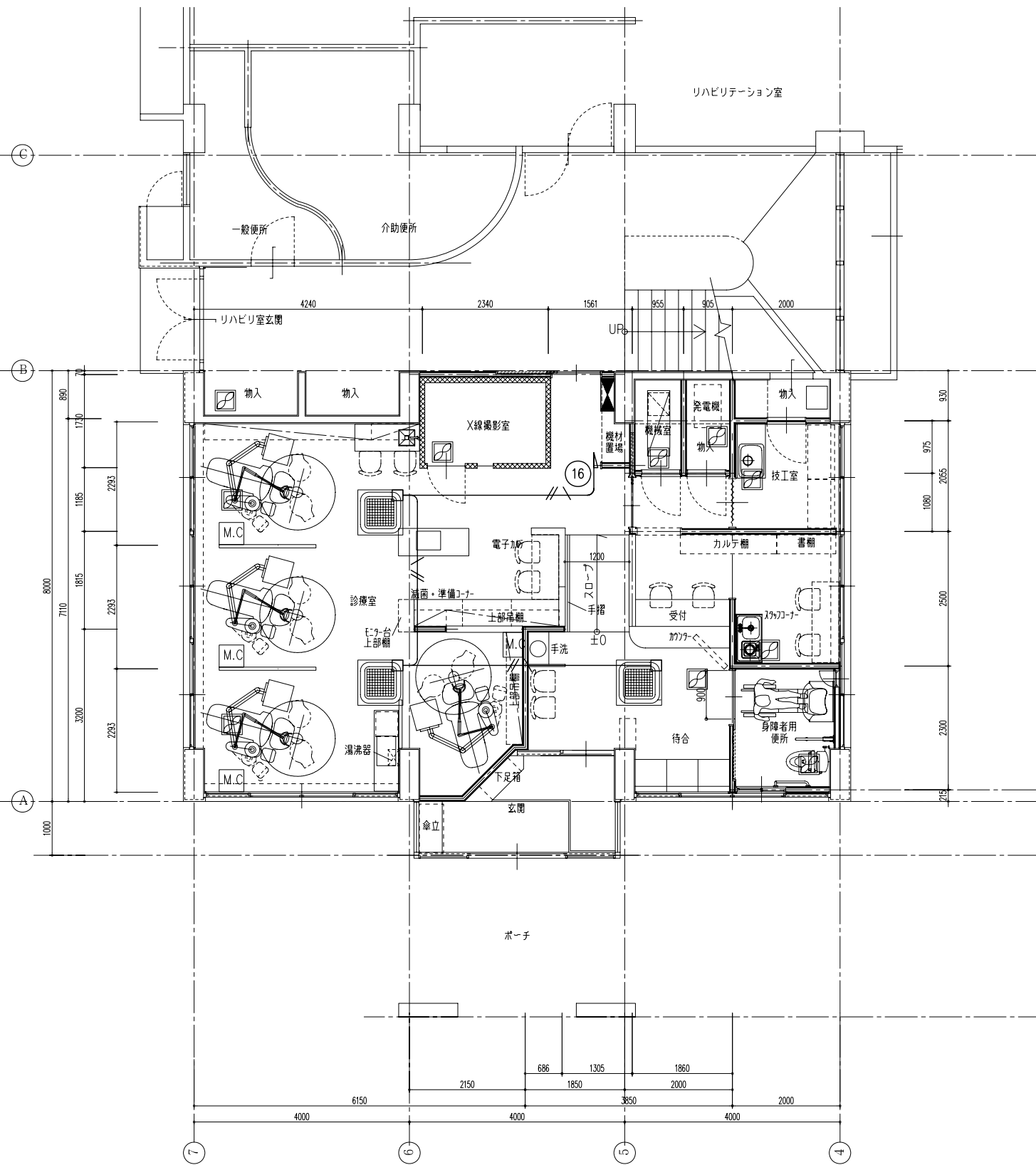
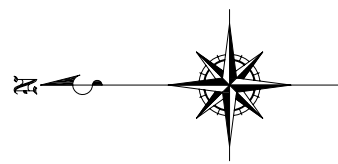
電灯分電盤参考姿図
(L-1)露出型銅板製扉鍵付

電灯分電盤(L-1)結線図

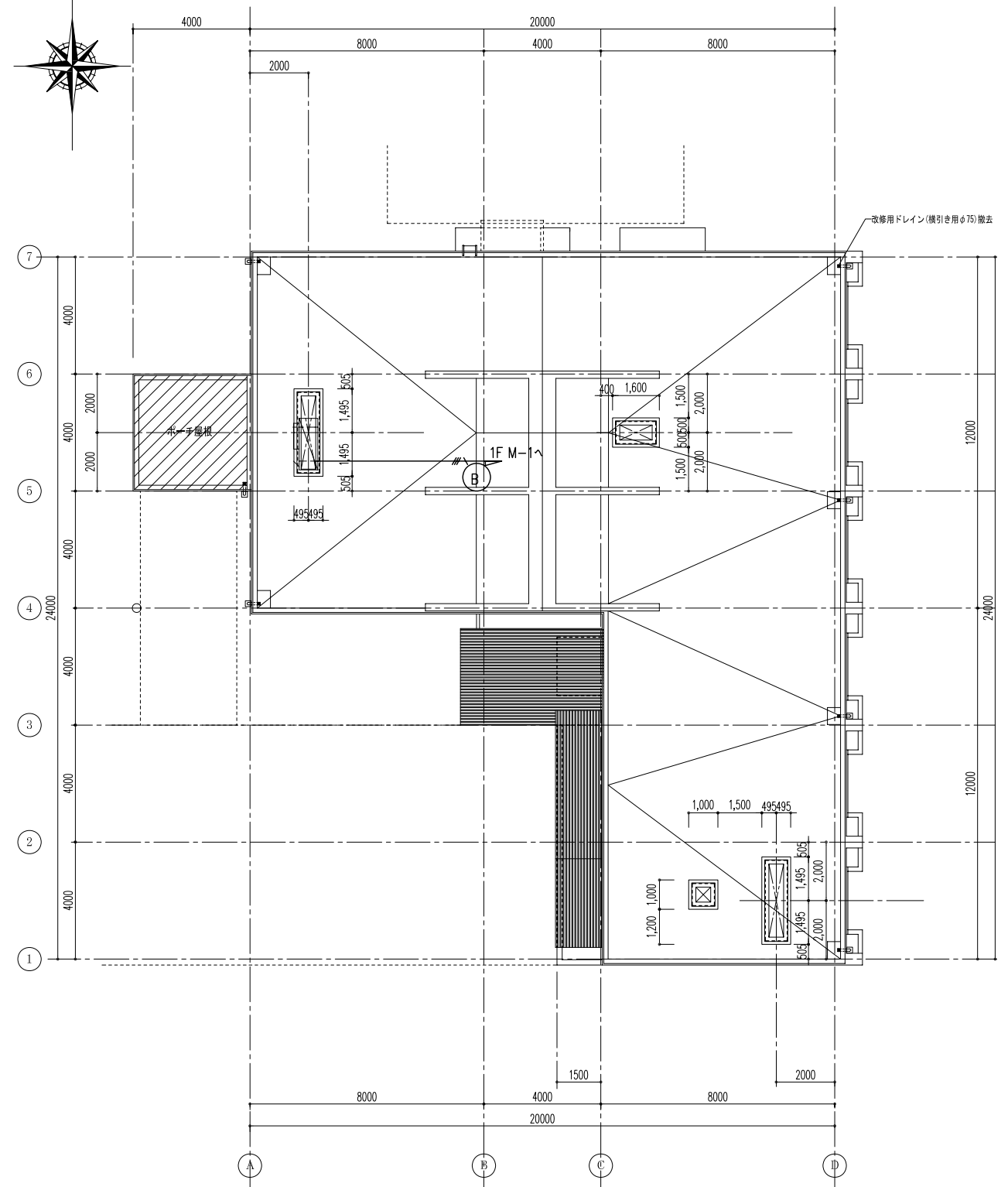
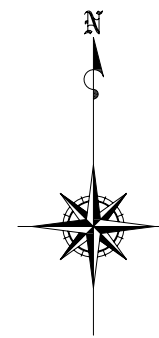
(註) 図中特記なき配管配線は下記参照とする。
(ケーブル: 天井内コブ配線)

設備工事	記号	ケーブル配線	壁内・コブコート内
電灯コンセント設備	—▲—	EM-EEF2.0-3C (PF22)	
	—■—	EM-CE5.5sq-4C (PF22)	

1階平面図 S=1/50



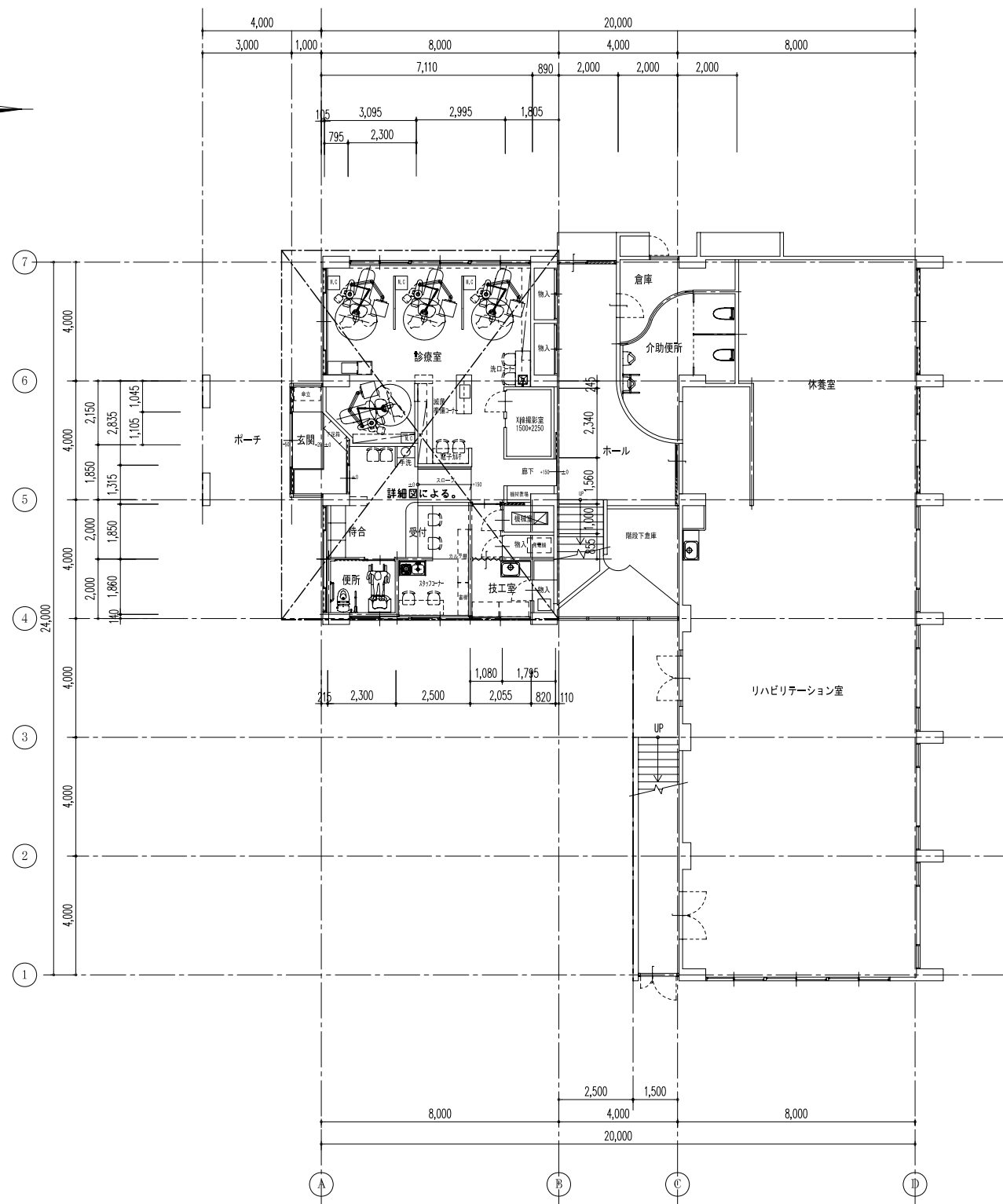
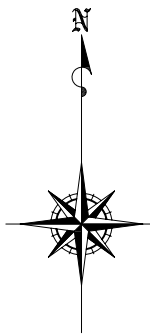
1階平面図 S=1/50



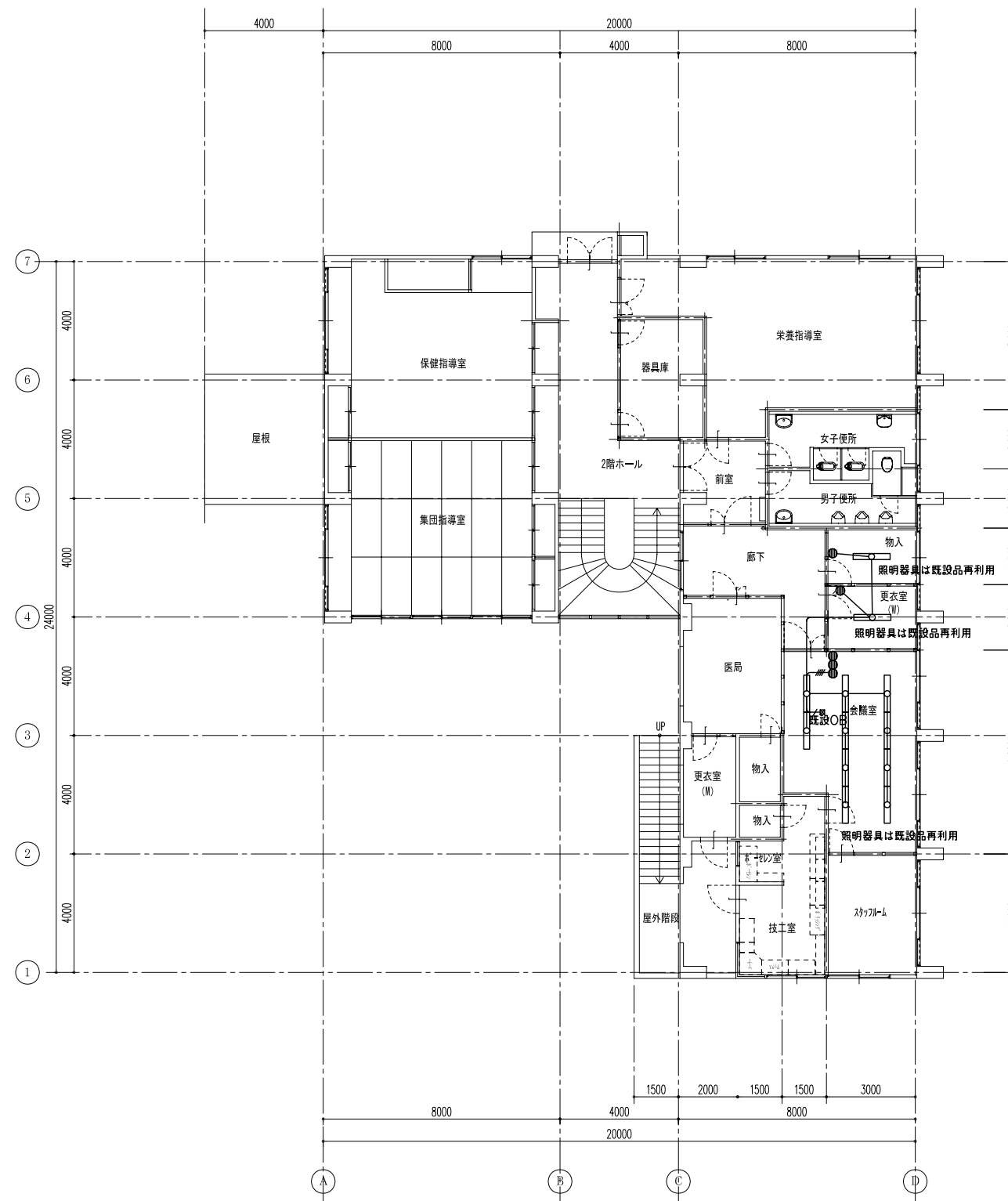
屋根伏図 (改修) S=1/100

(註) 図中特記なき配管配線は下記参照とする。
(ケーブル: 天井内ケーブル配線)

設備工事	記号	ケーブル配線	壁内ケーブル内
電灯コンセント設備	—▲—	EM-EEF2.0-3C (PF22)	
	—■—	EM-CE5.5sq-4C (CP22)	



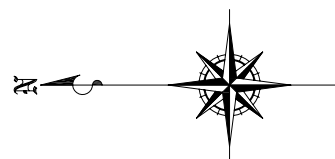
1階平面図 S=1/100



2階平面図(改修) S=1/100

(註) 図中特記なき配管配線は下記参照とする。
(ケーブル: 天井内30mm配線)

設備工事	記号	ケーブル配線	室内・コカーム内
電灯コンセント設置	—	EM-EEF2.0-2C	(PF22)
	—	EM-EEF1.6-2C	(PF22)
	—	EM-EEF1.6-3C	(PF22)
	—	EM-EEF1.6-2Cx2	(PF22)
	—	EM-EEF1.6-2C+3C	(PF22)
	—	EM-EEF1.6-3Cx2	(PF22)
	—	EM-EEF1.6-3C+2Cx2	(PF22)



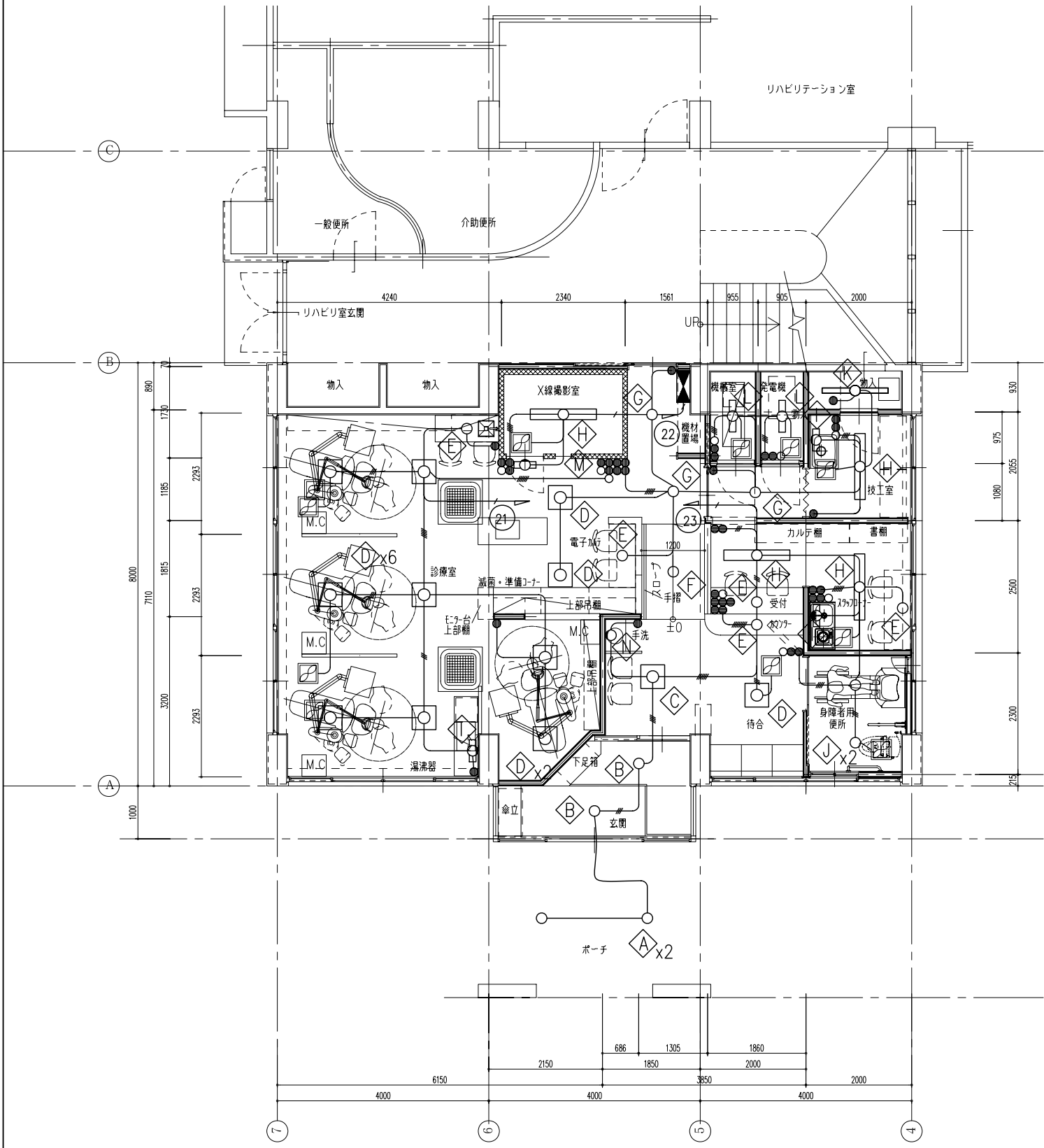
(注) 図中特記なき配管配線は下記参照とする。
(ケーブル: 天井内300φ配線)

設備工事	記号	ケーブル配線	壁内ケーブル内
電灯コンセント設備	—	EM-EEF2.0-2C	(PF22)
	—	EM-EEF1.6-2C	(PF22)
	—	EM-EEF1.6-3C	(PF22)
	—	EM-EEF1.6-2Cx2	(PF22)
	—	EM-EEF1.6-2C+3C	(PF22)
	—	EM-EEF1.6-3Cx2	(PF22)
	—	EM-EEF1.6-3C+2Cx2	(PF22)

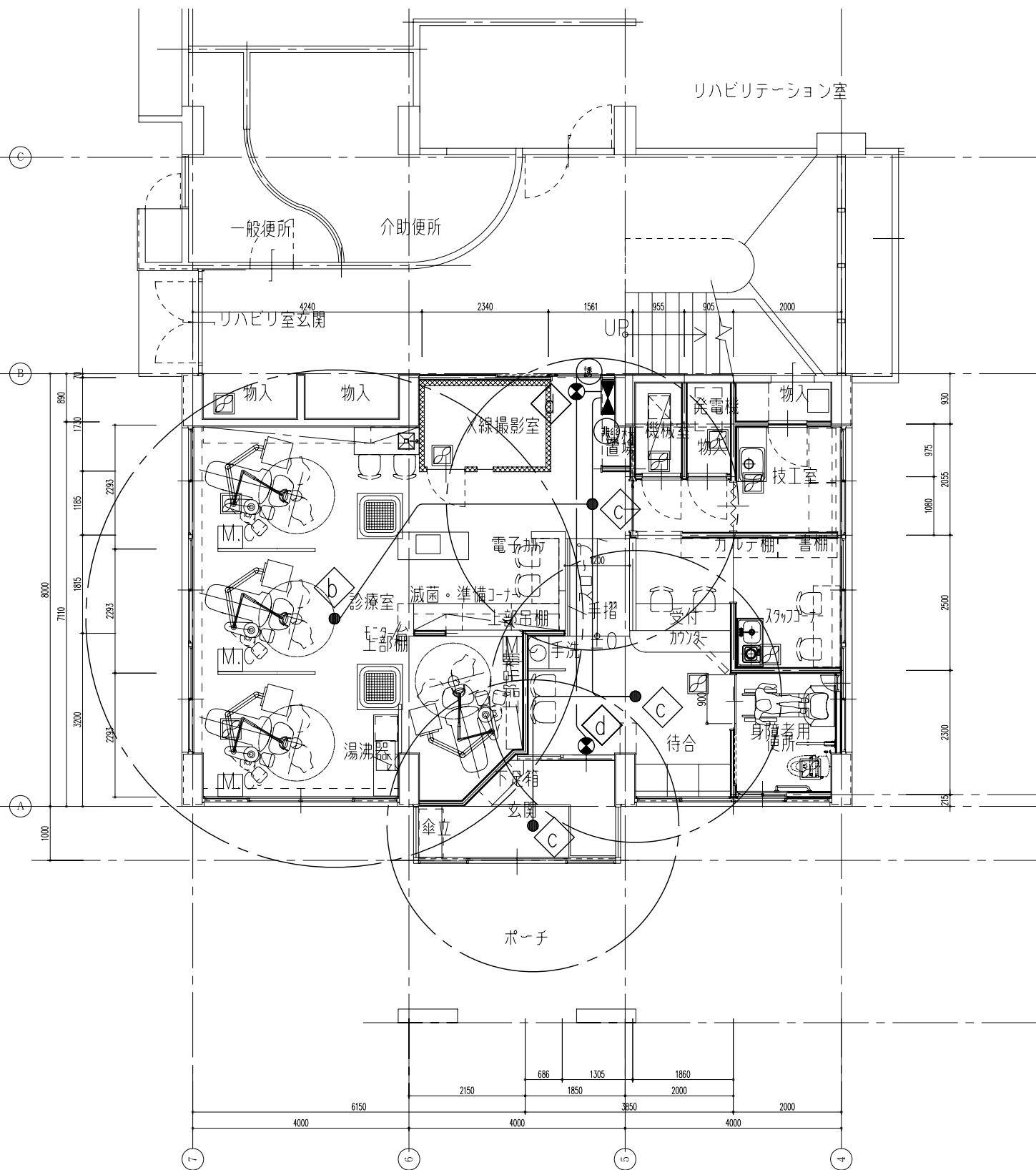
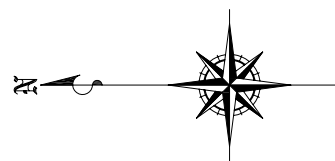
- (注) 1. 照明器具の内装光灯32W以上は省電力型瞬間点灯方式とし、20W以上は高力率型とする。
2. 蛍光灯16W×2灯以上の器具は、全て構造体より直接支持する事により堅固に取付施工の事。
3. 器具メーカー型番は参考とし、同型番器具又は同等品以上の器具を使用する事。
4. 施工に先立ち器具製作図又は承諾書を提出し監理者又は依頼者の承認を得て製作施工する事。
5. 照明器具には、図中記載なくとも蛍光灯32W以上、ラビットスタート型蛍光灯、HID灯等の放電灯器具、対地電圧が150Vを超える放電灯以外の器具及び防水型器具には第D種接地工事を施す事。

照明器具姿図

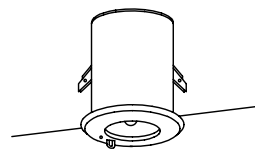
記号	型式	器具仕様 参考品番
A	FHT16WX1	ダウンライト FRF8RP-H161
B	FHT24WX1	ダウンライト FRF8RP-H241
C	FHP32WX3	埋込下面ルーバ (埋込配線型) FRL11-P323
D	FHP45WX4	埋込下面ルーバ (埋込配線型) FRL11-P454
E	FHT32WX1	ダウンライト (埋込配線型) FDS2-FRS21-H321
F	FHT24WX1	ダウンライト (埋込配線型) FDS2-FRS21-H241
G	FHT42WX1	ダウンライト (埋込配線型) FDS2-FRS21-H421
H	FHP32WX2	富士型 (埋込配線型) FSS9-322
I	FL 20WX1	流し元灯 (タカエ電工) HW2878 EP
J	FHT24WX1	ダウンライト FRF8RP-H321
K	FHP32WX1	富士型 (埋込配線型) FSS9-321
L	FHP16WX2	富士型 (埋込配線型) FSS9-162
M	FL10WX1	標示灯 パナソニック FA11910
N	EFD15WX1	ブラケット パナソニック HEW1179



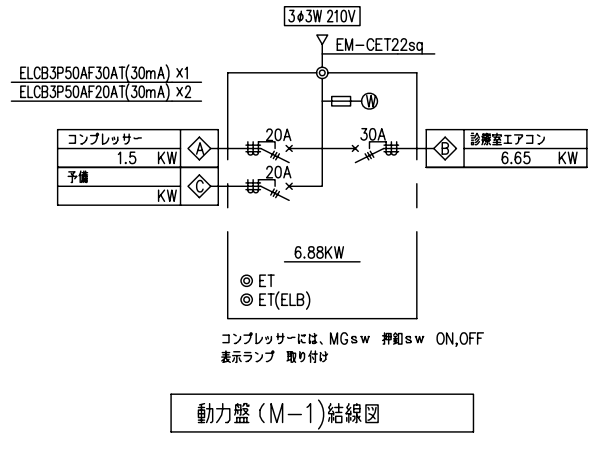
1階平面図 S=1/50



1階平面図 S=1/50

 電池内蔵 φ100	a	器具取付高さ	6.0m	7.0m	8.0m	
		単体配置	A1	6.9	7.7	7.3
		直線配置	A2	14.7	16.7	18.6
		四角配置	A3	12.2	12.9	14.2
	b	器具取付高さ	2.4m	2.6m	3.0m	
		単体配置	A1	4.4	4.6	4.7
		直線配置	A2	9.6	10.2	11.2
		四角配置	A3	7.6	8.0	
	c	器具取付高さ	2.4m	2.6m	3.0m	
		単体配置	A1	3.1	2.7	1.5
		直線配置	A2	7.6	7.9	7.1
		四角配置	A3	6.4	6.8	7.1
d	LED C級 避難口誘導灯片面型					
	パナソニック FA10302+FK10000					

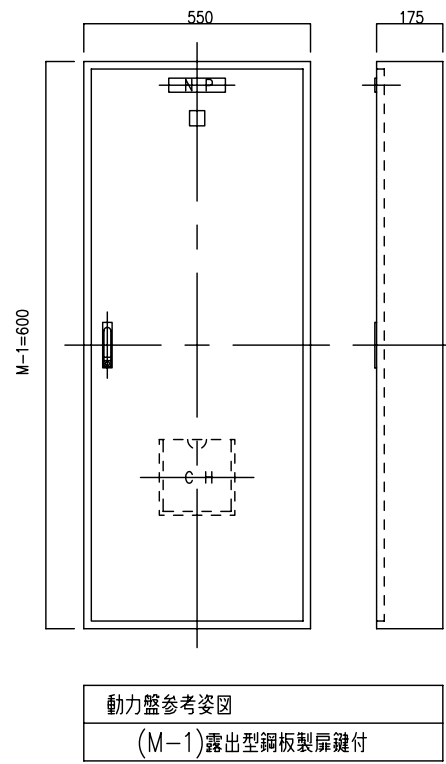
a	IL 30W×1 (非常灯用LED球)	埋込型非常照明(電池内蔵) (パナソニック電工): LB93632(高天井用)
b	IL 13W×1 (非常灯用LED球)	埋込型非常照明(電池内蔵) K1-IRS4-JE13
c	IL 9W×1 (非常灯用LED球)	埋込型非常照明(電池内蔵) K1-IRS4-JE9



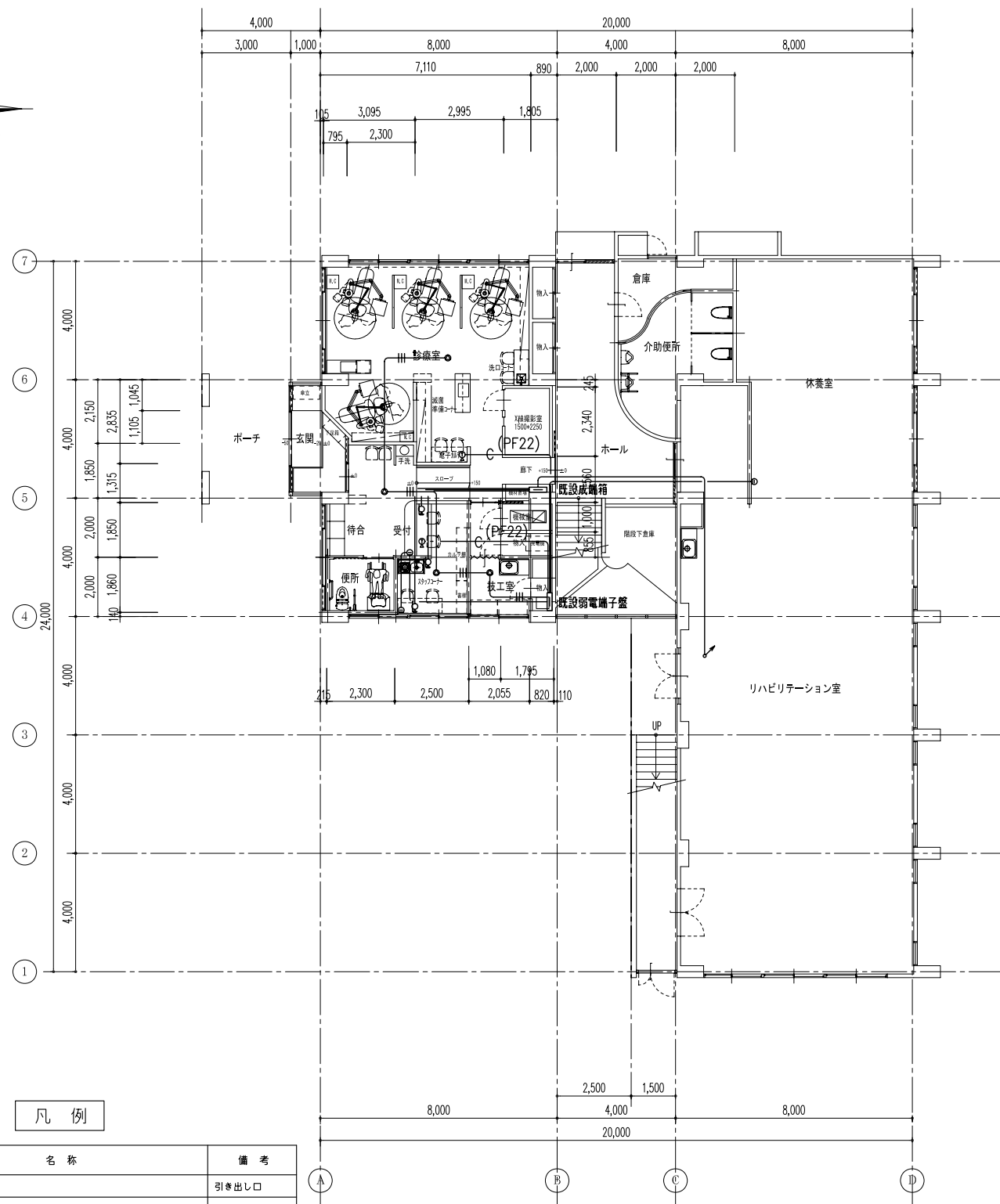
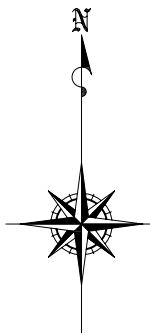
動力盤(M-1)結線図

(注) 図中特記なき配管配線は下記参照とする。
(ケーブル: 天井内コブコリ配線)

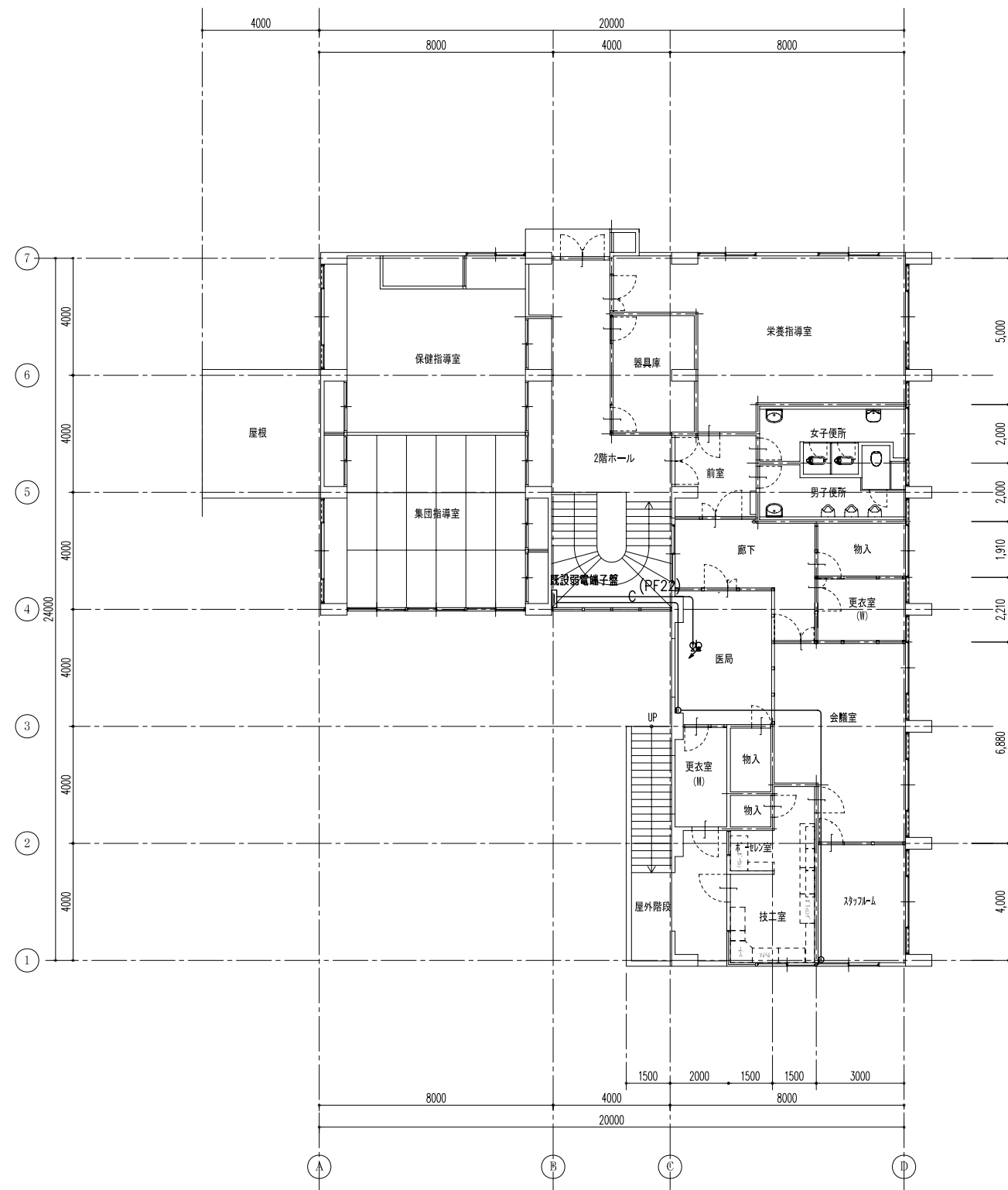
設備工事	記号	ケーブル配線	壁内コブコリ内
電灯コンセント設備	—	EM-EEF2.0-3C (PF22)	
	—	EM-CE5.5sq-4C (PF22)	



動力盤参考図
(M-1)露出型鋼板製扉鍵付



1階平面図 S=1/100



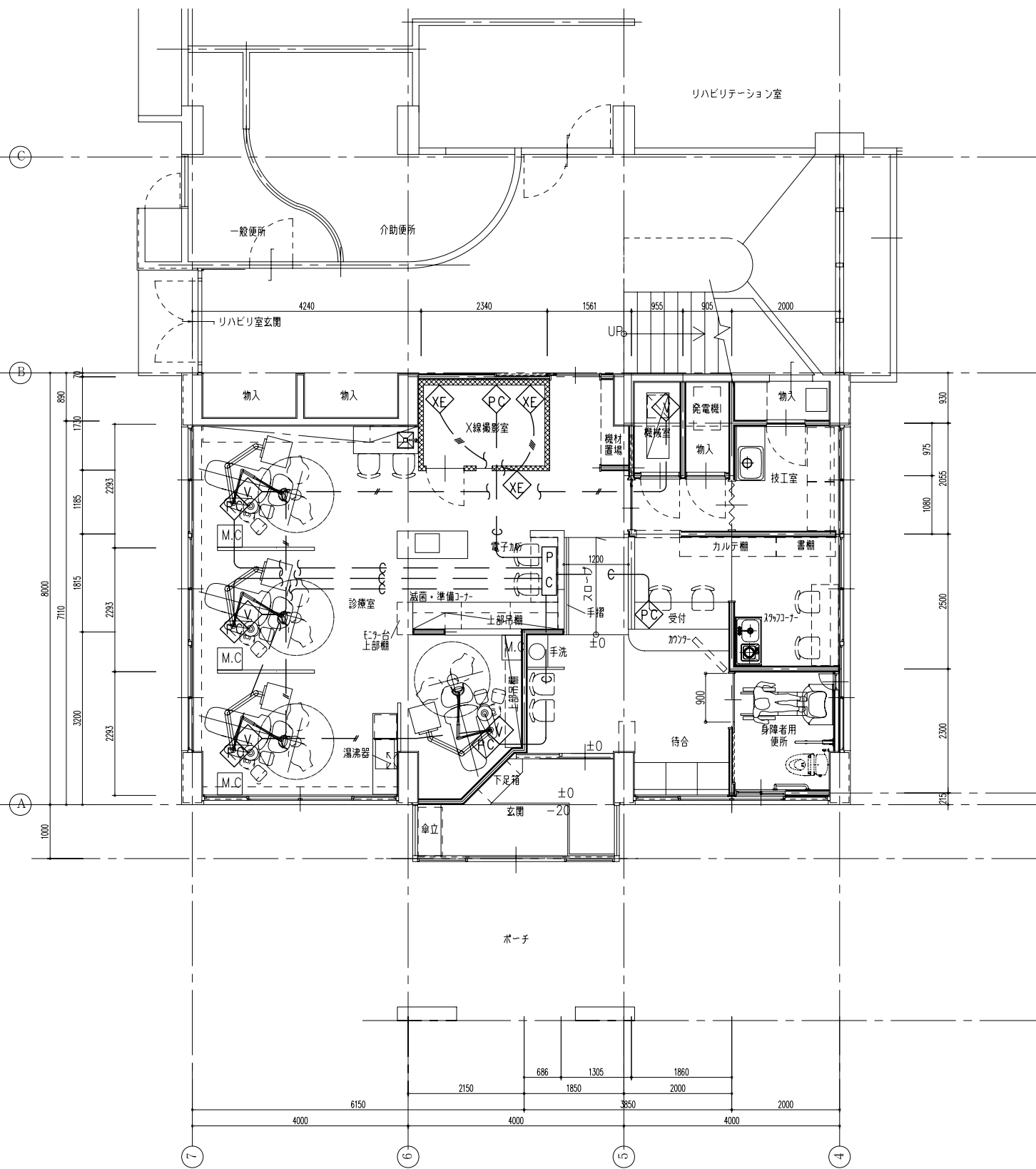
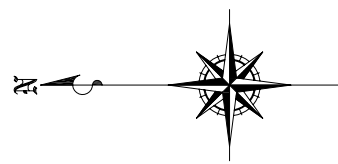
2階平面図(改修) S=1/100

凡例

記号	名称	備考
○	電話受け口	引き出し口
□	LAN受け口	8P 取り付け共
●	天井埋め込みスピーカー	3W 取り付け共
◎	テレビ受け口	取り付け共

(註) 図中特記なき配管配線は下記参照とする。
(ケーブル: 天井内300φ配線)

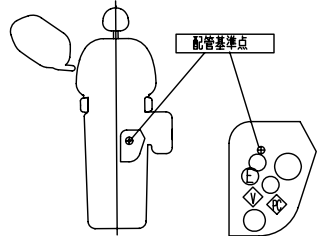
設備工事	記号	ケーブル配線	壁内ケーブル内
電話設備	—	C (空配管)	(PF22)
LAN設備	—	UTP Cat6E 4P	(PF22)
拡声設備	—	EM-HP1.2-3C	(PF22)
TV設備	—	EM-S-5C-FB	(PF22)



1階平面図 S=1/50

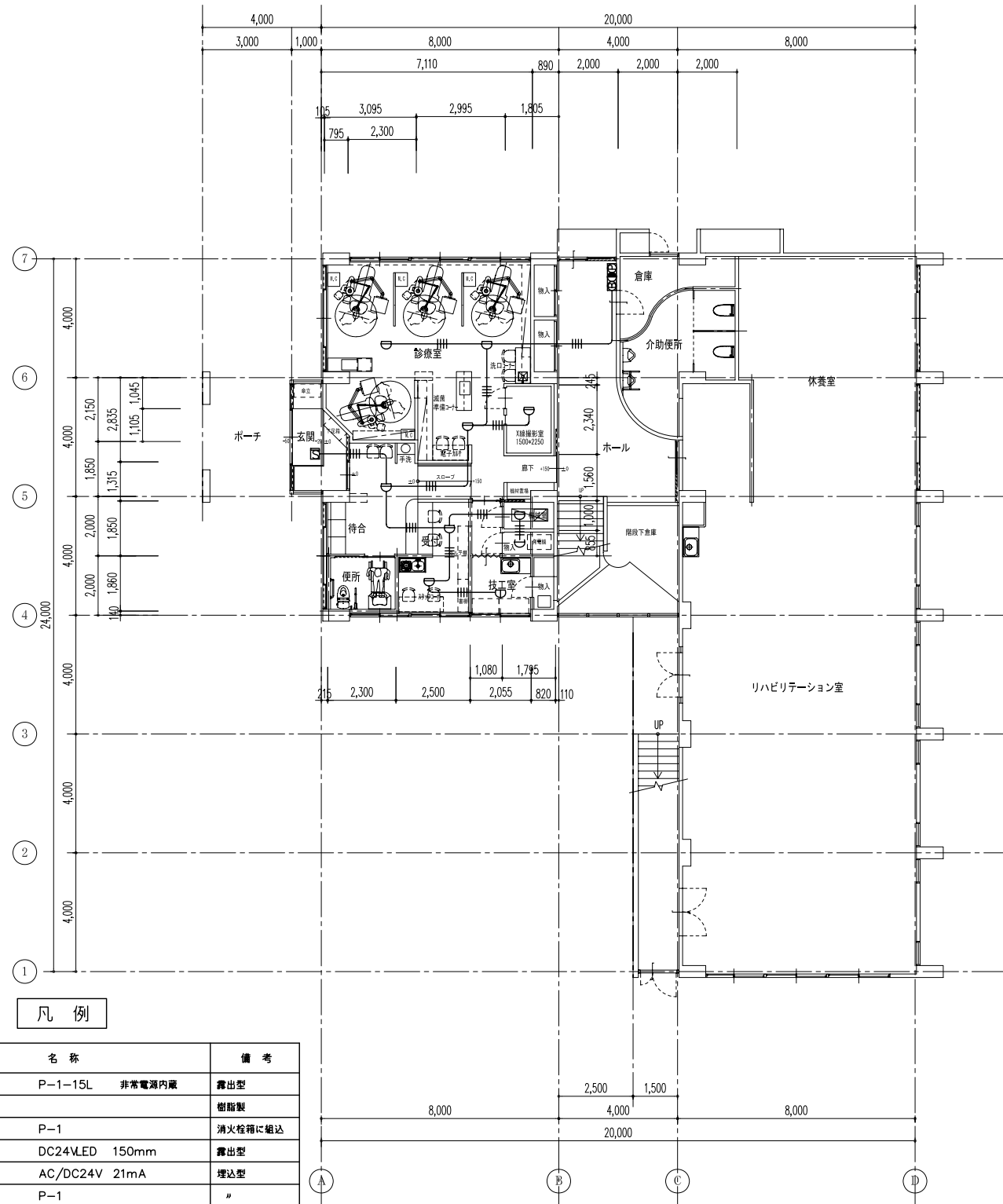
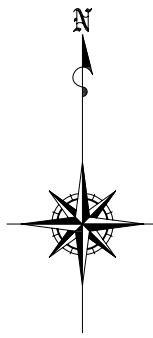
歯科機器電気設備

◇	エックス線操作線 VCTF J. 25x 4 (PF管 22)
◇	パキウム操作線 VCTF J. 25x 2 (PF管 16)
◇	コンピューター用LAN配管 (PF管 28)

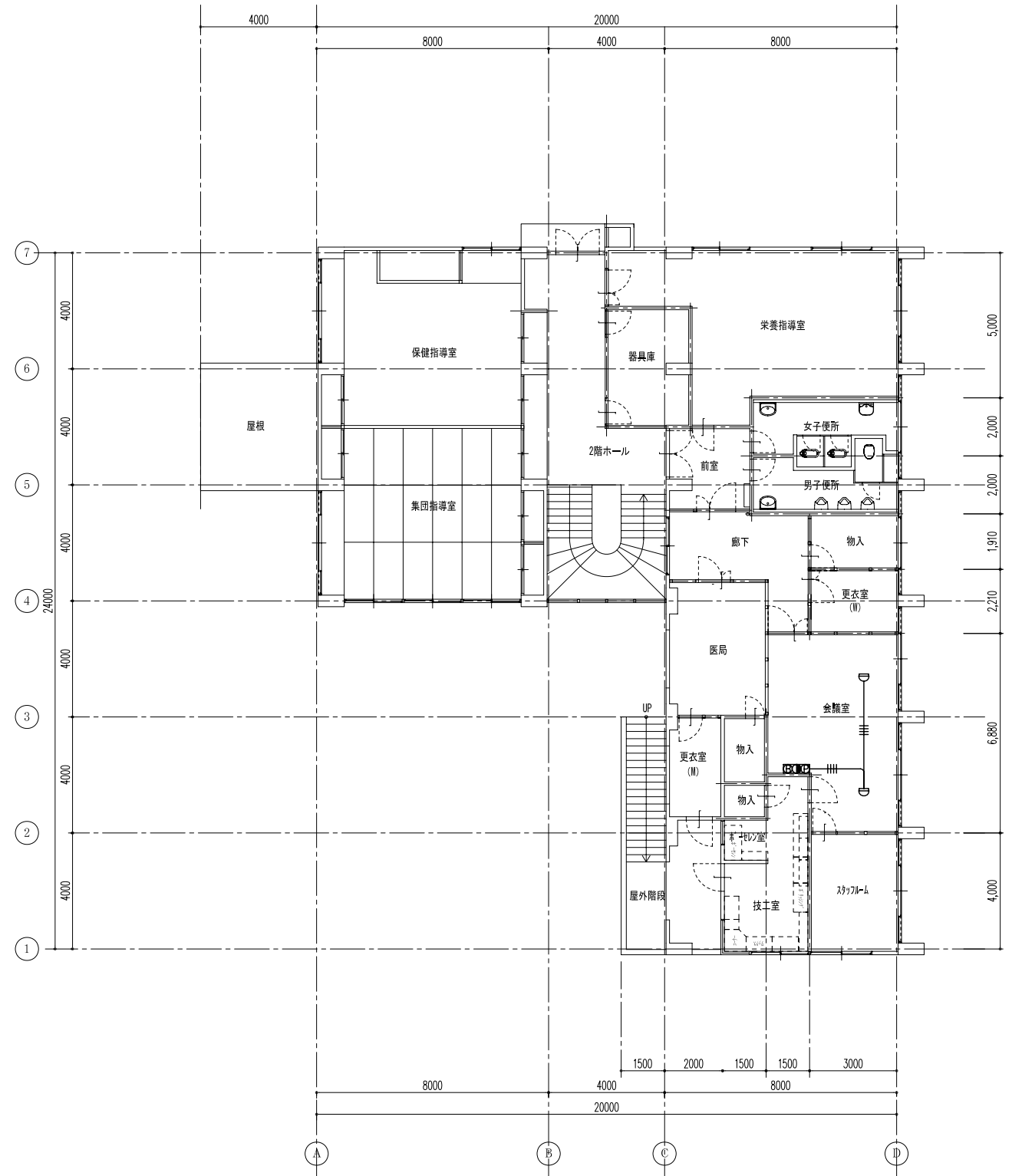


⊕	電源 100V1.5KW単相回路(第三種接地工事) コンセント不要 L=500以降接続は医療機器工事
◇	パキウム用操作線 VCTF1.25x2φ L=500
◇	コンピューター用LAN配管 (CD管 28φ)
◇	X線装置用空配管 (CD管 22φ)

*工事範囲は左記設備図及び上記処理を建築側工事とし
以降接続は医療機器側工事とする。



1階平面図 S=1/100



2階平面図(改修) S=1/100

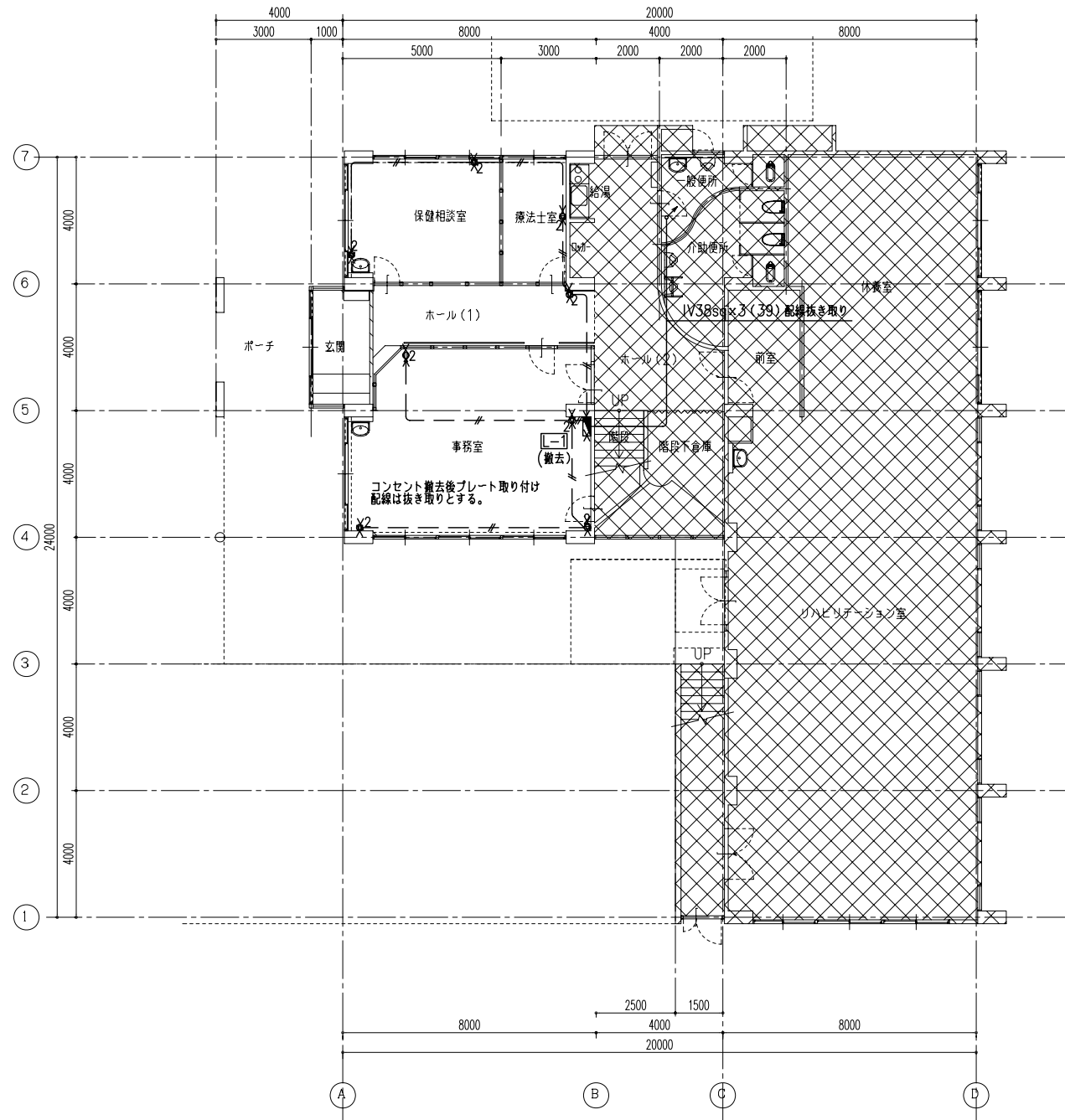
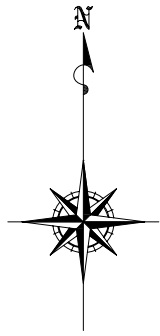
凡例

記号	名称	備考
☒	受信機 P-1-15L 非常電源内蔵	露出型
▽	受信所札	樹脂製
☒	給合盤 P-1	消火栓箱に組込
⊕	電鈴 DC24VLED 150mm	露出型
●	表示灯 AC/DC24V 21mA	埋込型
⊖	発信機 P-1	〃
☒	光電式煙感知器 非審積型 2種	確認ツア付
⊖	差動式火災型 2種	〃
⊖	定温式火災型 70℃ 1種 防水型	〃
⊖	〃 60℃ 1種 特種	〃
∩	終端抵抗	ツア表示
☒	報知区域線	
Ⓝ	報知区域番号 自火報設備	No1 ~ 7

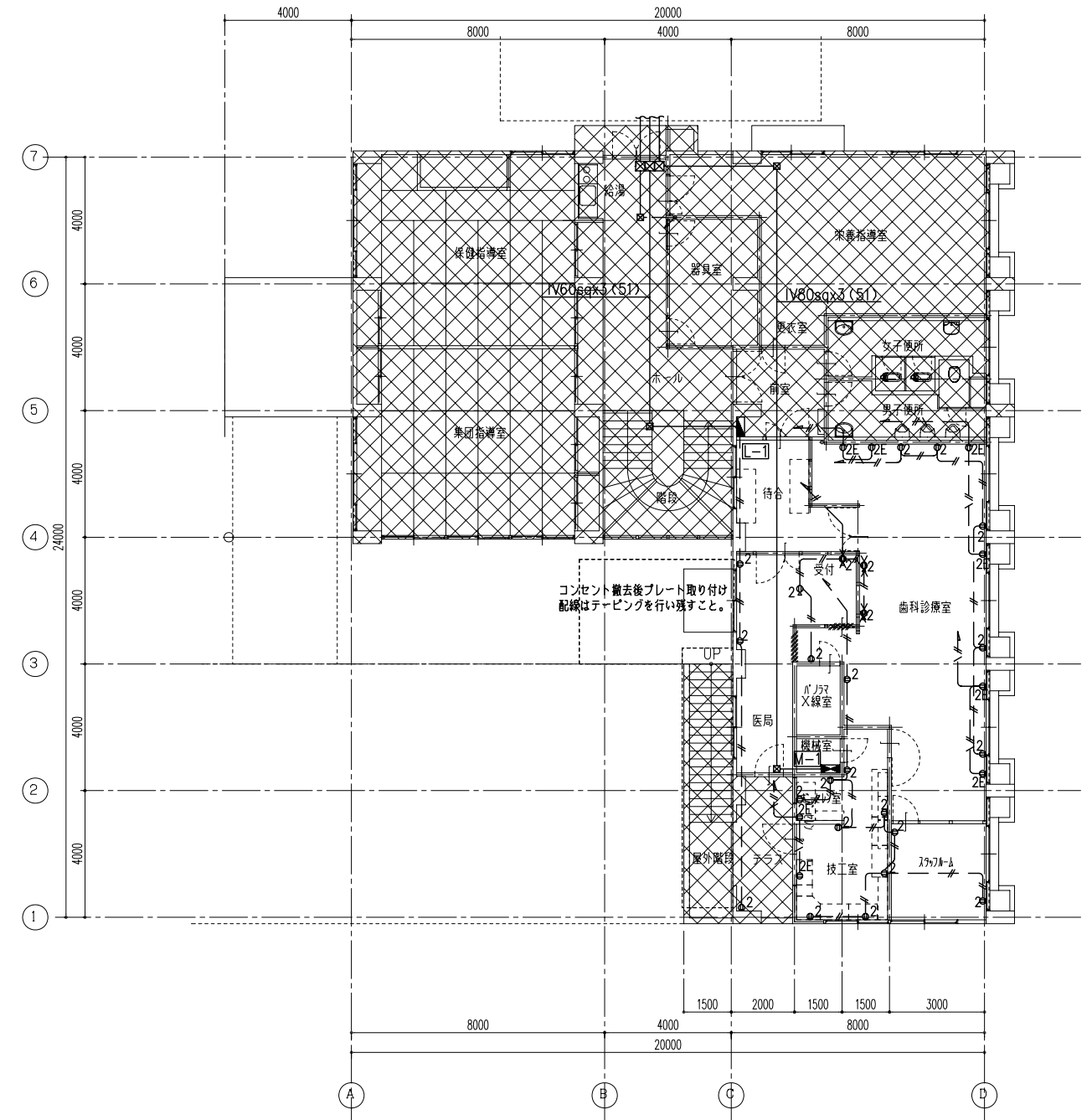
(注) 図中特記なき配管配線は下記参照とする。

(カーブ: 天井内300φ配線)

設備工事	記号	カーブ配線	壁内300φ以内
自火報設備	—	EM-AE1.2-2C (PF16)	
	—	EM-AE1.2-4C (PF16)	
	—	EM-HP1.2-10P (PF22)	



1階平面図(撤去) S=1/100

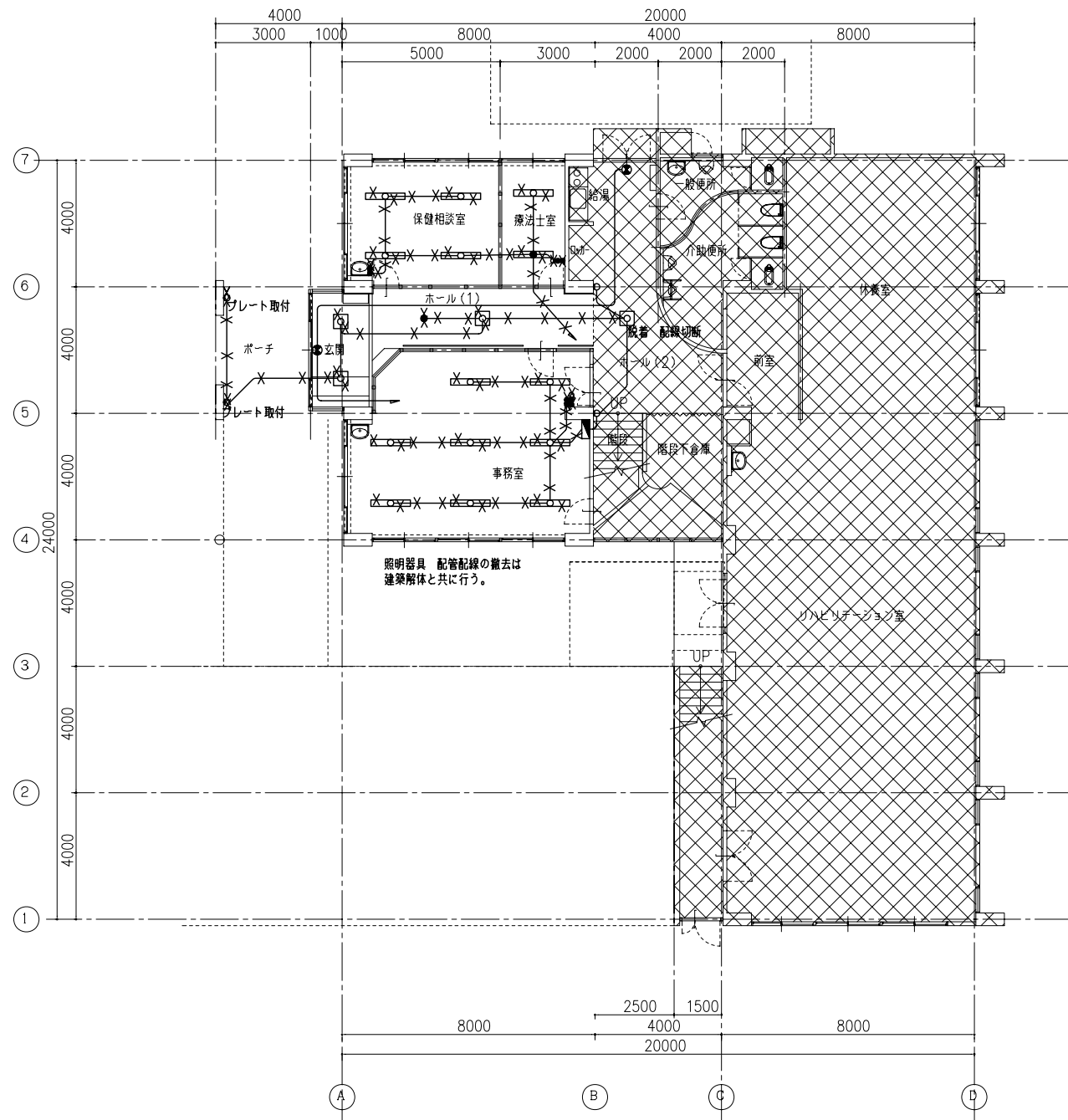
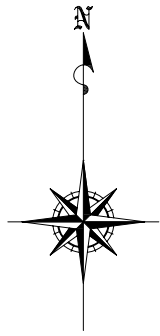


2階平面図(撤去) S=1/100

(註) 図中特記なき配管配線は下記参照とする。
(ケーブル: 天井内コブゴン配線)

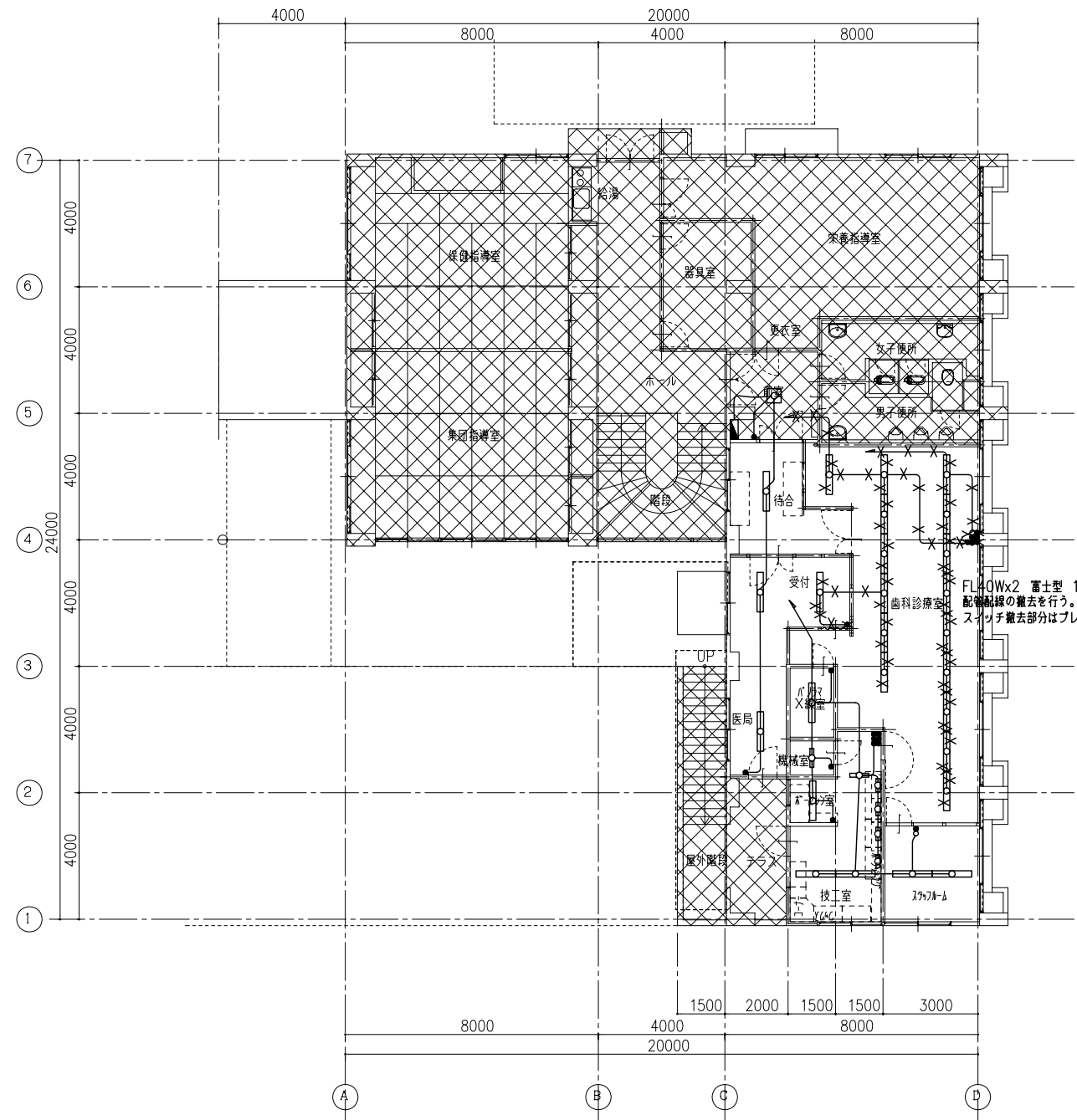
設備工事	記号	ケーブル配線	室内・コブゴン内
電灯コンセント設備	—//—	IV2.0x2	(19)
	—/\—	IV2.0x3	(19)

— 既設部分を示す。
X X X 撤去部分を示す。



照明器具 配管配線の撤去は
建築解体と共に行う。

1階平面図(撤去) S=1/100



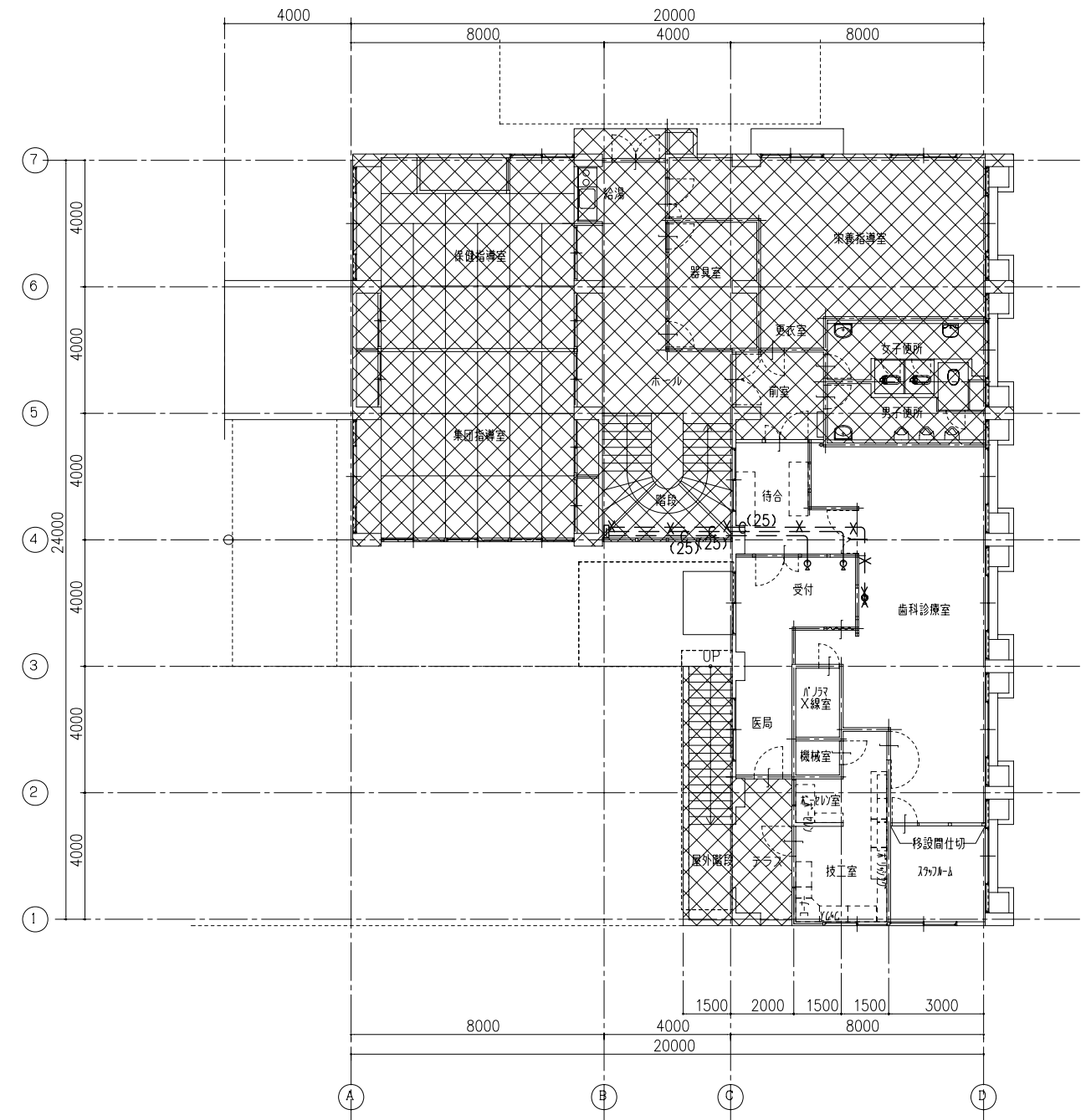
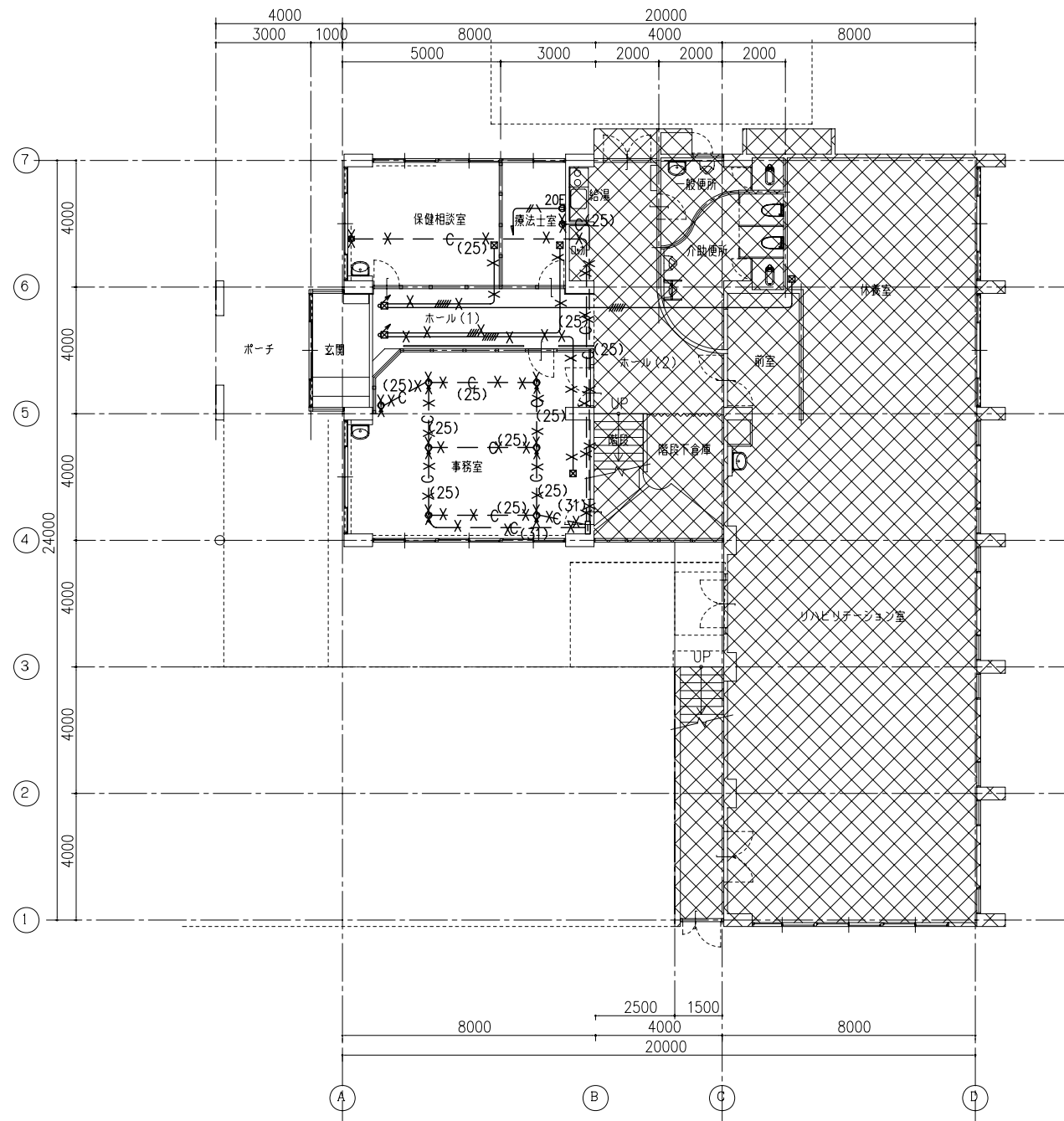
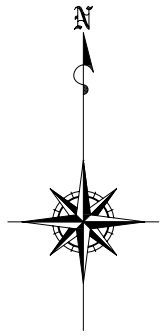
FL40Wx2 富士型 17台取外
配管配線の撤去を行う。
スイッチ撤去部分はプレート取り付け。

2階平面図(撤去) S=1/100

(註) 図中特記なき配管配線は下記参照とする。
(カーブ: 天井内コロン配線)

設工事項	記号	カーブ配線	天井内コロン内
電灯コンセント設備	—	IV2.0x2	(19)
	—	IV1.6x2	(19)
	—	IV1.6x3	(19)
	—	IV1.6x4	(25)
	—	IV1.6x5	(25)
	—	IV1.6x6	(25)
	—	IV1.6x7	(25)

—— 既設部分を示す。
××× 撤去部分を示す。



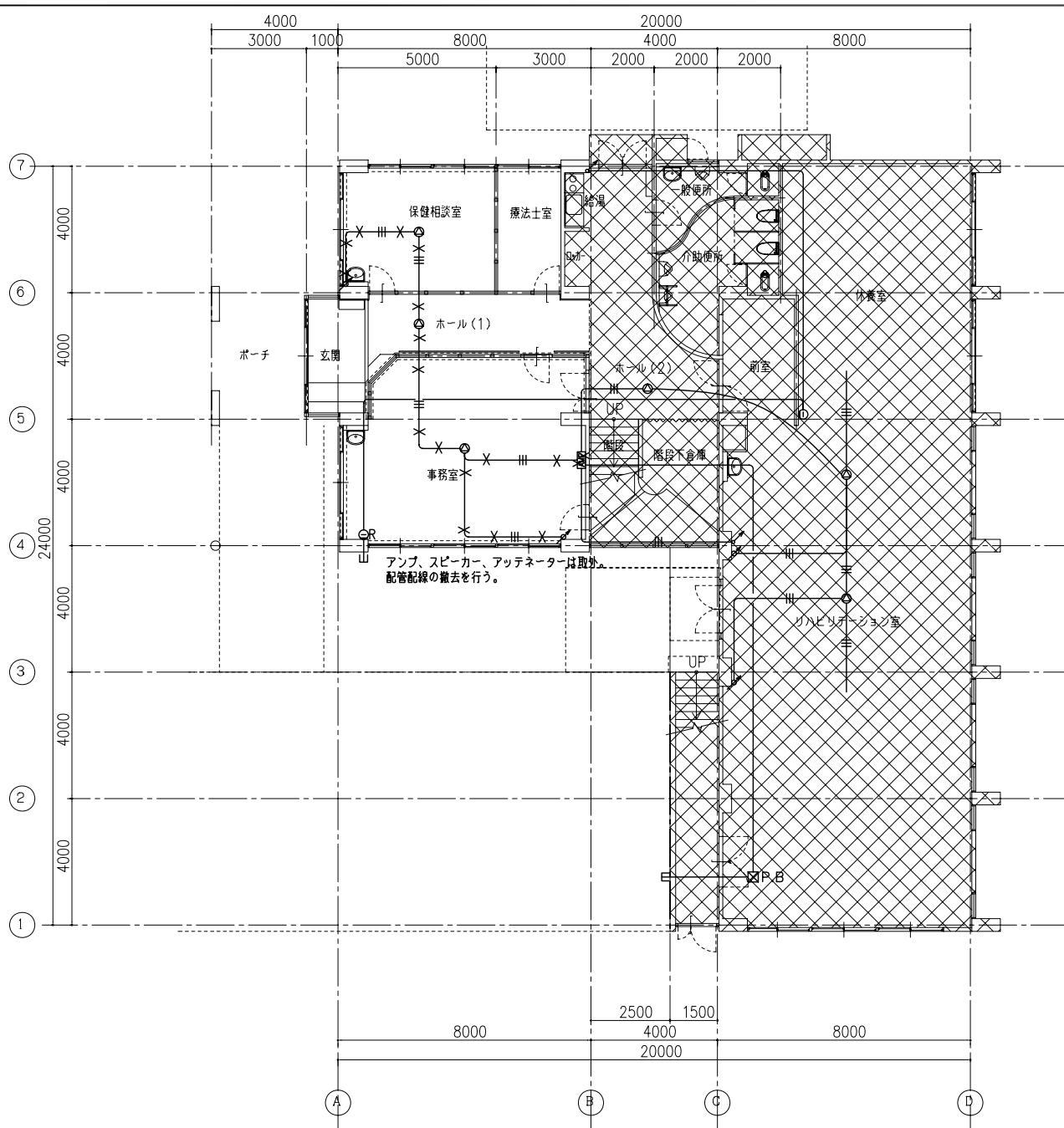
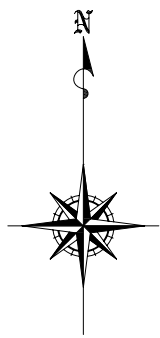
(註) 図中特記なき配管配線は下記参照とする。
(ケーブル: 天井内ロケット配線)

設備工事	記号	ケーブル配線	壁内・コア内
電灯コンセント設備	—	IV2.0x2	(19)
	—	IV1.6x2	(19)
	—	IV1.6x3	(19)
	—	IV1.6x4	(25)
	—	IV1.6x5	(25)
	—	IV1.6x6	(25)
—	IV1.6x7	(25)	

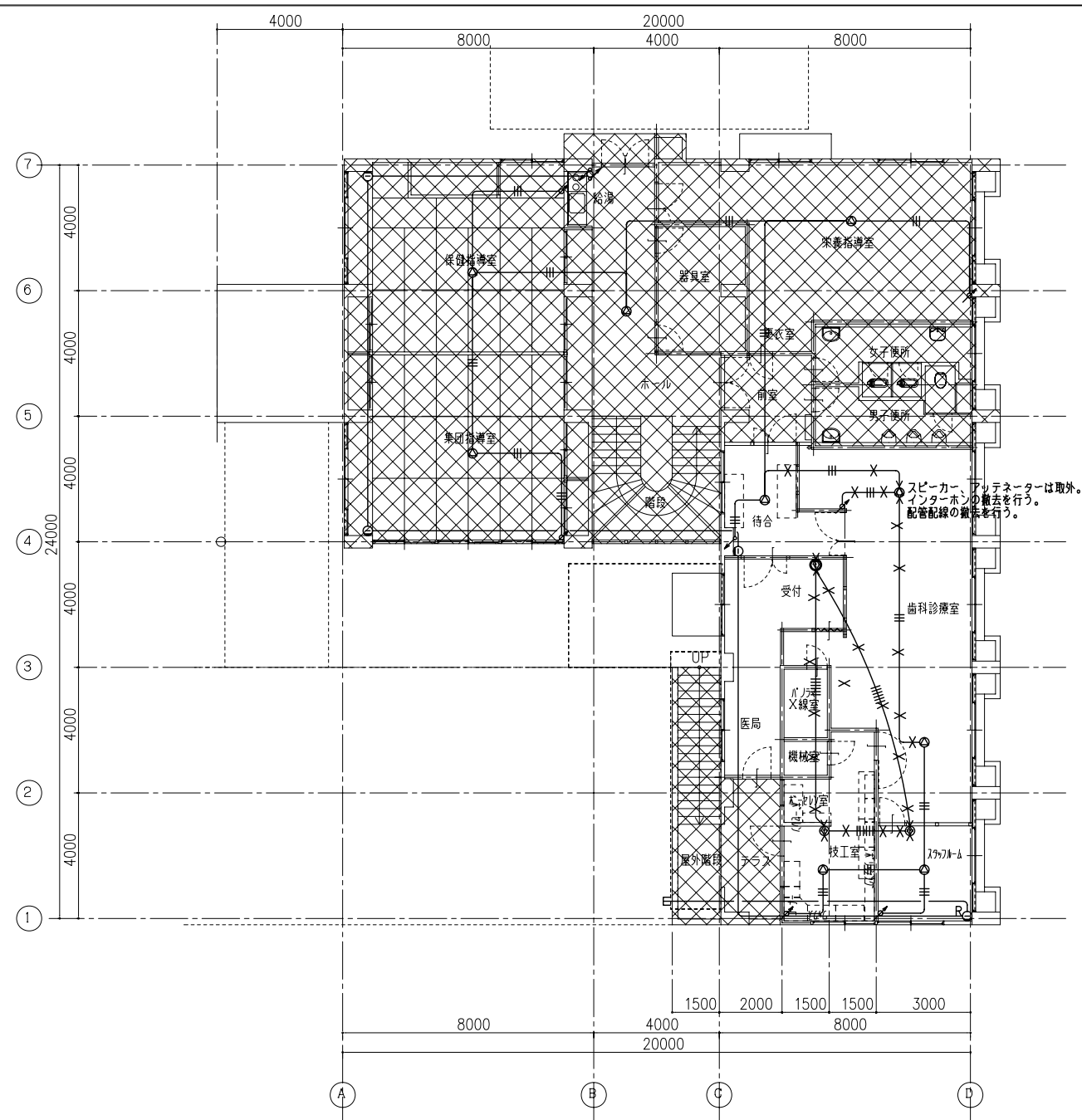
(註) 図中特記なき配管配線は下記参照とする。
(ケーブル: 天井内ロケット配線)

設備工事	記号	ケーブル配線	壁内・コア内
電灯コンセント設備	—	IV2.0x2	(19)
	—	IV2.0x3	(19)

— 既設部分を示す。
× × × 撤去部分を示す。



1階平面図(撤去) S=1/100



2階平面図(撤去) S=1/100

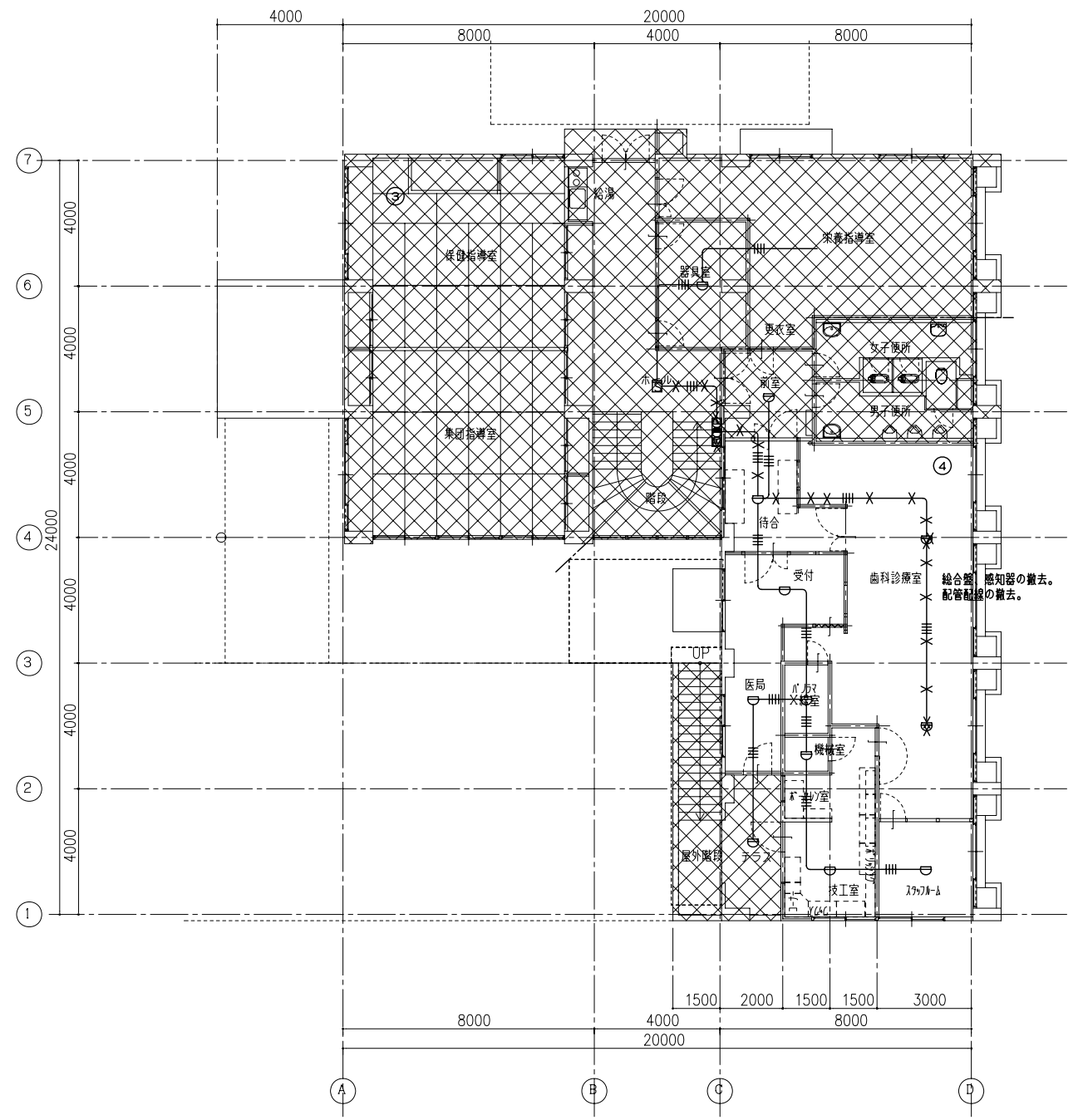
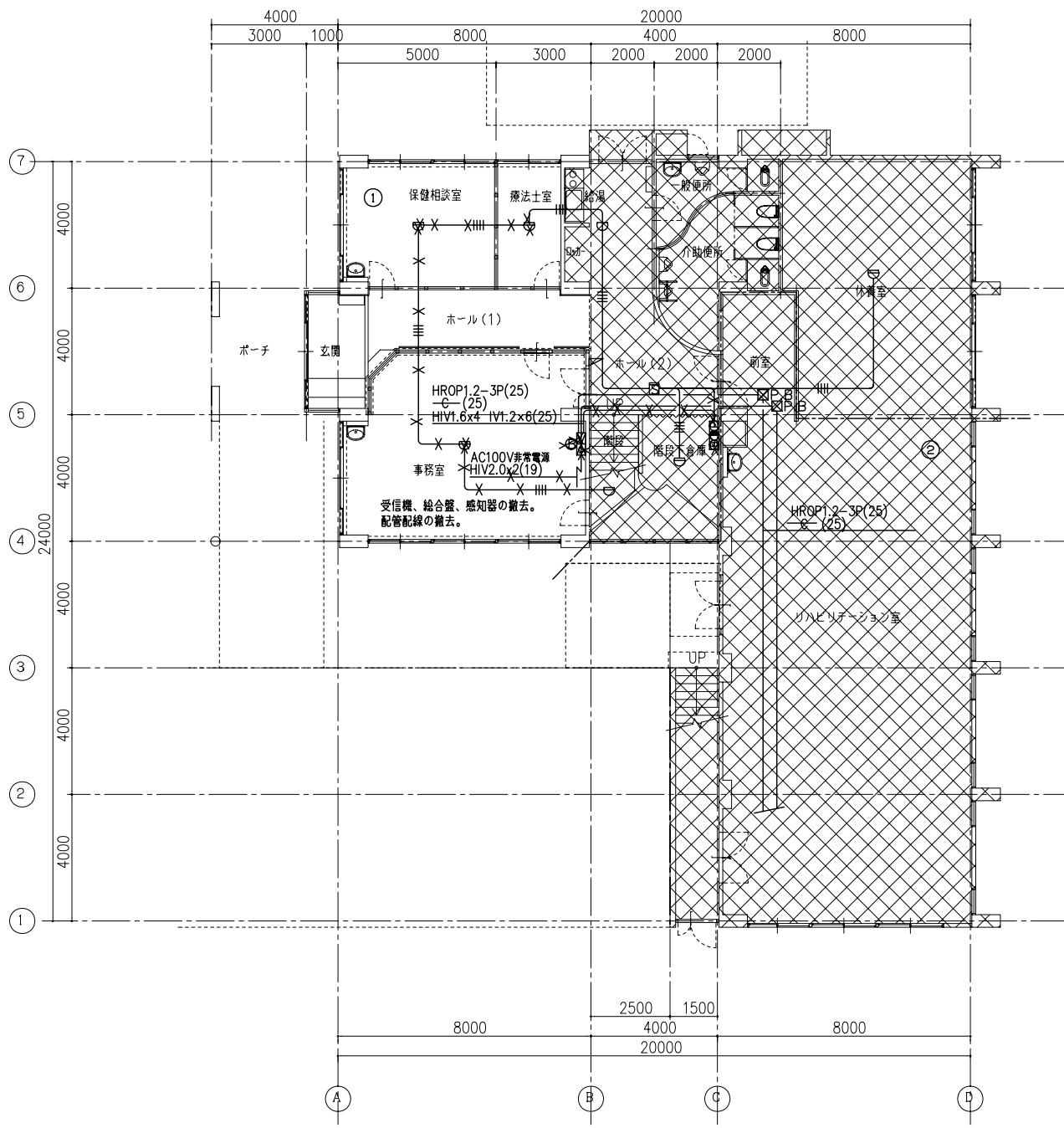
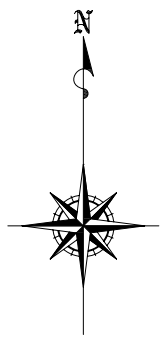
凡例

記号	名称	備考
■	増幅器 60W 業務用・5局用 BGM付	
⊙	天井埋込 スピーカー 3W	
⚡	アッテネーター	
⚡	2分配器	
⊖	整合器 中間	
⊖R	整合器 端末	
⊙	インターホン 親機	
⊙	インターホン 子機	
—	電線路	壁内立ち上げ配管を表す
—	"	隠ぺい配管工事
⊠ P.B	プルボックス	

(註) 図中特記なき配管配線は下記参照とする。

設備工事	記号	ケーブル配線	壁内・天井内
非常放送設備	— —	HIV1.2x2	(19)
	— —	HIV1.2x3	(19)
テレビ共聴設備	—	5C-BVF	(19)
インターホン設備	— —	IV1.2x6	(19)

—— 既設部分を示す。
 X X X 撤去部分を示す。



凡例

記号	名称	備考
⊗	受信機 P-2-5L 非常電源内蔵	露出型
▽	受信所札	樹脂製
⊞	総合盤 P-2	消火栓箱組込型
⊕	電鈴 DC24VLED 150mm	露出型
●	表示灯 AC/DC24V 21mA	埋込型
⊖	発信機 P-2	〃
⊞	光電式煙感知器 非蓄積型 2種	確認ツア付
⊞	差動式熱感知器 2種	〃
⊞	定温式熱感知器 70℃ 1種 防水型	〃
⊞	〃 60℃ 特種	〃
⊞	終端抵抗	ツア表示
⊞	報知区域線	
⊞	報知区域番号 自火報設備	No1 ~ 4
—	電線路 壁内立ち上げ配管を表す	
—	〃 廊下配管工事	
⊞ P.B	プルボカ	

1階平面図(撤去) S=1/100

2階平面図(撤去) S=1/100

(註) 図中特記なき配管配線は下記参照とする。

設備工事	記号	ケーブル配線	壁内・コンクリート内
自火報設備	— II —	IV1.2x2	(19)
	— IIII —	IV1.2x4	(19)

— 既設部分を示す。
 X X X 撤去部分を示す。

機械設備工事特記仕様書

1 工事概要
1.1 建築概要
1.2 工事概要
1.3 工事科目

【特記事項】
1 一般事項
1.1 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁事務部の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）平成二十二年版」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築設備工事標準仕様書（機械設備工事編）平成二十二年版」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準仕様書（機械設備工事編）平成二十二年版」による。

2 特記事項
項目及び特記事項は、●印をついたものを本仕様書に適用する。ただし、●印のない場合は、※印を適用する。

●設備機材等
●機材の承認
●機材の品質・性能証明
●グリーン調達適合品の選定
●現場代理人
●品質保証者
●施工用電力・水その他
●官公署への手続き
●工事用機材
●監督員事務所
●建設副産物の処理及び建設発生土の処理

●工事関係書類
●進行報告
●工事器具
●完成図書
●製作等
●部品及び予備品
●検査報告
●耐震施工

●一般用弁
●フレキシブルジョイント
●弁駆動機
●弁駆動機

●配管
●配管
●配管
●配管

●配管
●配管
●配管
●配管

●配管
●配管
●配管
●配管

●配管
●配管
●配管
●配管

●ダクトの工法
●ダクトの分岐方法
●配管材料
●配管材料
●配管材料

●換気設備
●換気設備
●換気設備
●換気設備

●換気設備
●換気設備
●換気設備
●換気設備

●換気設備
●換気設備
●換気設備
●換気設備

●換気設備
●換気設備
●換気設備
●換気設備

●換気設備
●換気設備
●換気設備
●換気設備

別表 1 付属品・予備品
●工具類
●材料類
●部品類

工 事 区 分 表															
下記の項目は○印部分を区別して施工する。 但し図面その他に特記あるものはそれに従う。															
No:	工 事 項 目	建 築	電 気	機 械	E V	別 途	備 考	No:	工 事 項 目	建 築	電 気	機 械	E V	別 途	備 考
①	躯体貫通スリーブ入・箱入		○	○				4 8	消火ポンプユニット・二次側配管配線・調整						
②	躯体貫通孔・箱入れ部の施工後の孔埋め		○	○				4 9	厨房器具						
③	設備用躯体貫通の補強筋及び開口部補強筋	○						5 0	同上接続配管・電源接続工事						
4	地下消火水槽、蓄熱槽などの躯体内外防水仕上、マンホール、タラップ並びに連通管							⑤①	実験台、調理台	○					
⑤	点検口の製作取付（床、壁、天井）	○						⑤②	同上接続配管・電源接続工事		○	○			
⑥	吹出口、吸込口、照明器具及びスピーカー等の埋込器具取付のための墨出し		○	○				5 3	設置機器取付用ALC版等の孔明け及び補強						
⑦	吹出口、吸込口、照明器具及びスピーカー等の埋込器具取付のための孔開・補強	○						5 4	消火器						
⑧	建物外壁に取付く給・排気ガラの製作取付			○				5 5	鉄骨構造階の出入口三方枠・敷居・押しボタン等の固定用鋼材の設置						
⑨	建具ガラの製作取付	○						5 6	鉄骨構造階の出入口機器と壁面の耐火処理						
⑩	機械設備機器の基礎（空調機・ポンプ類）			○				5 7	鉄骨構造階における中間ビームの設置						
1 1	電気設備機器の基礎（キュービクル）							5 8	鉄骨構造階におけるレールブラケット・ポストアングル固定用ファスナの設置及び錆止め塗装						
⑪②	機器用アンカーボルト		○	○				5 9	昇降機の一次側配管配線						
⑪③	ダクト・給排水管等吊りボルト用インサート			○				6 0	昇降機の出入口・三方枠・カゴインインターホン取付・制御盤・二次側配管配線						
⑪④	照明器具・ライティングダクト等吊ボルト用インサート		○					6 1	昇降機のインターホン用配線（シャフト外）						
1 5	受水槽・高架水槽							6 2	昇降機のインターホン用配管配線（シャフト内）						
1 6	受水槽・高架水槽用基礎							6 3	昇降機のインターホン用配管（シャフト外）						
1 7	オイルタンク							6 4	監視室等のインターホン取付調整						
1 8	同上基礎及び躯体							6 5	昇降機の電話用配管						
1 9	サービスタンク用防油堤							6 6	昇降機ビット内点検用コンセント						
⑫⑩	グリストラップ			○				6 7	昇降機機械室内換気扇・サーモスタットの取付						
⑫⑪	既製品流し・ガス台	○						6 8	昇降機内の立て柱						
⑫⑫	便所 廻りの手すり	○						6 9	昇降機ビット内防水						
2 3	換気扇							7 0	フェンス設置工事（浸水対策看板）						
2 4	同上取付枠							⑦①	空調機の室外及び室内側制御用配管配線		○				
⑫⑮	天井扇・ダクト・ガラリ・ベントキャップ			○				⑦②	空調機の1次側配管配線		○				
2 6	フードの製作・取付							⑦③	空調室内機用リモコンスイッチ及び取付調整			○			
2 7	防煙シャッターの一次側配管配線							⑦④	空調室内機用リモコン配管配線			○			
2 8	防煙シャッターの二次側配管配線・調整							7 5	業務用ロスナイ（屋外型）リモコン配管配線						
2 9	同上煙感知器・制御盤							7 6	業務用ロスナイ（屋外型）リモコンスイッチ及び取付調整						
3 0	同上連動装置							7 7	浴室乾燥機2次側配管配線（リモコンスイッチ共）						
3 1	防火扉の一次側配管配線							7 8	床暖工事（電気・温水共）						
3 2	防火扉の二次側配管配線・調整・開放装置							7 9	加圧給水ポンプ操作盤及び2次側配管配線・調整						
3 3	同上煙感知器・連動装置・制御盤							8 0	同上1次側配管配線及び警報回路用配管配線						
3 4	煙感知器連動のダンパーのレリーズ							8 1	給湯器用リモコンスイッチ及び取付調整						
3 5	同上用の感知器及び配管配線							8 2	給湯器用リモコンスイッチ配管配線						
3 6	同上用非常電源装置							⑧③	情報用配線・機器取付工事		○				
3 7	自動ドアの取付及び調整・検査スイッチ・駆動装置二次側配線							⑧④	電話機用配管配線		○				
3 8	同上一次側配管配線							⑧⑤	電話機取付及び調整					○	
3 9	液面電極棒の取付及び調整							⑧⑥	機械警備用配管					○	
4 0	合併処理槽の躯体・モルタル仕上・マンホール・チェッカープレート							⑧⑦	機械警備用配線及び機器取付調整					○	
4 1	同上内部装置・機械配管及び二次側配管配線							8 8	電力・電話引込工事用負担金						
4 2	同上一次側配管配線							⑧⑨	C A T V 引込工事用負担金					○	
⑫⑲	洗面カウンター	○						⑨⑩	近隣テレビ電波障害対策工事					○	
⑫⑳	洗面カウンター用洗面器			○				9 1							
⑫㉑	洗面カウンター用化粧鏡			○				9 2							
⑫㉒	補助手摺り（トイレ用）	○						9 3							
4 7	消火ポンプユニット一次側配管配線							9 4							

設備用の開口補強数量表

1. 設備用躯体貫通補強筋及び開口補強筋

1) 梁貫通補強筋（貫通孔 D/3以下、梁巾-400以下の場合、Dは梁せい）

貫 通 内 径 (φ)	数 量	備 考
100 < H ≤ 200		
200 < H ≤ 300		
300 < H ≤ 400		

※貫通内径 100φ未満の場合は補強を必要としない。（ H : 貫通内径 mm ）

2) スラブ開口補強筋

開 口 面 積 (㎡)	数 量	備 考
A ≤ 0.3		
0.3 < A ≤ 1.0		

※スラブ筋を切断しない場合は補強を必要としない。（ A : 開口面積 ㎡ ）

3) 壁開口補強筋

開 口 面 積 (㎡)	数 量	備 考
A ≤ 0.3		
0.3 < A ≤ 1.0		
1.16	4	消火栓ボックス

※壁筋を切断しない場合は補強を必要としない。（ A : 開口面積 ㎡ ）

2. 設備用地下材開口補強

1) 壁開口補強 軽量鉄骨壁下地、木軸等

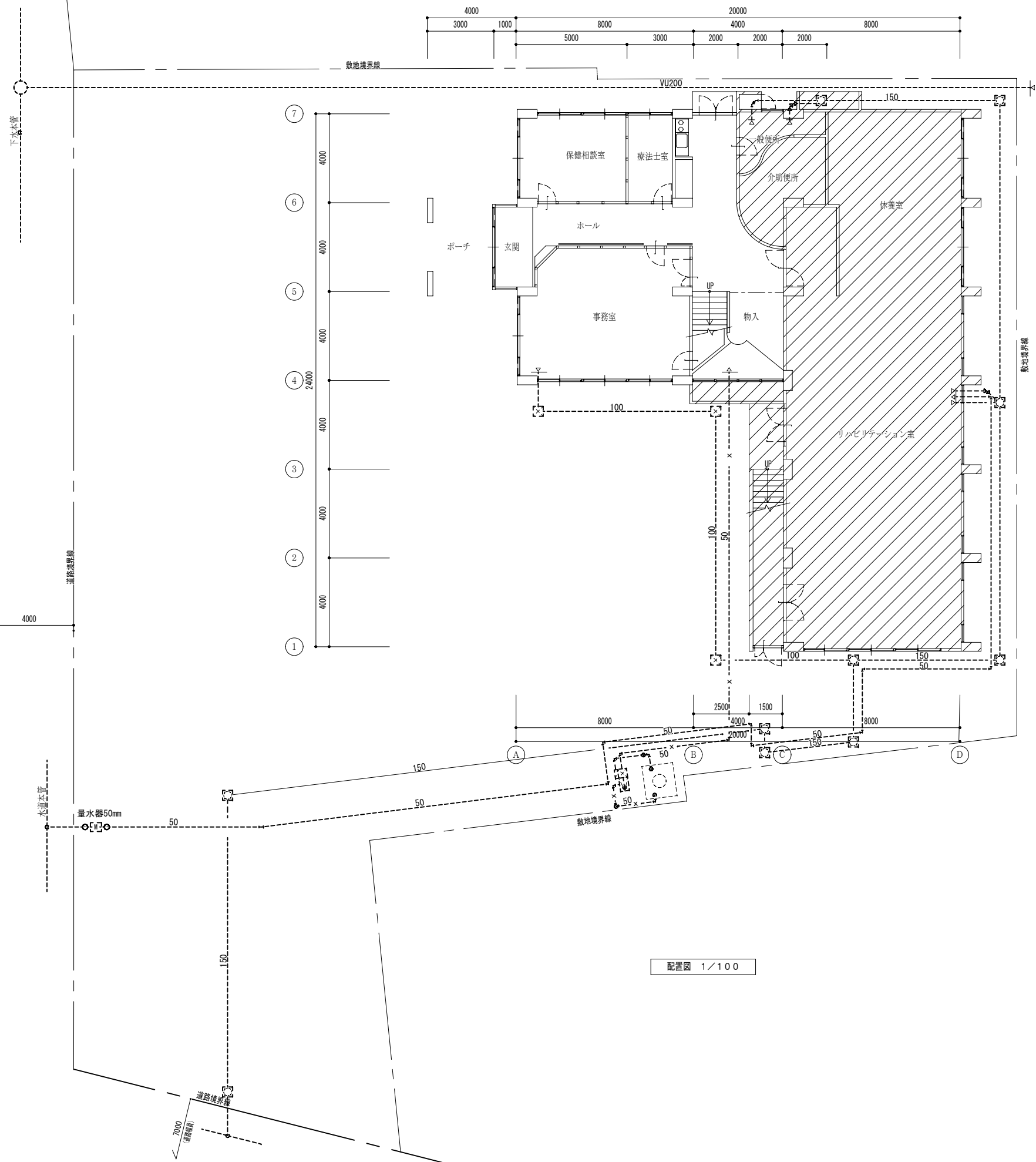
開 口 寸 法	数 量	備 考

2) 天井開口補強

開 口 寸 法	数 量	備 考
220×1,235	25	照明器具
150×1,235	12	"
220×626	4	"
φ150	14	スピーカ
390□	10	天井扇
850×850	3	空調機
□450	(既設棟)×3・(増築棟)×8	天井点検口(電気)
□450	2	天井点検口(機械)

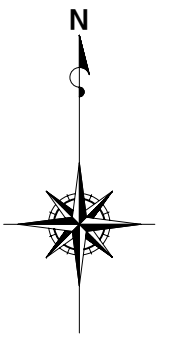
特記事項

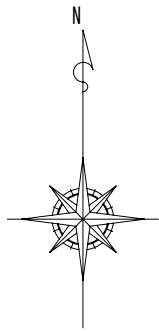
1. 設備用の開口補強数量は設計上の必要数量であり施工上必要ヶ所と相違ある場合には監督員の指示により数量が増減するも工事金額内で処理する。



配置図 1/100

▨ 工事対象外の部分を示す

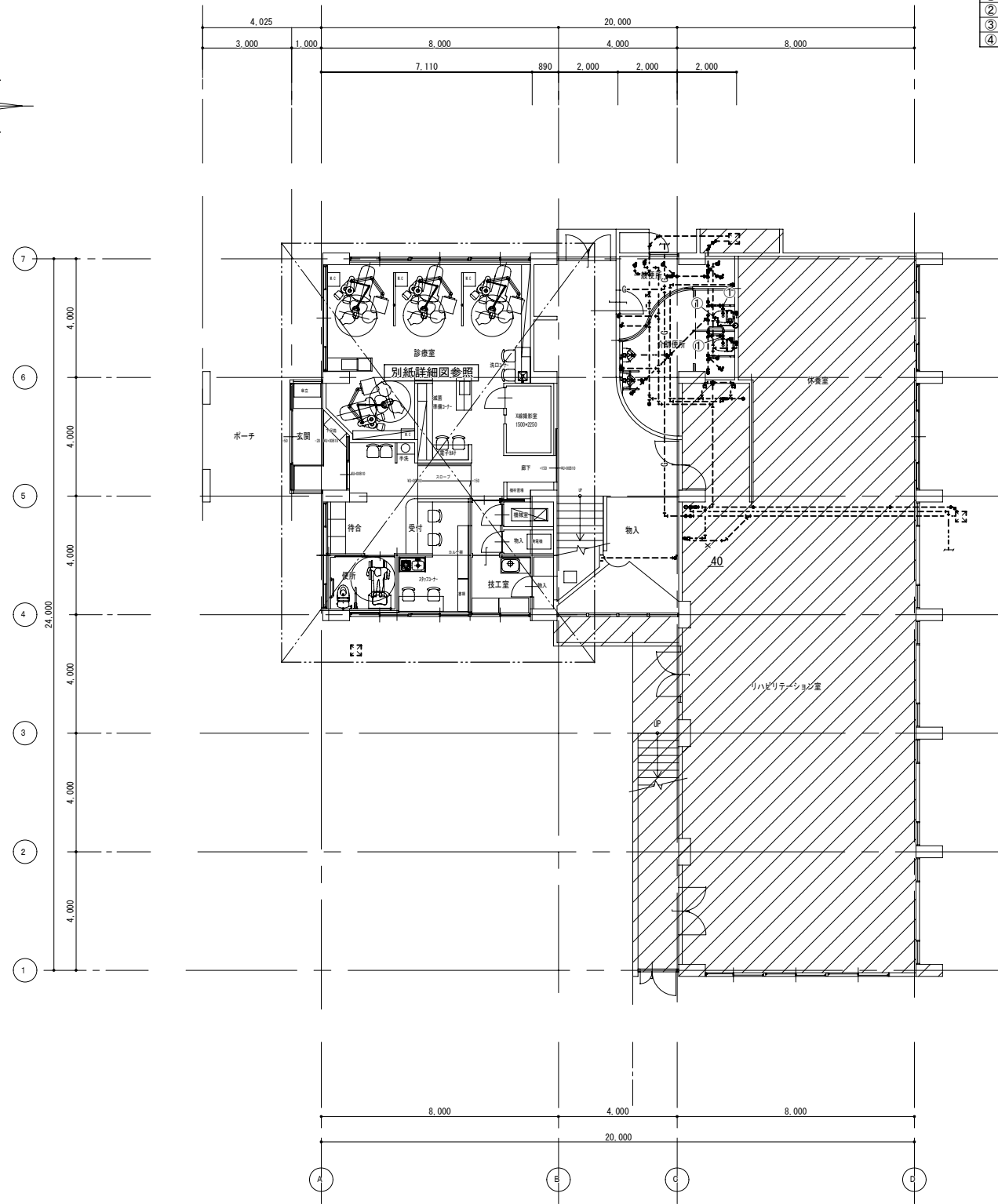




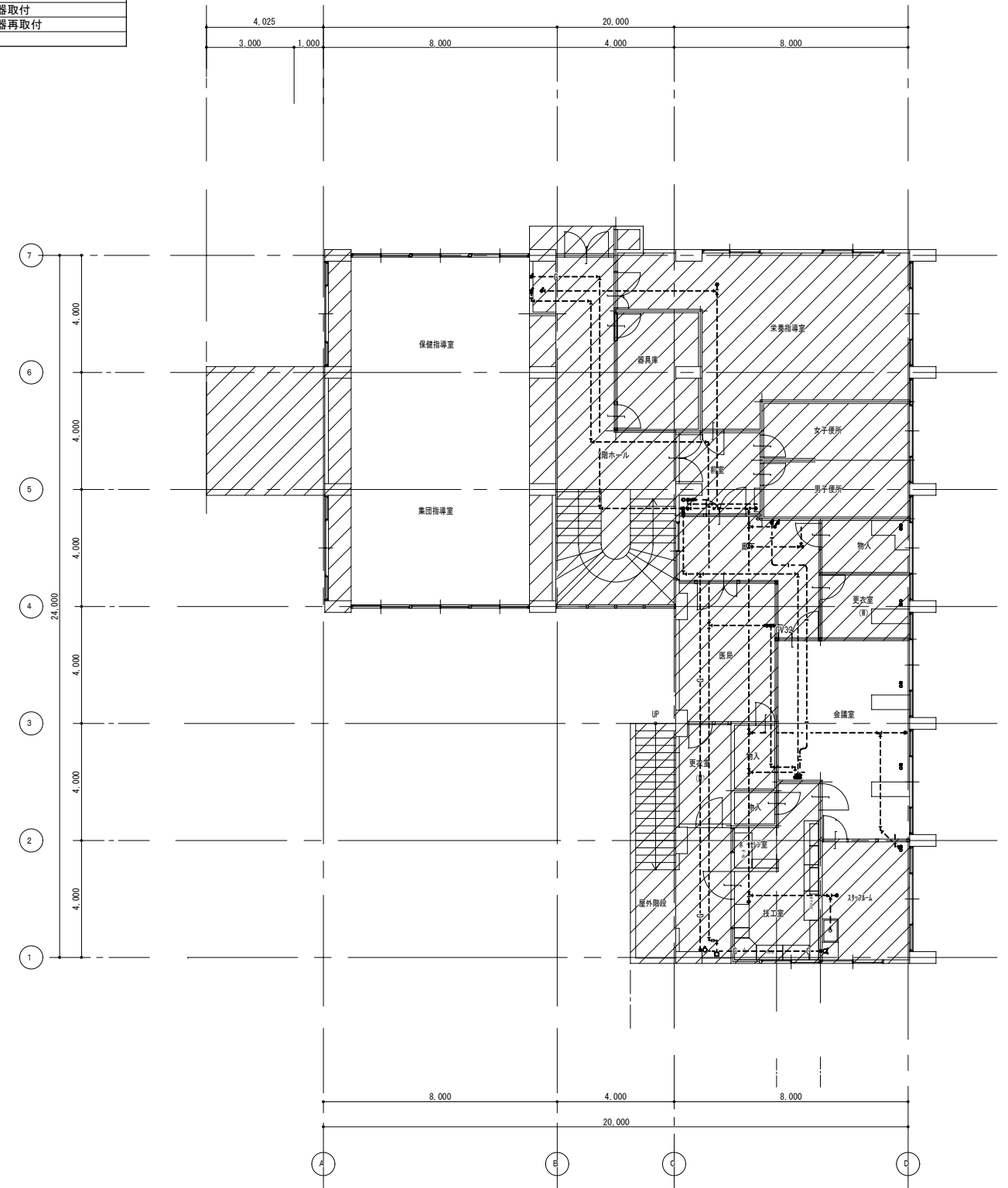
凡例 (改修)

- 新設、機器・配管を表す
- - - - 既設、機器・配管を表す

改修工事内容	
①	既設配管に接続
②	新設、器具・機器取付
③	既設、器具・機器再取付
④	



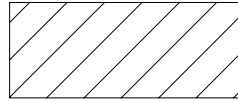
1階平面図 S=1/100



2階平面図 S=1/100

□ 工事対象外の部分を示す

凡例



舗装はつり復旧共

凡例 (改修)

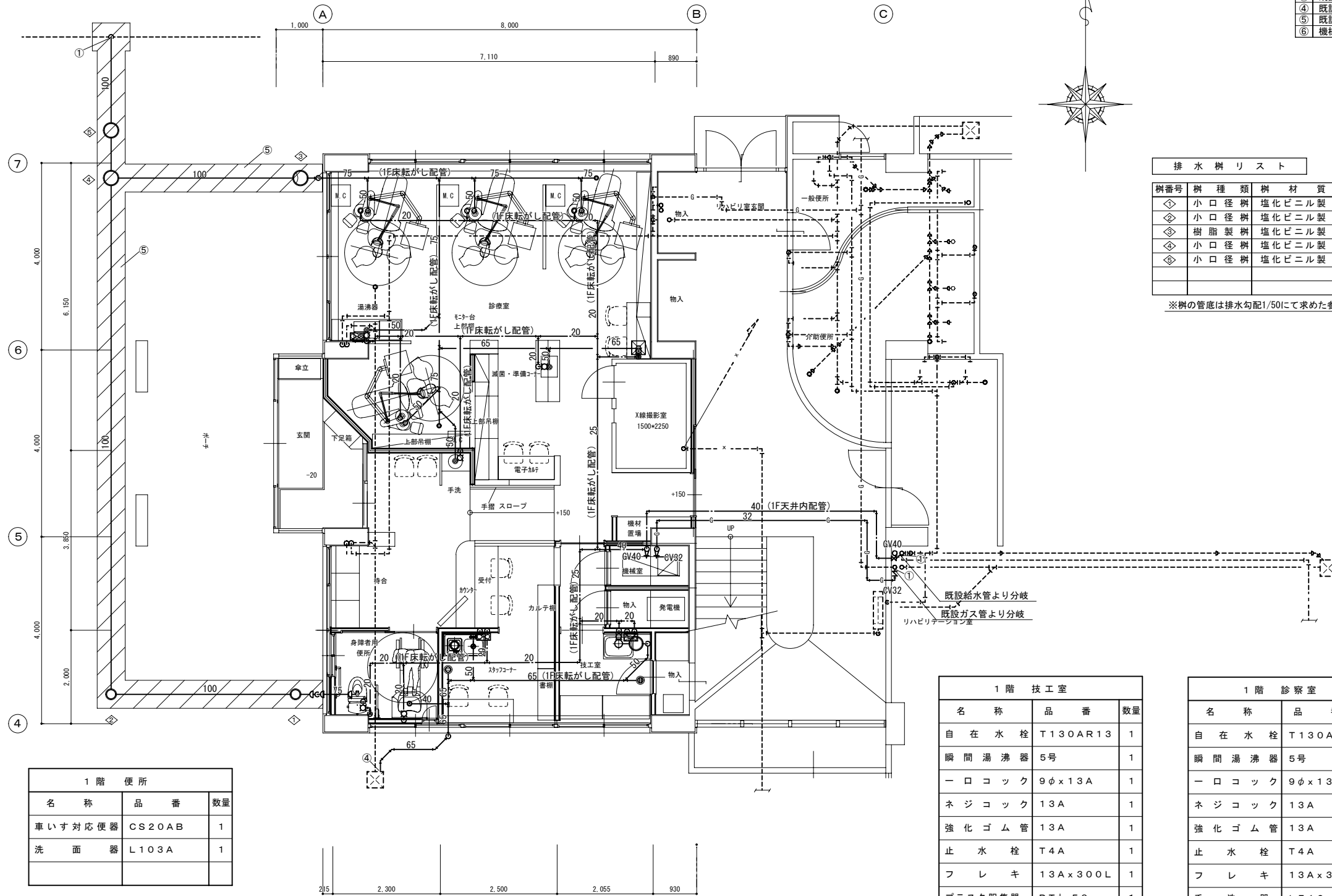
- 新設、機器・配管を表す
- - - 既設、機器・配管を表す

改修工事内容	
①	既設配管に接続
②	新設、器具・機器取付
③	既設、器具・機器再取付
④	既設、樹に接続
⑤	既設、舗装、はつり復旧
⑥	機械貫通、復旧共

排水樹リスト

樹番号	樹種類	樹材質	寸法	管底(設置面より)	樹形式	蓋種類
◇	小口径樹	塩化ビニル製	200φ	300H	90S 100-200	防護ハット8t+塩ビ製内蓋
◇	小口径樹	塩化ビニル製	200φ	380H	90L 100-200	防護ハット8t+塩ビ製内蓋
◇	樹脂製樹	塩化ビニル製	300φ	400H	90S 100-300	樹脂樹 トッパ付 塩ビ製蓋
◇	小口径樹	塩化ビニル製	200φ	600H	90Y 100-200	防護ハット8t+塩ビ製内蓋
◇	小口径樹	塩化ビニル製	200φ	630H	90S 100-200	塩ビ製蓋

※樹の管底は排水勾配1/50にて求めた参考値であり、現地実測にて決定を行う事。



1階 待合室		
名称	品番	数量
洗面器	L548U	1
化粧鏡	YM3545F	1

1階 技工室		
名称	品番	数量
自在水栓	T130AR13	1
瞬間湯沸器	5号	1
一口コック	9φ×13A	1
ネジコック	13A	1
強化ゴム管	13A	1
止水栓	T4A	1
フレキ	13A×300L	1
プラスタ阻集器	PTd-50	1
床上掃除口	COA-65	1

1階 診察室		
名称	品番	数量
自在水栓	T130AR13	1
瞬間湯沸器	5号	1
一口コック	9φ×13A	1
ネジコック	13A	1
強化ゴム管	13A	1
止水栓	T4A	1
フレキ	13A×300L	1
手洗器	L712	1
床上掃除口	COA-75	2

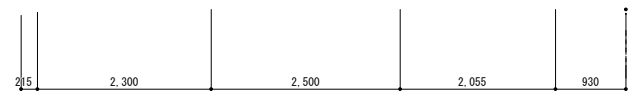
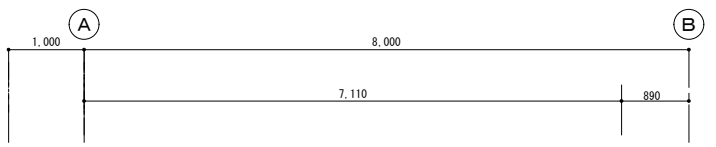
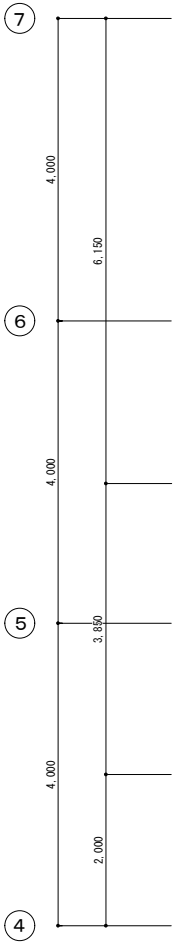
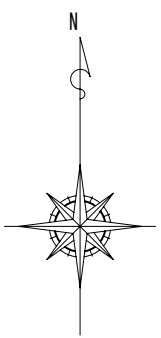
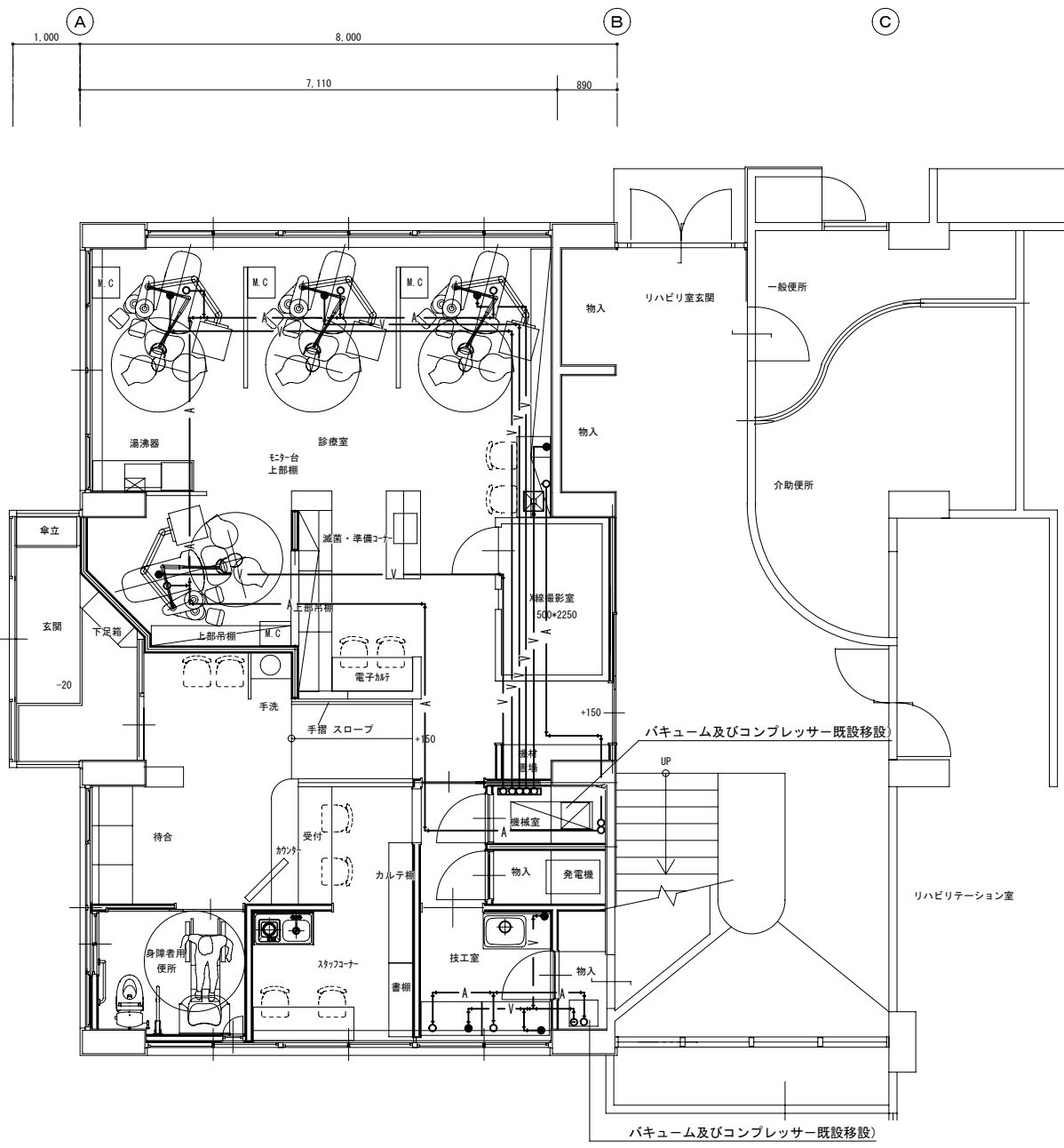
1階 スタッフコーナー		
名称	品番	数量
自在水栓	T130AR13	1
瞬間湯沸器	5号	1
一口コック	9φ×13A	1
ネジコック	13A	1
強化ゴム管	13A	1
止水栓	T4A	1
フレキ	13A×300L	1
床上掃除口	COA-65	1

1階 便所		
名称	品番	数量
車いす対応便器	CS20AB	1
洗面器	L103A	1

1階平面図 S=1/50

— 工事対象外の部分を示す

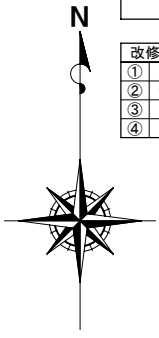
特記



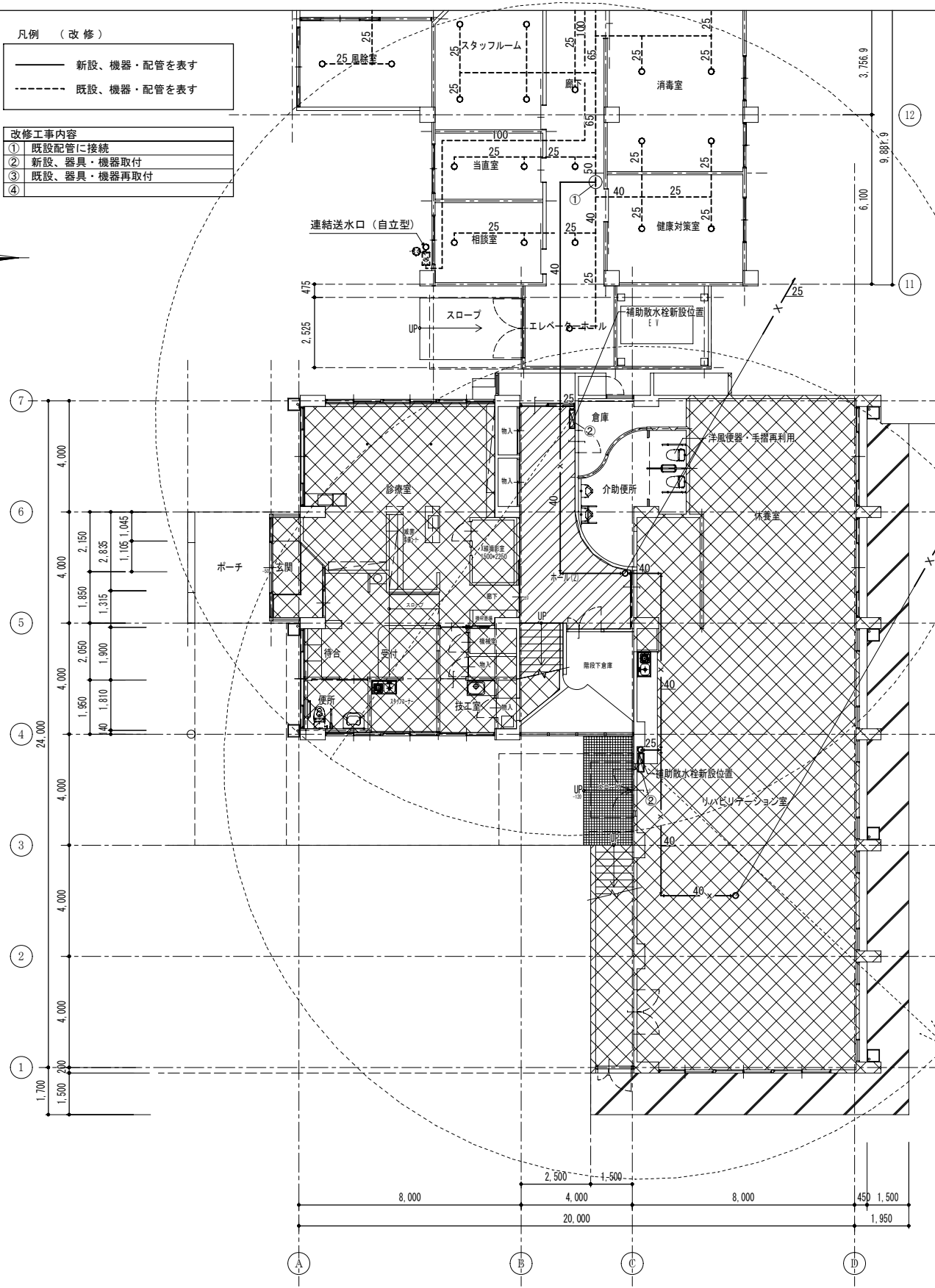
項目	凡例	内容
エアー配管	-A-O-A-	鋼管 1/2B (注記・高さ立ち上床上150mmプラグ止め)
バキューム管	-V-●-V-	V P管 (注記特記以外のサイズは30A・床上高さ150mmプラグ止め)

1階平面図 S=1/50

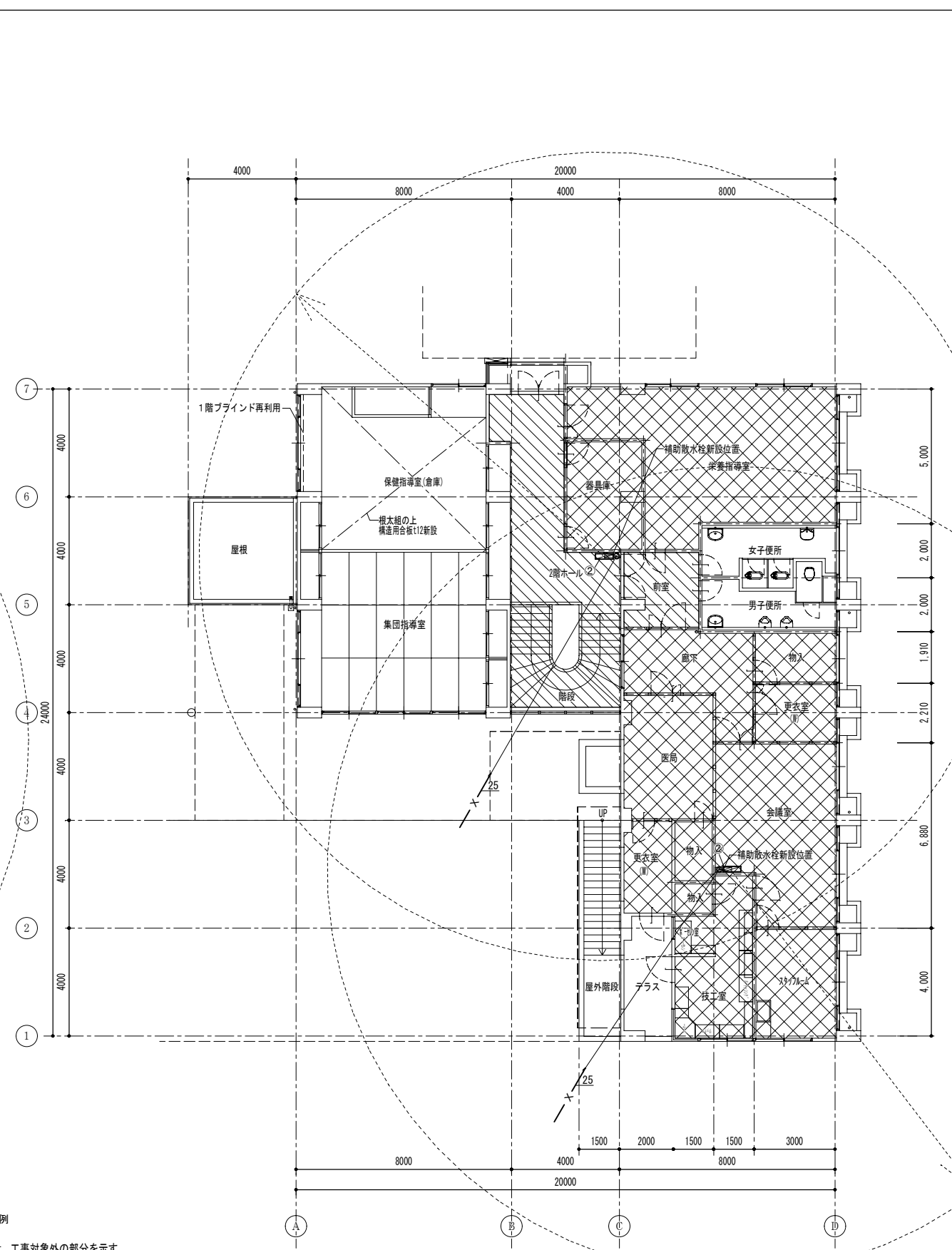
□ 工事対象外の部分を示す



- 凡例 (改修)
- 新設、機器・配管を表す
 - - - 既設、機器・配管を表す
- 改修工事内容
- ① 既設配管に接続
 - ② 新設、器具・機器取付
 - ③ 既設、器具・機器再取付
 - ④



1階平面図(改修) S=1/100



2階平面図(改修) S=1/100

- 建築工事凡例
- ▨ 工事対象外の部分を示す
 - ▧ 床(ビニル床・タイル)・ビニル床新設範囲を示す
 - ▩ 床(ビニル床・タイル)・ビニル床新設範囲を示す
 - ⊙(AM) 改修建具を示す
 - ⊙(LS) 新設建具を示す
 - ▨ 土間コンクリート新設範囲を示す
 - ▩ スロープ新設範囲を示す

機器リスト(空調)

記号	機器名	仕様	電気容量	数量	備考(設置場所)
AC-1	空冷ヒートポンプエアコン	型式 - 天井埋込カセット形 ラウンドフロータイプ 能力 - 冷房能力: 20.0kW 暖房能力: 22.4kW ガス φ9.5・φ25.4 液管 φ9.5・φ15.9 付属品 - 屋内外機間、動力、制御配管、配線、リモコン、ドレンアップキット	3φ 200V 消費電力 6.65kW 圧縮機 3.73kW ファン内 48W×3 外200W+200	1	1階 診察室 (参考品番) SZZC224CAM 基礎 下駄基礎共(本工事)
	(1台)同時2台	ワイヤードリモコン 化粧パネル 分岐管 (BRC1E3) (BYCP160BEF×2) (KHRP58N228T)			
	(8.0HP相当)				

機器リスト(換気)

(注) ★印は24時間換気機能付換気扇を表す。

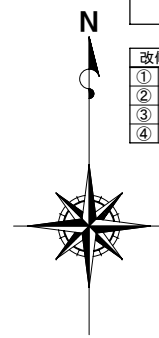
記号	機器名	仕様	電気容量	数量	備考(設置場所)
★ FE-1	天井扇	型式 - 天井埋込形 24時間機能付 風量 - 風量 400M3/H 羽根径-200φ ダクト径-150φ 付属品 - 24時間用コントロールスイッチ・SUS製丸形フード-防虫網付共 P-18FSQ5	1φ 100V 40.5W	1	1階 診察室 (参考品番) VD-20ZVX2-C
FE-2	天井扇	型式 - 天井埋込形 低騒音 風量 - 風量 400M3/H 羽根径-200φ ダクト径-150φ 付属品 - SUS製丸形フード-防虫網付共 P-18FSQ5	1φ 100V 15.5W	1	1階 診察室 (参考品番) VD-20ZXP9-C
FE-3	天井扇	型式 - 天井埋込形 低騒音 風量 - 風量 150M3/H 羽根径-180φ ダクト径-150φ 付属品 - SUS製丸形フード-防虫網付共 P-18FSQ5	1φ 100V 28.5W	2	1階 待合 1階 スタッコーナ (参考品番) VD-18ZX9-C
FE-4	天井扇	型式 - 天井埋込形 低騒音 風量 - 風量 150M3/H 羽根径-150φ ダクト径-100φ 付属品 - SUS製丸形フード-防虫網付共 P-13FSQ5	1φ 100V 23W	1	1階 便所 (参考品番) VD-15ZPT9-C
FE-5	天井扇	型式 - 天井埋込形 低騒音 風量 - 風量 100M3/H 羽根径-150φ ダクト径-100φ 付属品 - SUS製丸形フード-防虫網付共 P-13FSQ5	1φ 100V 22.5W	2	1階 技工室 1階 X線撮影室 (参考品番) VD-15ZXP9-C
FE-6	換気扇	型式 - 天井埋込形 低騒音 風量 - 風量 50M3/H 羽根径-130φ ダクト径-100φ 付属品 - SUS製丸形フード-防虫網付共 P-13FSQ5	1φ 100V 15.5W	2	1階 機械室 1階 発電機室 (参考品番) VD-15ZXP9-C
OA-1	給排気グリル	型式 - 天井埋込形フィルター内蔵グリルサイレンサー 風量 - 300M3/H ダクト径-150φ		1	1階 スタッブ室 (参考品番) PZ-15GZP

衛生器具・他明細表

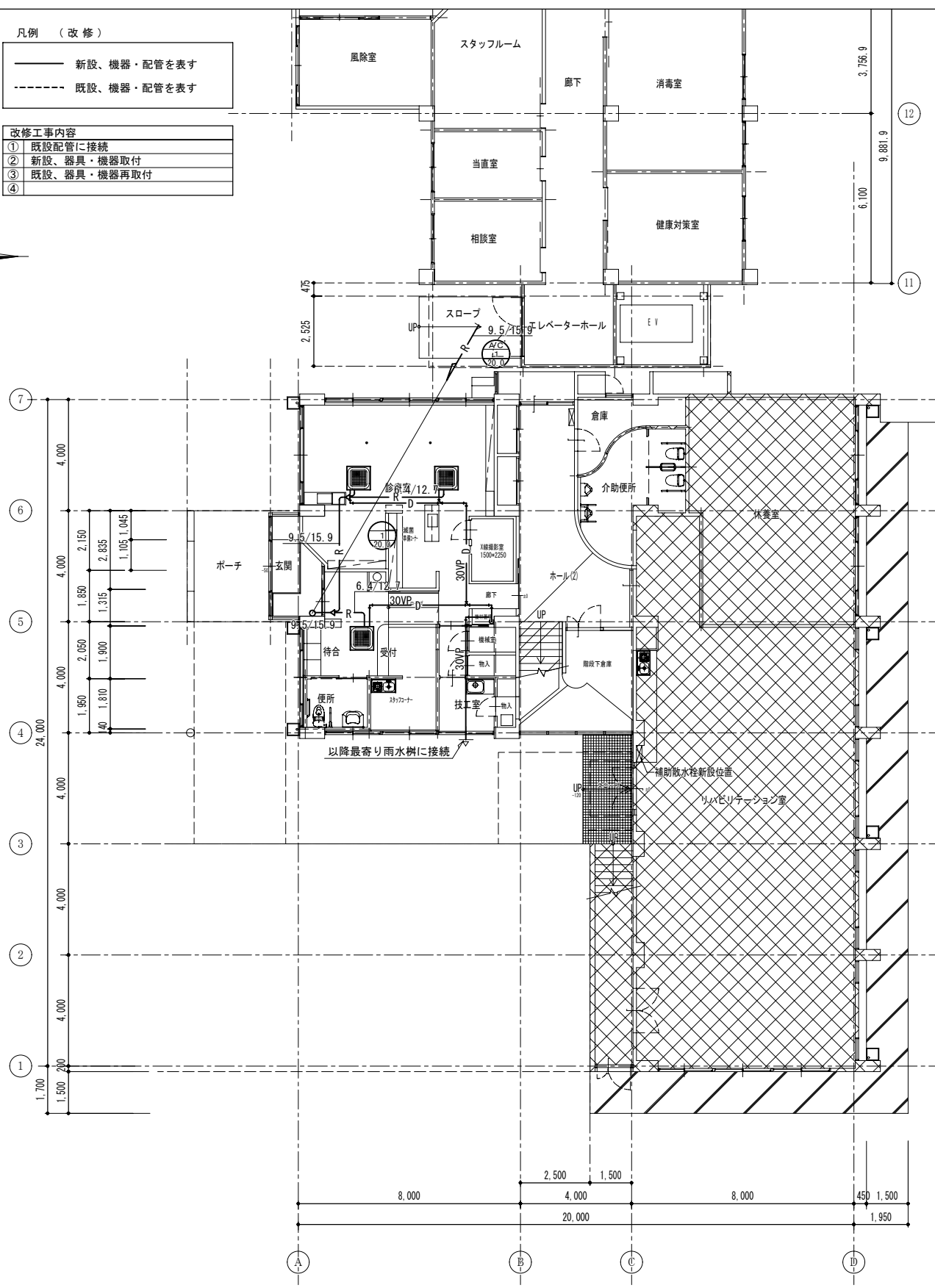
名称	品番	付属品	合計	1階													
				便所	技工室	診察室	湯沸室	スタッフコーナ	待合室								
車いす対応便器	CS20AB	タンク(内部金具共) ウォッシュレットコード 埋込AC100Vリモコンセット SH30BA TCF4721V81PA リモコン便器洗浄ユニット 棚付二連紙巻器 HE10J YH702	1	1													
可動手すり	T112HKS	取付金具共	1	1													
手すり	T112CL10	取付金具共	1	1													
洗面器	L103A	給水栓 止水栓 取付金具 給水管 排水金具 TLC11C2 TL594CA2U HR711 UGTNY97LR50V5X TL594BS1R	1	1													
はめ込み洗面器	L548U	立水栓 止水栓 壁排水金物 TLC11 TL340C5U T6PM1	1				1										
洗面カウンター	ML60	L=600 取付金具他属品共	1					1									
手洗器	L712	自働水栓タイプ 排水金具 TEN40AX T7P24R	1			1											
化粧鏡	YM3545F	耐食製 350×450 取付金具共	2	1				1									
泡沫自在水栓	T130AUN13		3	1	1	1											
止水栓	T4A		3	1	1	1											
瞬間湯沸器	5号		3	1	1	1											
ガスロック	9φ×13A		3	1	1	1											
ネジロック	13A		3	1	1	1											
強化ゴム管	13A		3	1	1	1											
フレキ継手	13A×300L		3	1	1	1											
プラスタ阻集器	DTd-50		1	1													
床上掃除口	COA-65		2	1	1												
"	COA-80		1		1												



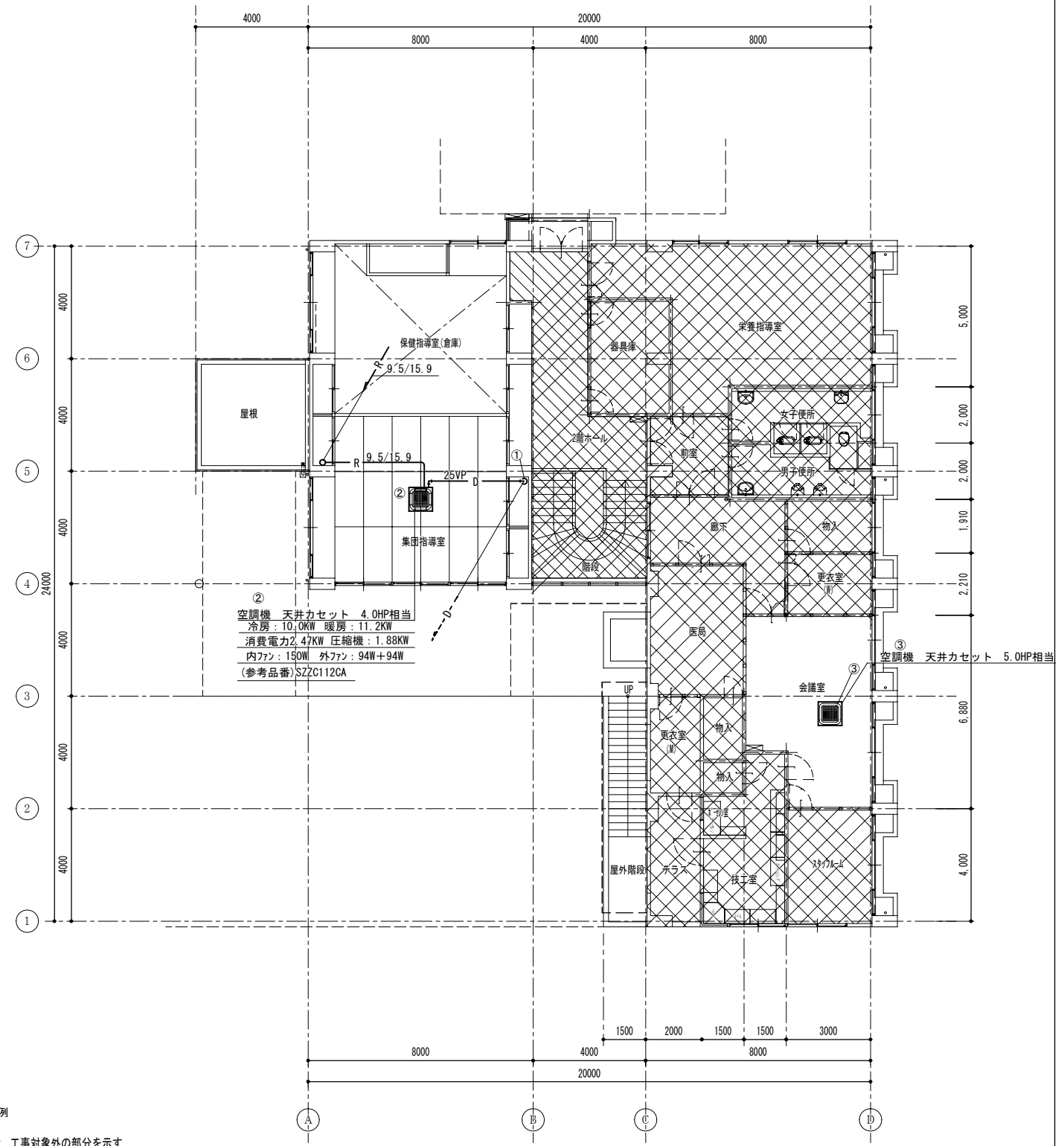
特記



- 凡例 (改修)
- 新設、機器・配管を表す
 - - - 既設、機器・配管を表す
- 改修工事内容
- | | |
|---|-------------|
| ① | 既設配管に接続 |
| ② | 新設、器具・機器取付 |
| ③ | 既設、器具・機器再取付 |
| ④ | |

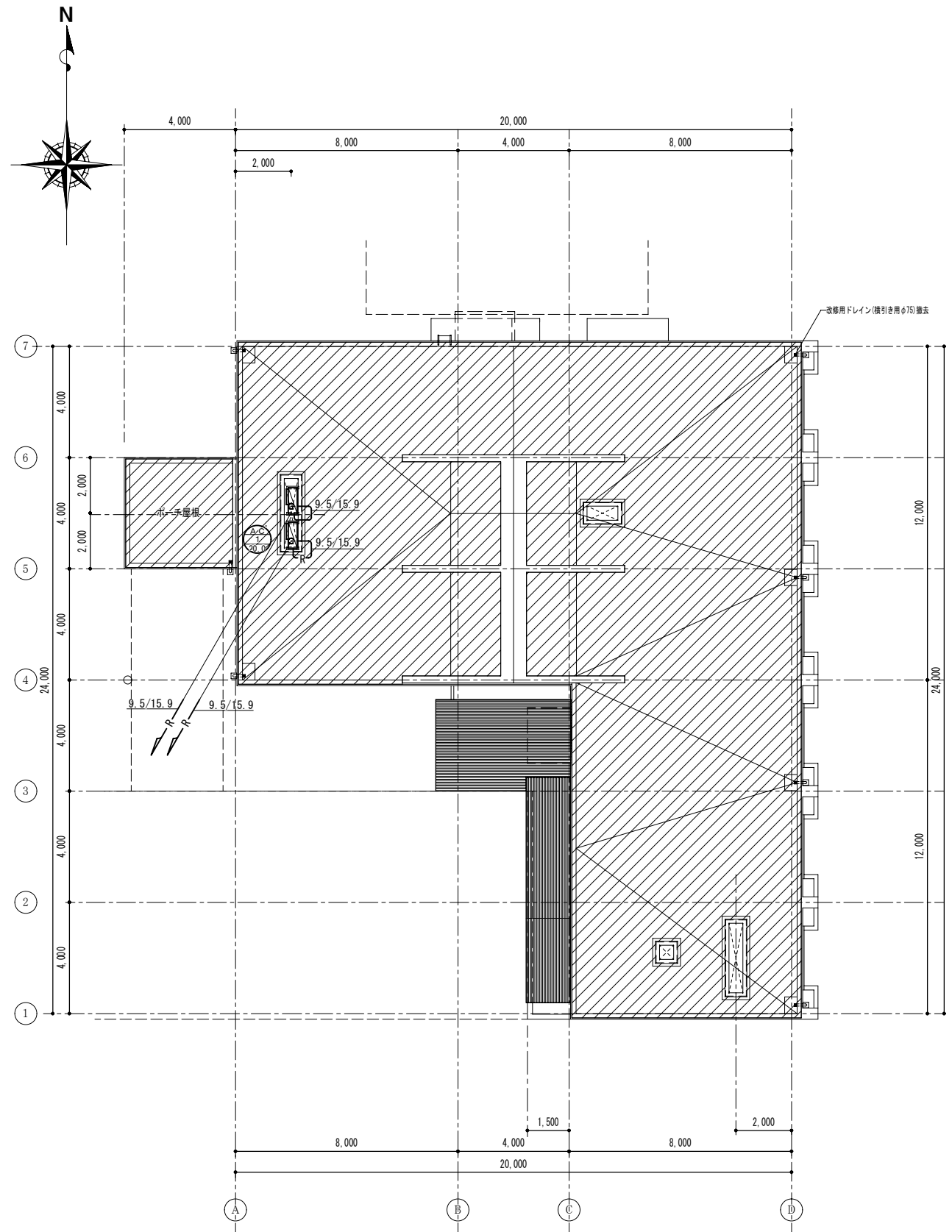


1階平面図(改修) S=1/100



2階平面図(改修) S=1/100

- 建築工事凡例
- 工事対象外の部分を示す
 - 床(フローリング)・ビニル床新設範囲を示す
 - 床(ビニル床)・ビニル床新設範囲を示す
 - 改修建具を示す
 - 新設建具を示す
 - 土間コンクリート新設範囲を示す
 - スロープ新設範囲を示す



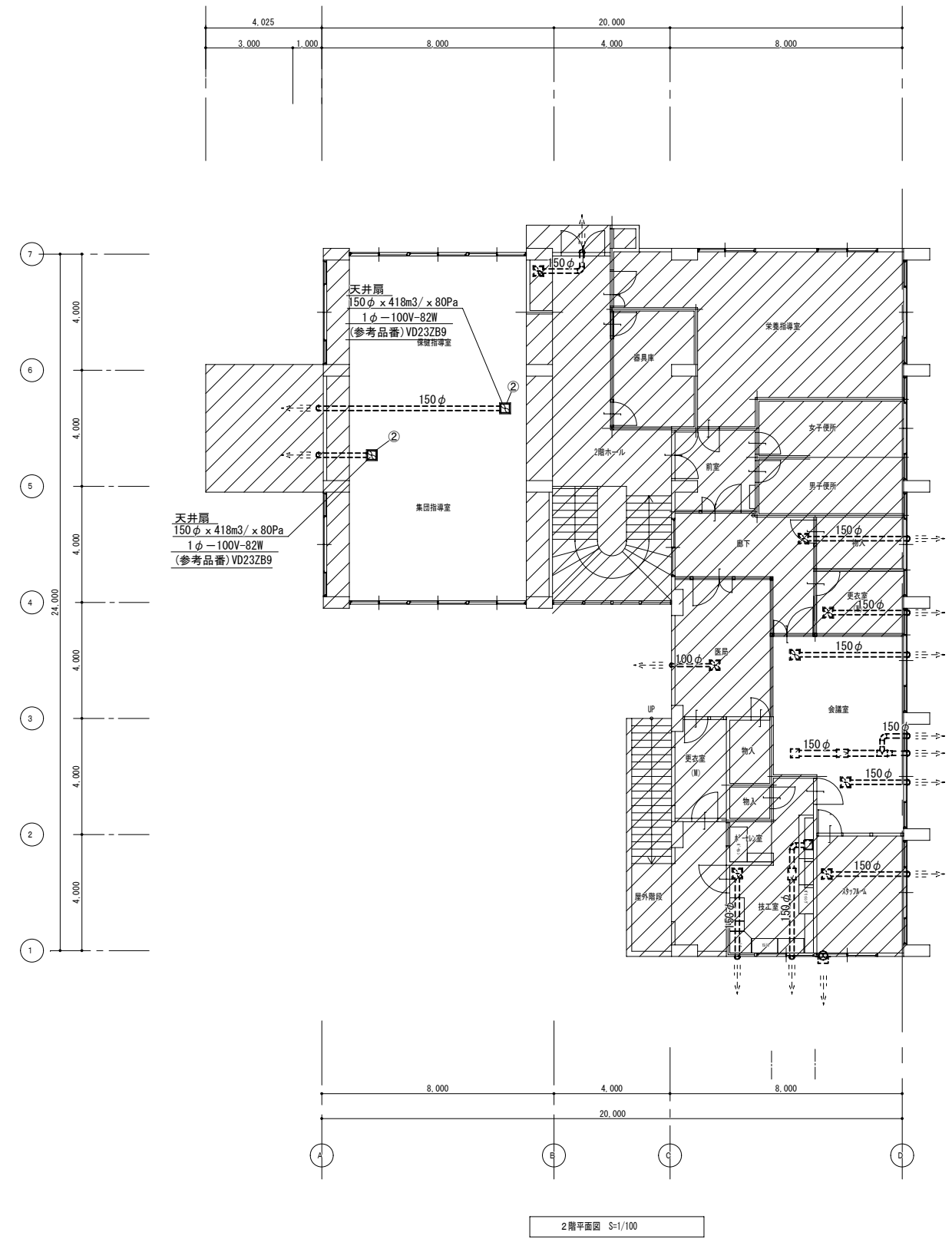
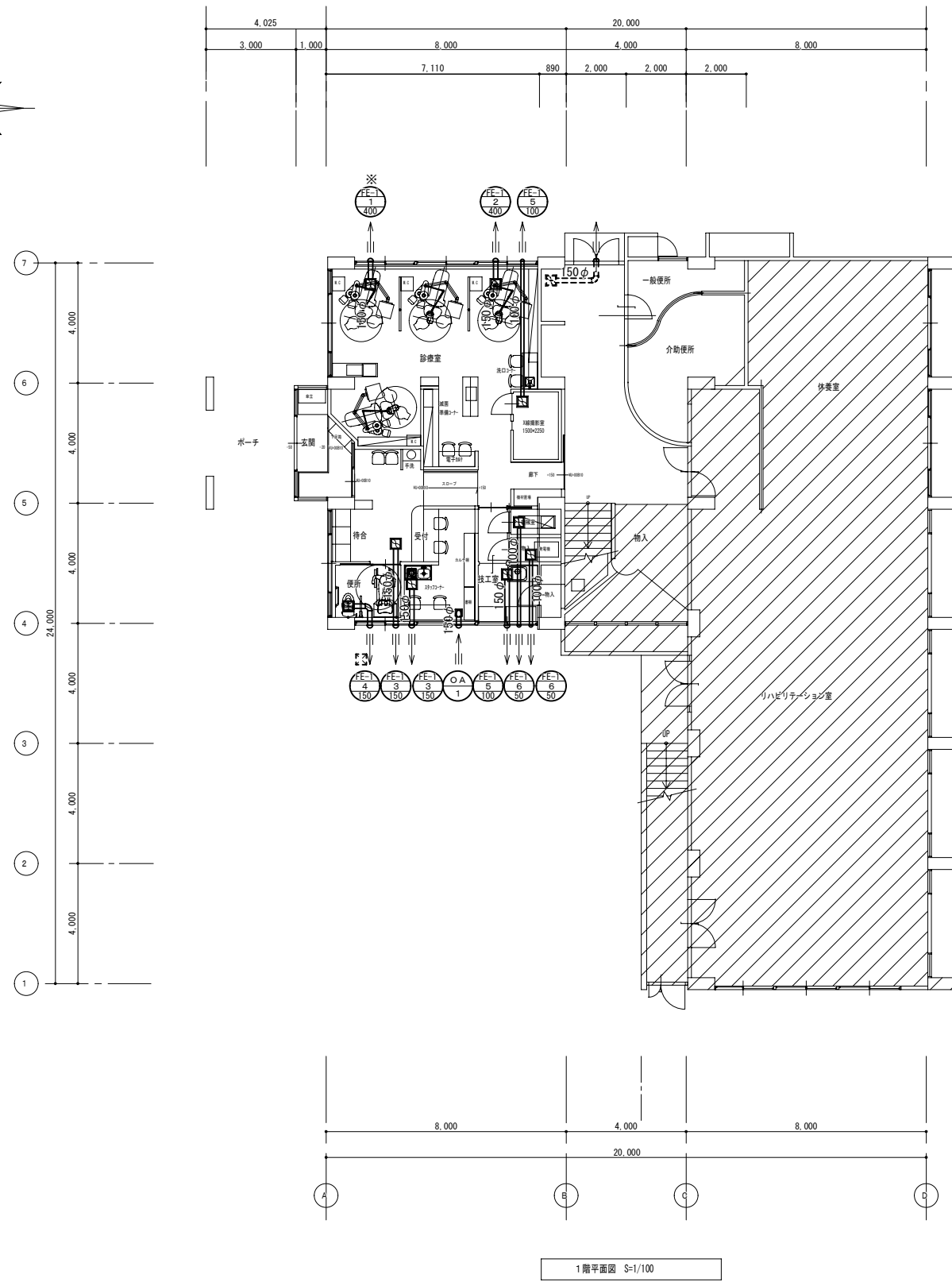
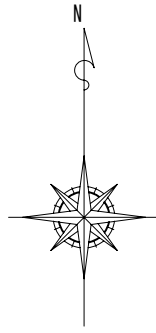
建築工事凡例

▨ 改質アスファルトシート防水新設範囲を示す

屋根伏図(改修) S=1/100

凡例 (改修)

- 新設、機器・配管を表す
- - - 既設、機器・配管を表す

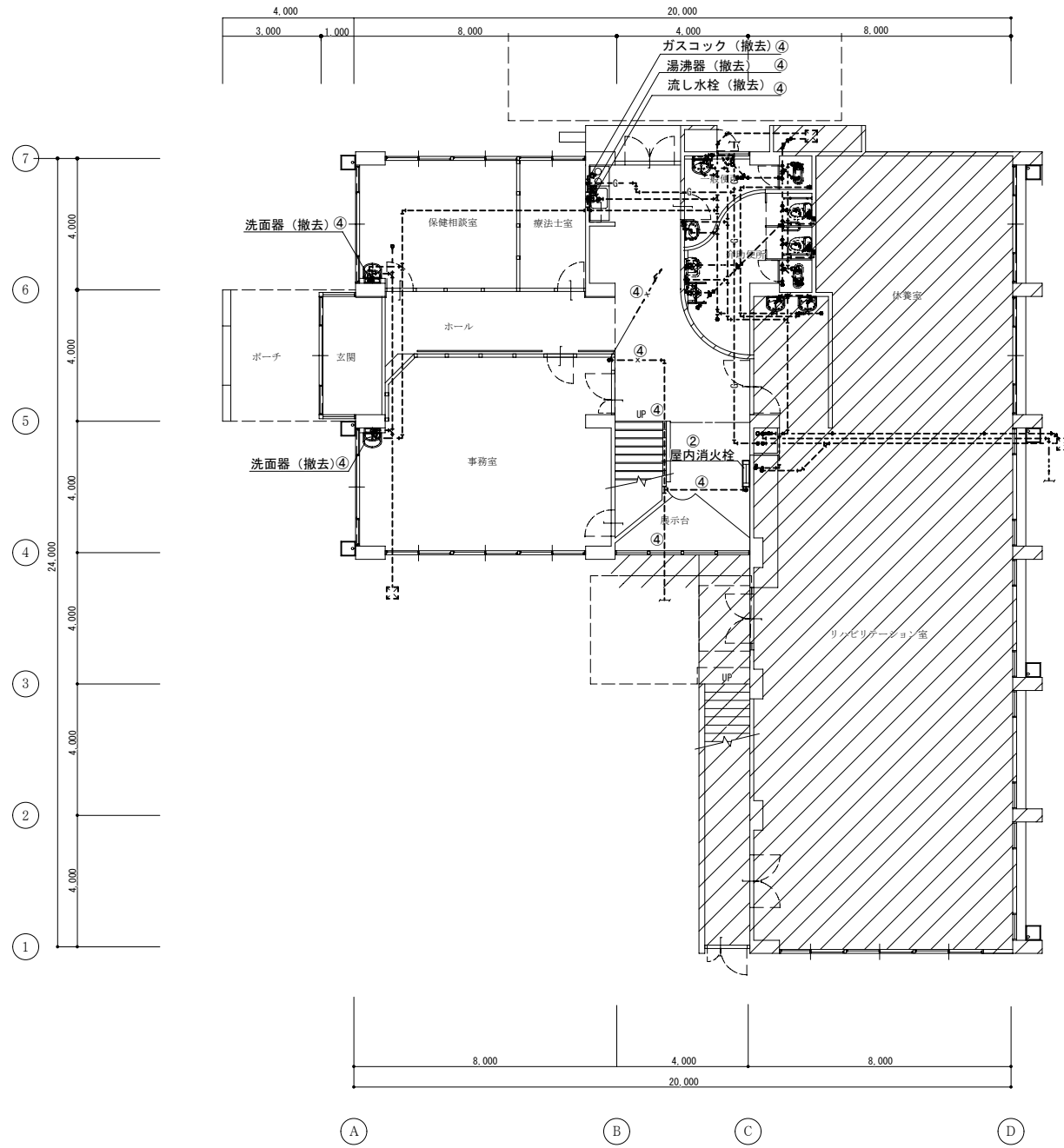


— 工事対象外の部分を示す

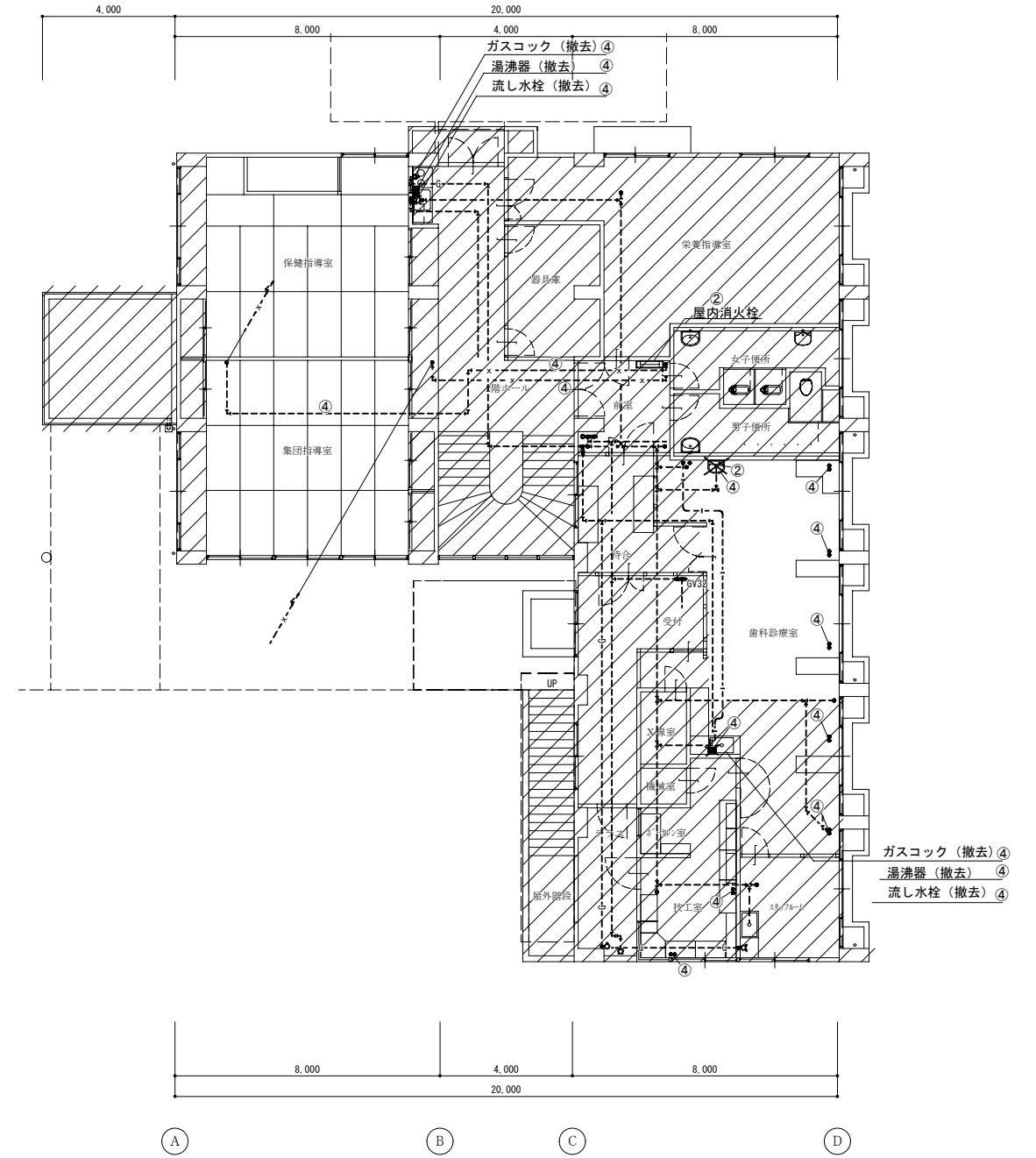
凡例 (現況・撤去)

- 既設、機器・配管撤去を表す
- 既設、機器・配管を表す

既設工事内容	
①	既設配管を切り離し
②	既設器具・機器・配管撤去
③	既設器具・機器取外し、再利用
④	既設器具・撤去後配管プラグ止め又はキャップ止めの処置をすること。



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100

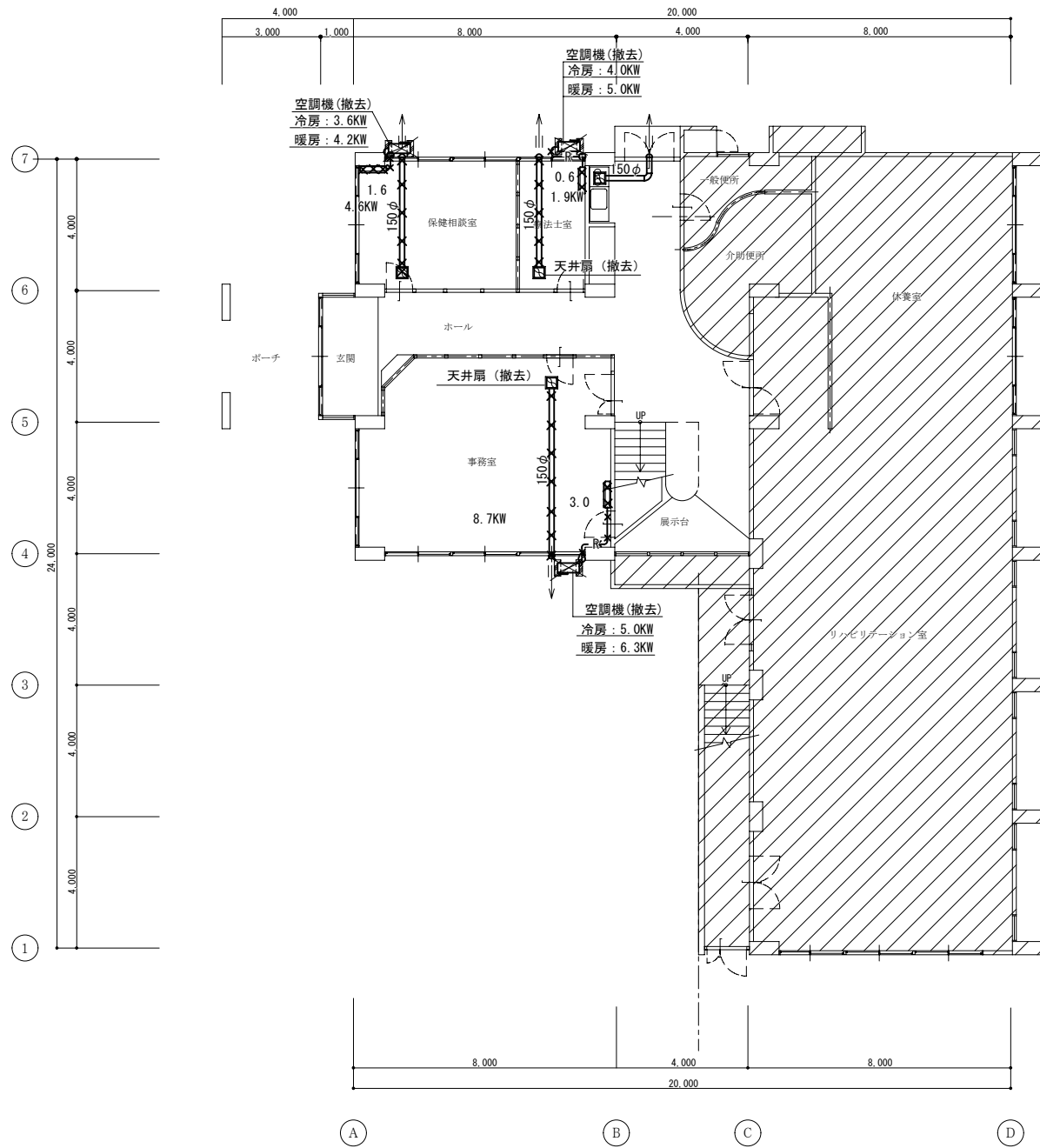
▨ 工事対象外の部分を示す



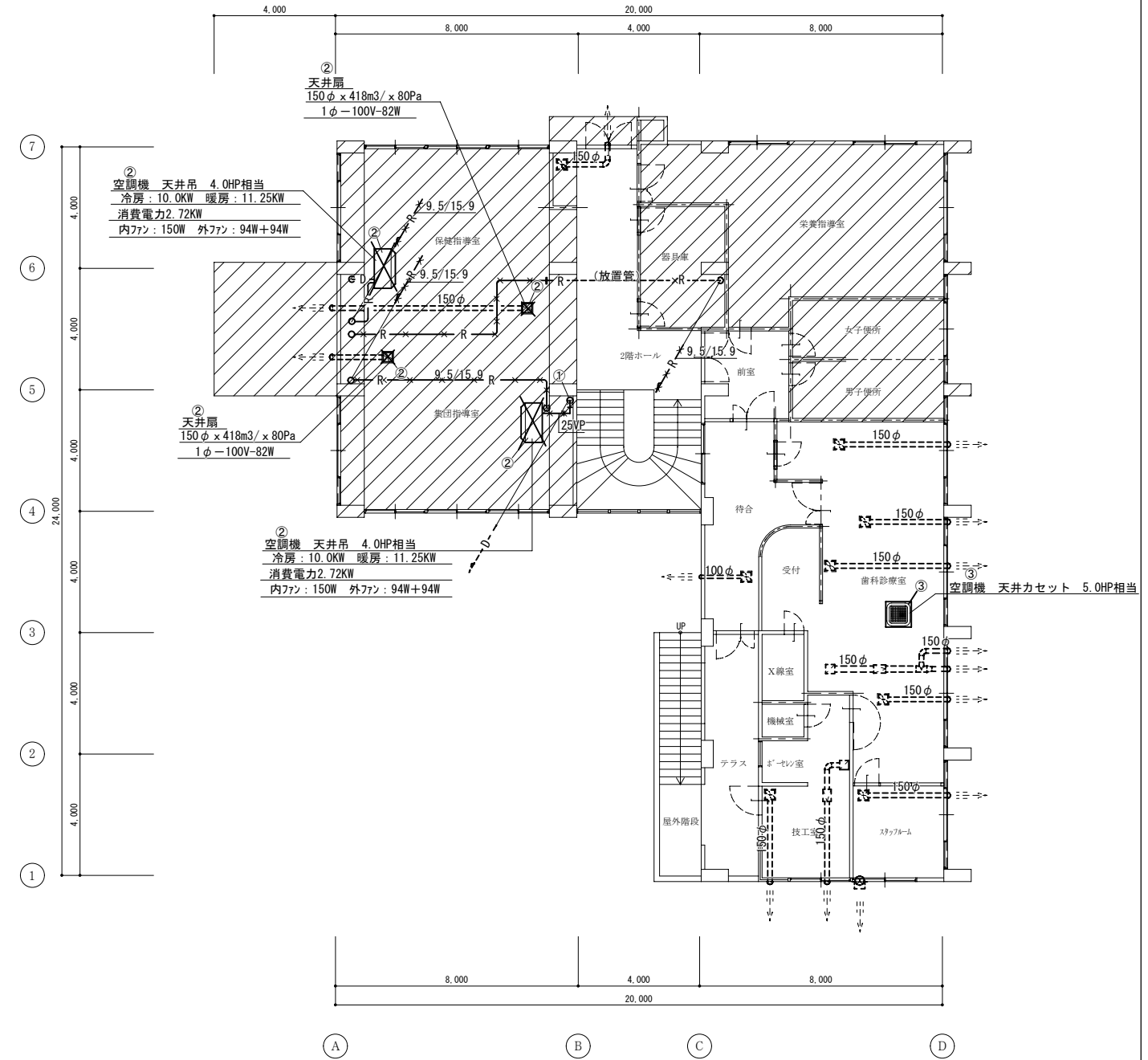
凡例 (現況・撤去)

- ※※※※※ 既設、機器・配管撤去を表す
- 既設、機器・配管を表す

既設工事内容	
①	既設配管を切り離し
②	既設器具・機器・配管撤去
③	既設器具・機器取外し、再利用
④	既設器具・撤去後配管プラグ止め又はキャップ止めの処置をすること。

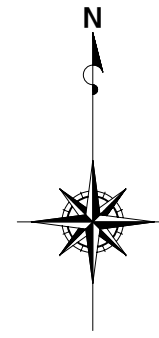


1階平面図 1/100



2階平面図 1/100

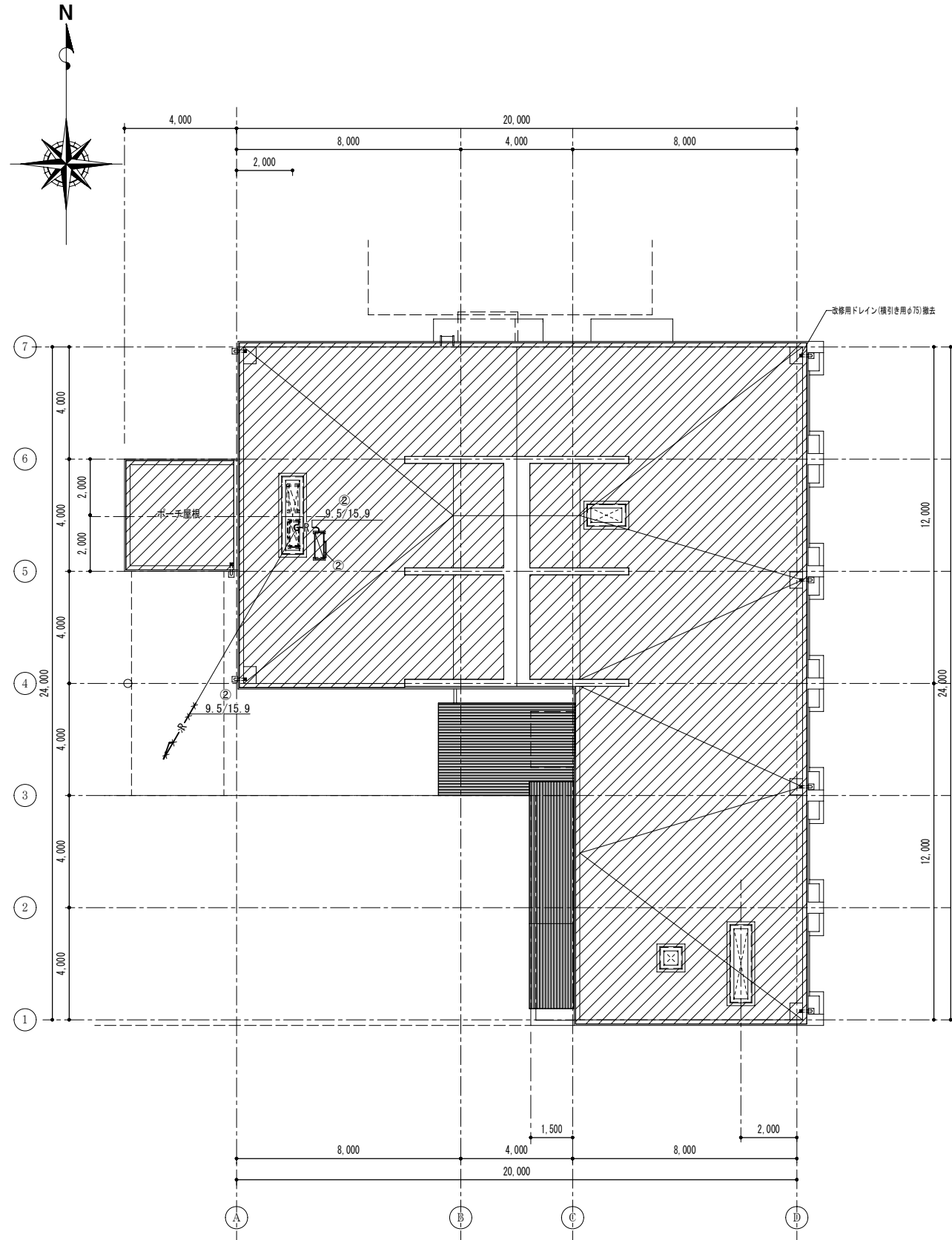
▨ 工事対象外の部分を示す



凡例 (現況・撤去)

- ***** 既設、機器・配管撤去を表す
- 既設、機器・配管を表す

既設工事内容	
①	既設配管を切り離し
②	既設器具・機器・配管撤去
③	既設器具・機器取外し、再利用

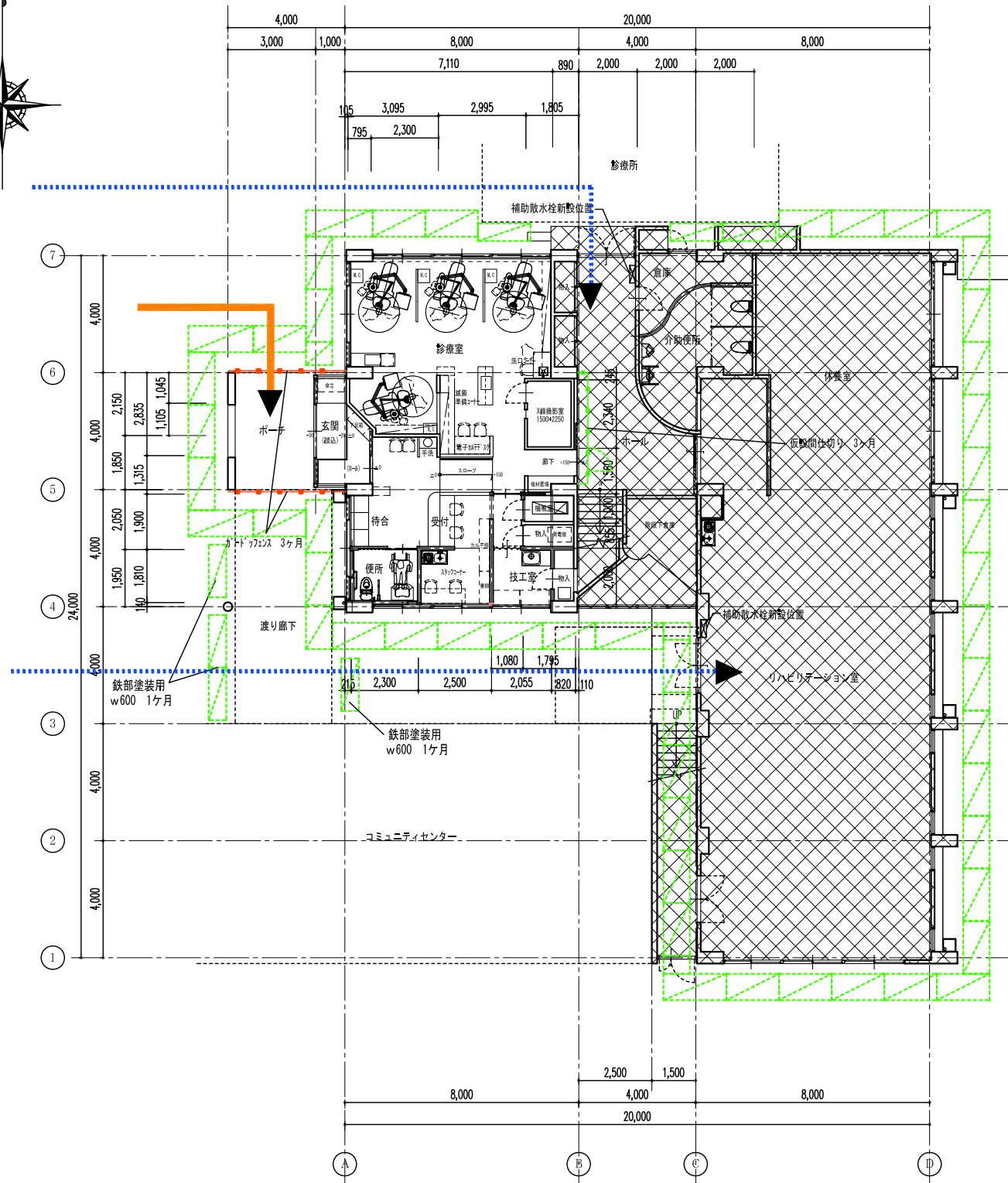
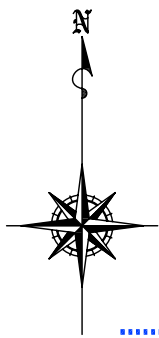


建築工事凡例

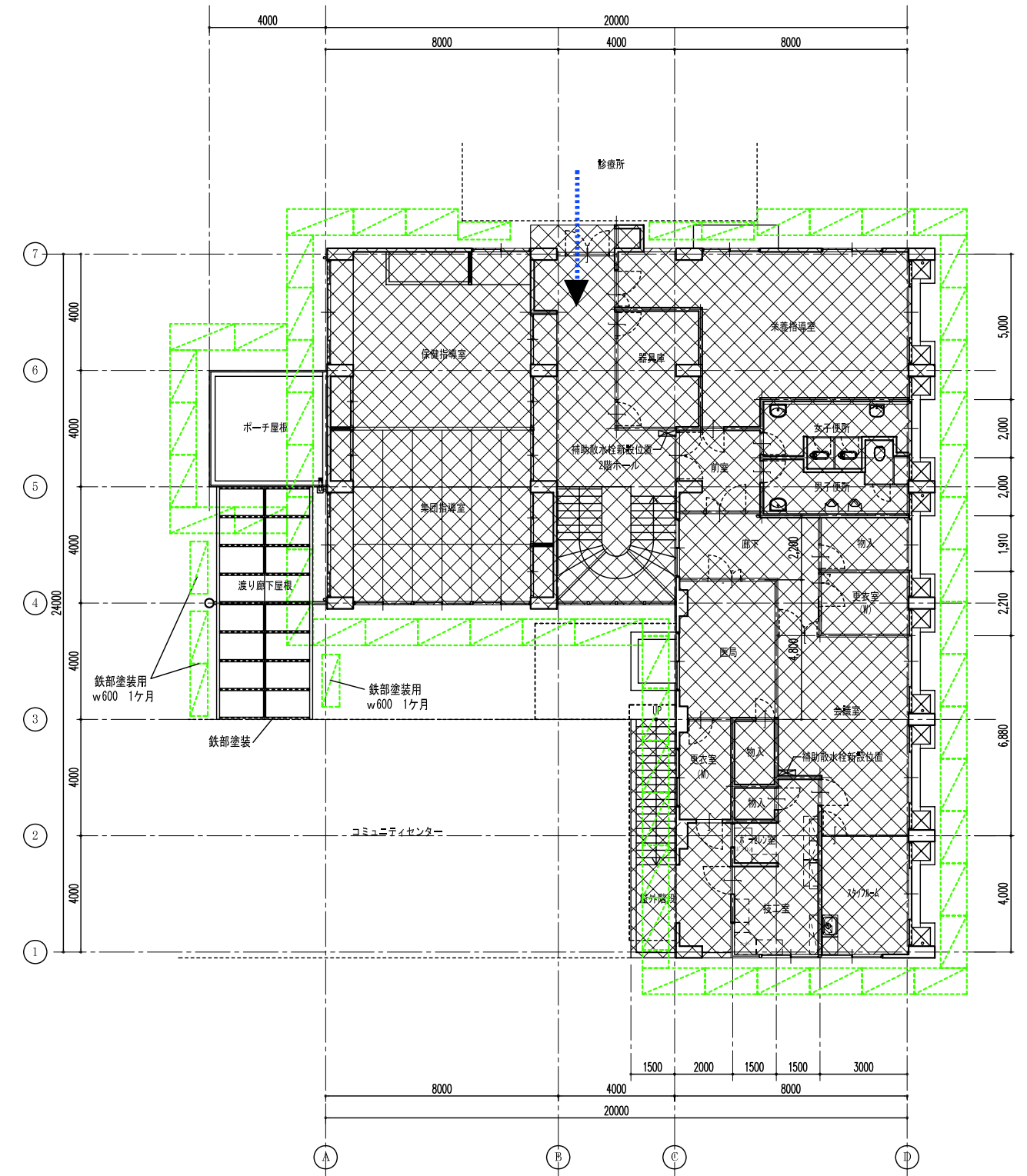
▨ - 改質アスファルトシート防水新設範囲を示す

屋根伏図(改修) S=1/100

特記



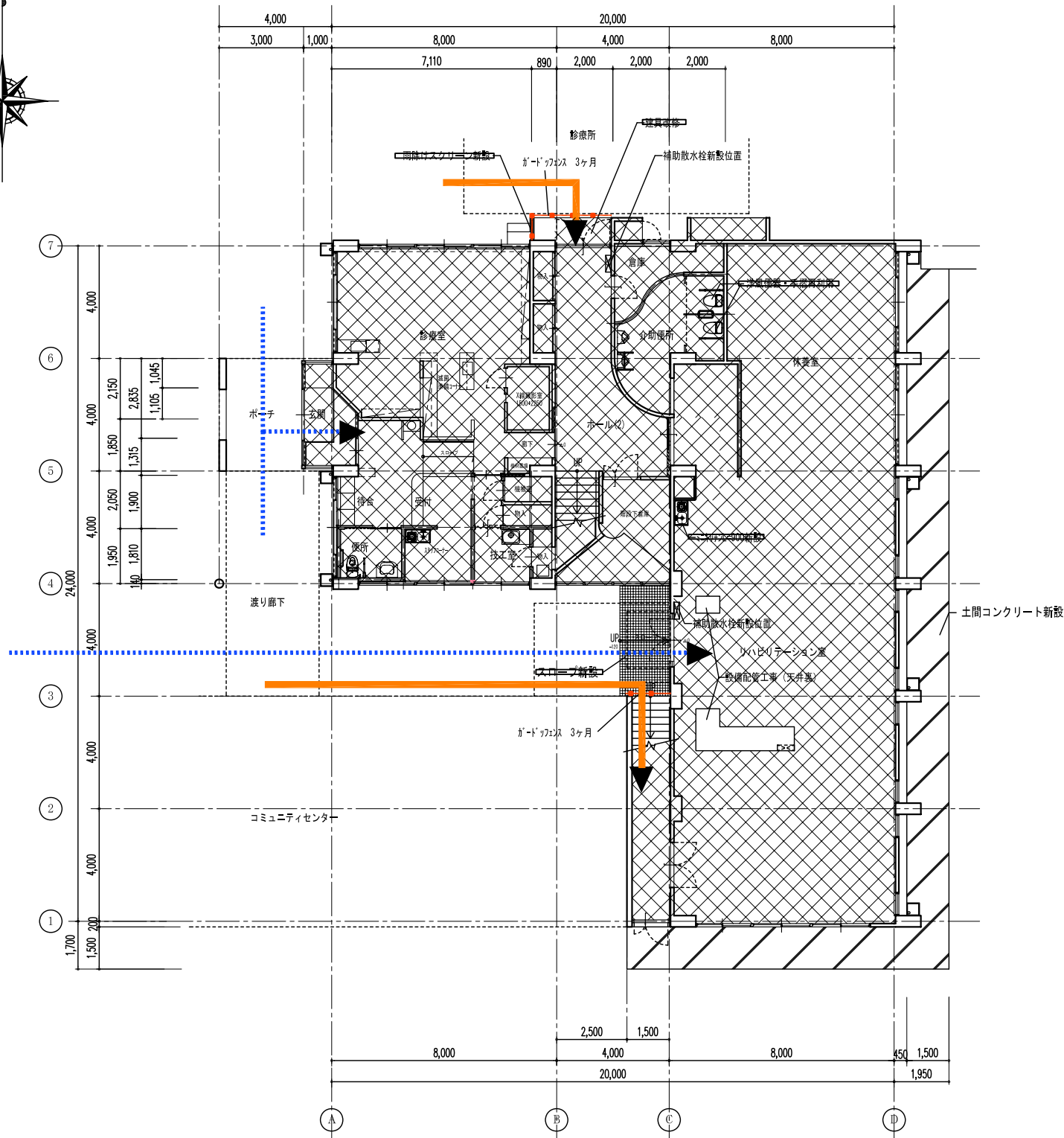
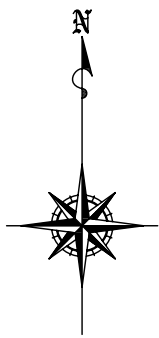
1階平面図(改修) S=1/100



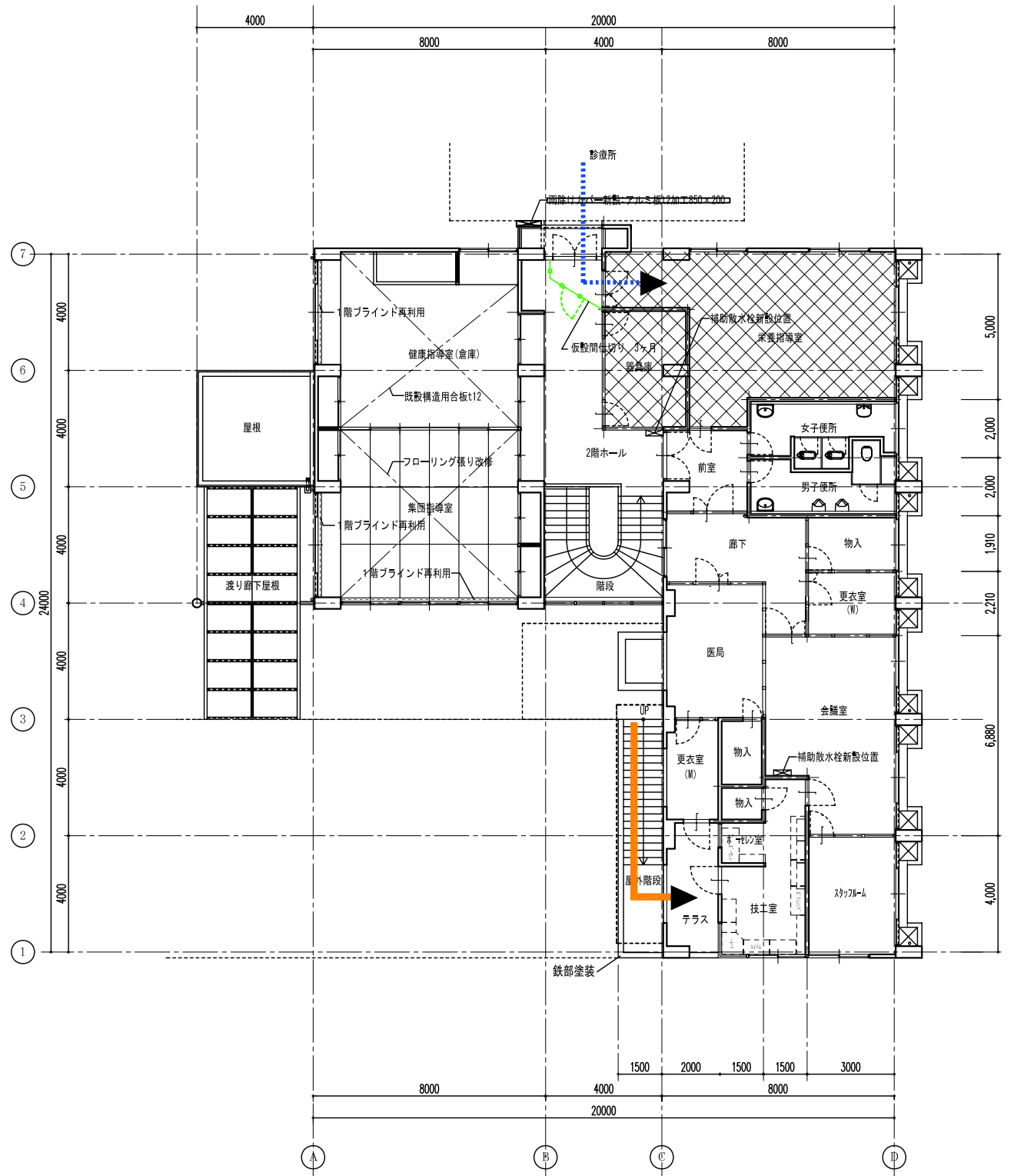
2階平面図(改修) S=1/100

- 凡例
- 工事対象外の部分を示す
 - 仮囲い ガードフェンスH=1800 (共通仮設)
 - 仮設間仕切り (直接仮設)
 - 枠組み足場w900 (直接仮設)
 - 交通整備員の配置を示す。
 - 工事搬出入車両通路を示す。
 - 利用者等通路を示す。

I 期工事 (1F 歯科診療所の改修) (外壁修繕・鉄部塗装)



1階平面図(改修) S=1/100



2階平面図(改修) S=1/100

- 凡例
- 工事対象外の部分を示す
 - 工事搬出入車両通路を示す。
 - 利用者等通路を示す。
 - 仮囲い ガードフェンスH=1800 (共通仮設)
 - 仮設間仕切り (直接仮設)
 - 枠組み足場w900 (直接仮設)
 - 交通整備員の配置を示す。

Ⅱ期工事 (1F リハビリテーション室配管配線改修) (2F 医局・和室他の改修)